

介護給付費縦覧審査の手引き
(介護給付費縦覧審査確認表記入例)

令和6年11月

佐賀県国民健康保険団体連合会

<目次>

1. 介護給付費縦覧審査とは	5
2. 国保連合会の処理日程について	6
3. 介護給付費縦覧審査確認表の例	9
4. 介護給付費縦覧審査確認表の対応について	10
<縦覧点検出力事由の一覧>	10
・ (算定*01) 貸与開始月に算定可能な加算の合計が制限回数を超えています	19
・ (算定*02) 入所(居)日・入院日から算定可能な加算の合計が制限回数を超えています	21
・ (算定*04) 介護保険施設を退所した実績がありません	25
・ (算定*04) 介護保険施設の入所実績がありません	27
・ (算定*04) 施設退所後、既に訪問看護費、予防訪問看護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護または 看護小規模多機能型居宅介護を算定しています	29
・ (算定*04) 退所(院)につき算定可能な加算の合計が制限回数を超えています (1事業所での回数超過)を算定しています	31
・ (算定*04) 退所(院)につき算定可能な加算の合計が制限回数を超えています (複数事業所での回数超過)を算定しています	33
・ (算定*04) 退所(院)につき算定可能な加算の合計が制限回数を超えています (1事業所での回数超過)を算定しています	35
・ (算定*04) 退所(院)につき算定可能な加算の合計が制限回数を超えています (複数事業所での回数超過)を算定しています	37

・ (算定*05) 短期入所の連続日数が30日を超えている可能性があります (複数事業所の日数超過) ……	39
・ <サービス提供日/入所日確認表の記入例> ……	41
・ (算定*05) 短期生活長期利用者減算の対象となる可能性があります ……	42
・ (算定*08) 試行的退所時指導加算を複数回算定しています ……	44
・ (算定*09) 都道府県から訪問介護サービス提供責任者数の届出がありません ……	46
・ (算定*10) 退院(所)日又は認定日から1ヶ月超(1ヶ月以内又は3ヶ月超/3ヶ月超/3ヶ月以内) の場合に請求している可能性があります ……	48
・ (算定*10) 入所日から過去3ヶ月以内に施設に入所しています ……	50
・ (算定*10) 過去3ヶ月以内に認知症短期集中リハ加算を算定しています ……	52
・ (算定*10) 通所リハ生活行為向上リハ加算1が3ヶ月超継続している可能性があります ……	54
・ (算定*10) 通所リハマネジメント加算が6ヶ月超継続している可能性があります ……	56
・ (算定*10) 「生活行為向上リハビリテーション実施加算の実施後に通所リハビリテーションを 継続した場合の減算」の対象となる可能性があります ……	59
・ (算定*10) 通所リハ生活行為工場リハ加算が6ヶ月超継続している可能性があります ……	62
・ (算定*12) 入所(院)中に算定可能な加算の合計が制限回数を超えています ……	64
・ (算定*12) 介護保険施設を退所した実績がありません ……	67
・ (算定*12) 介護保険施設の入所実績がありません ……	69
・ (算定*12) 施設入所時に在宅入所相互利用加算を算定しています ……	71
・ (算定*12) 施設退所後既に居宅サービス計画費を算定しています ……	73
・ (算定*19) 認定有効期間開始年月日又は居宅サービス計画費作成届出年月日から 6ヶ月超に算定しています ……	75
・ (算定*20) 入所日から3ヶ月超の場合に請求している可能性があります ……	77
・ (算定*21) 過去2ヶ月以内に生活機能向上連携加算Iを算定しています ……	79
・ (算定*25) サービス提供体制強化加算(I)イまたは入居継続支援加算が算定されていません ……	83
・ (算定*25) サービス提供体制強化加算(I)イまたは日常生活継続支援加算(I)若しくは(II)が 算定されていません ……	85
・ (算定*28) 過去5ヶ月以内に口腔・栄養スクリーニング加算(I)を算定しています ……	87

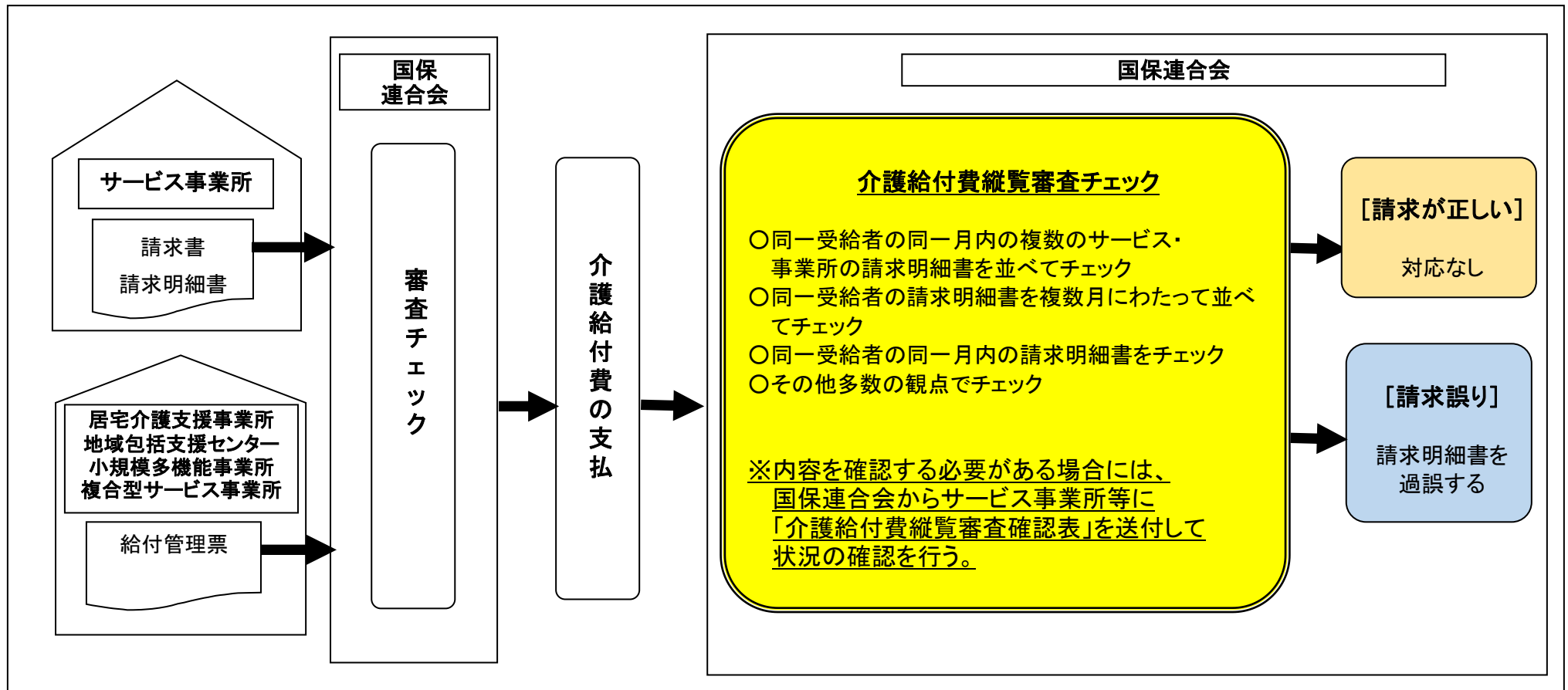
・ (算定*28) 歯科医師又は歯科衛生士の居宅療養管理指導を算定しています	8 9
・ (算定*61) 入院日から過去3ヶ月以内に同じ施設に入所しています／初期入院診療管理の合計が制限回数を超えています	9 1
・ (算定*62) リハビリ計画加算の合計が制限回数を超えています	9 3
・ (算定*62) 入所日から過去3ヶ月以内に同じ施設に入所しています／入所日から過去3ヶ月以内に介護医療院に入所しています	9 5
・ (算定*62) 過去3ヶ月以内に認知症短期集中リハ加算を算定しています	9 7
・ (重複*01) 複数サービスの合計日数が受給可能日数を超えている、又は同時算定不可なサービスが存在します	9 9
・ <サービス提供日／入所日確認表の記入例> ※居宅サービスの例	1 0 2
・ <サービス提供日／入所日確認表の記入例> ※福祉用具貸与サービスの例	1 0 3
・ <サービス提供日／入所日確認表の記入例> ※短期入所サービスの例	1 0 4
・ <サービス提供日／入所日確認表の記入例> ※施設サービスの例	1 0 5
・ (重複*02) 居宅療養管理指導の合計回数が制限回数を超えています (複数事業所での日数超過)	1 0 6
・ (重複*03) 1事業所のみ算定可能な緊急時訪問看護加算 (特別管理加算／ターミナルケア加算) が複数事業所から請求されています	1 0 8
・ (重複*04) 外部利用型サービスの合計が外部サービス利用型上限単位数を超えています (複数事業所)	1 1 0
・ (居宅*01) サービス計画費の請求はあるが、介護サービスの給付実績がありません	1 1 2
・ (単独*02) 開始年月日から30日超で請求している可能性があります (開始年月日が未設定の場合)	1 1 6
・ (単独*02) 開始年月日から30日超で請求している可能性があります (開始年月日が未設定以外の場合)	1 1 8
・ (単独*02) 認知症緊急対応加算と緊急短期入所受入加算が同時に算定されています	1 2 0
・ (単独*04) 初回加算を同時に算定しています	1 2 2
・ (単独*04) 特別療養費 (医学情報提供) を同時に算定しています	1 2 4
・ (単独*04) 特別診療費 (医学情報提供 (I)) 又は医学情報提供 (II)) を同時に算定しています	1 2 6

・ (単独*08) 入院期間が1ヶ月以下の場合に請求している可能性があります	1 2 8
・ (単独*08) 特別療養費 (医学情報提供) を同時に算定しています	1 3 0
・ (単独*08) 特別診療費 (医学情報提供 (I)) 又は医学情報提供 (II)) を同時に算定しています	1 3 2
・ (単独*08) 特定診療費 (医学情報提供 (I)) 又は医学情報提供 (II)) を同時に算定しています	1 3 4
・ (単独*09) 訪問入浴介護 (介護予防訪問入浴介護) の回数が制限回数を超えています	1 3 6
・ (単独*10) 入所日から3ヶ月超で請求している可能性があります (入所日から指定サービス提供年月までが3ヶ月目)	1 3 8
・ (単独*10) 入所日から3ヶ月超で請求している可能性があります (入所日から指定サービス提供年月までが3ヶ月超)	1 4 0
・ (単独*12) 初回加算を同時に算定しています	1 4 2
・ (単独*12) 入所 (院) 中に算定可能な加算の回数が制限回数を超えています	1 4 4
・ (単独*26) 1月につき2回以上排せつ支援加算を算定しています	1 4 7
・ (単独*27) 栄養改善加算と栄養アセスメント加算が同時に算定しています	1 4 9
・ (単独*27) 通所リハ短期集中個別リハ加算または通所リハ認知症短期集中リハ加算 I が、 通所リハ生活行為向上リハ加算と同時に算定されている可能性があります	1 5 1
・ (単独*62) 入所日から3ヶ月超で請求している可能性があります (入所日から指定サービス提供年月までが3ヶ月目)	1 5 3
・ (単独*62) 入所日から3ヶ月超で請求している可能性があります (入所日から指定サービス提供年月までが3ヶ月超)	1 5 5
・ <サービス提供日/入所日確認表>	1 5 7

1. 介護給付費縦覧審査とは

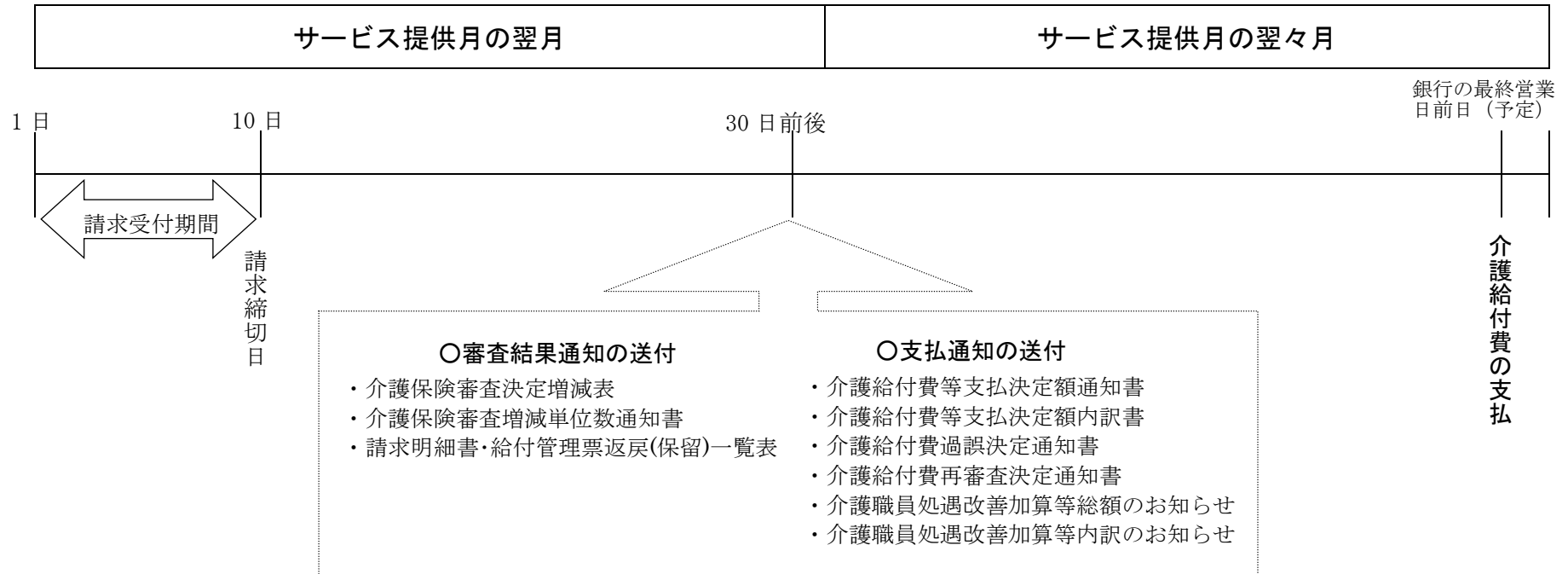
国保連が行う介護給付費縦覧審査とは、過去に介護給付費を支払った請求について、複数月の請求内容や他の事業所の請求内容を確認して審査を行うものです。国保連が介護給付費縦覧審査を実施した結果に基づいて、保険者及び事業所が請求誤り等のデータについて必要に応じて過誤・再請求を行うことで給付の適正化を図ることを目的としています。

国保連合会における審査チェックの流れ



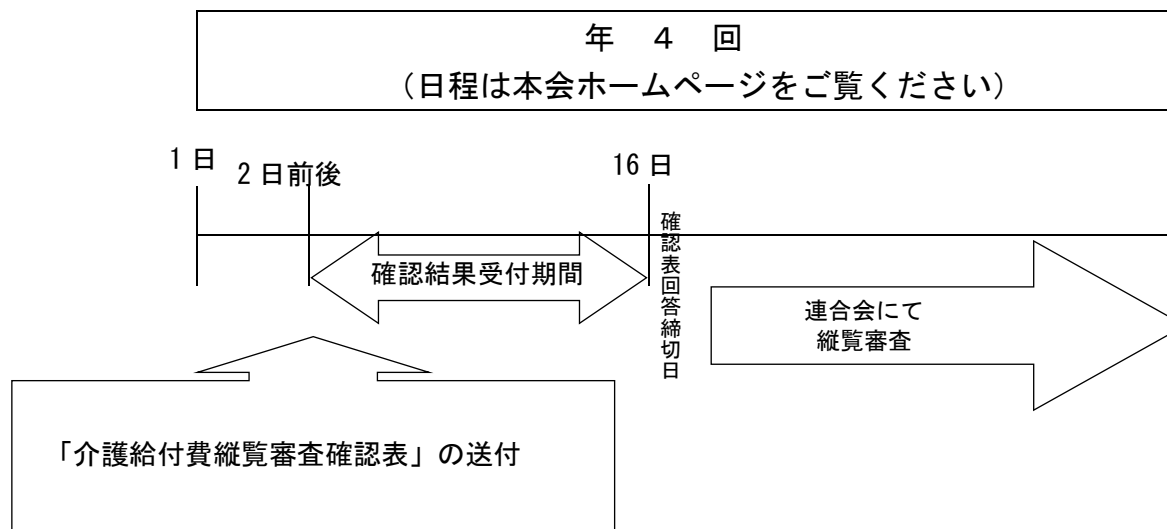
2. 国保連合会の処理日程について

(1) 事業所の請求から介護給付費（総合事業費）支払まで



- ① 上記日程の「審査結果通知及び支払通知の送付：30日」は基準日ですので月によって前後します。「請求締切日」は毎月10日ですのでご注意ください。(10日が休日の場合は本会事務所を開所します。)
- ② 「審査結果通知」と「支払通知」は介護給付費の請求媒体を伝送で届出をしている事業所へは伝送で、磁気媒体(CD-R、FD)または帳票で届出をしている事業所へは郵送で送付します。
- ③ 月末に送付する「審査結果通知」及び「支払通知」の「介護給付費過誤決定通知書」「介護給付費再審査決定通知書」は該当がなければ送付されません。
- ④ 「審査結果」は次回の請求に間に合うように送付しています。返戻となった明細書等については10日までに修正して再請求してください。
減単位や、保留となった明細書等については、関係の居宅介護支援事業所等と連絡・調整をしてください。

(2) 介護給付費縦覧審査確認表の送付から事業所の返送まで

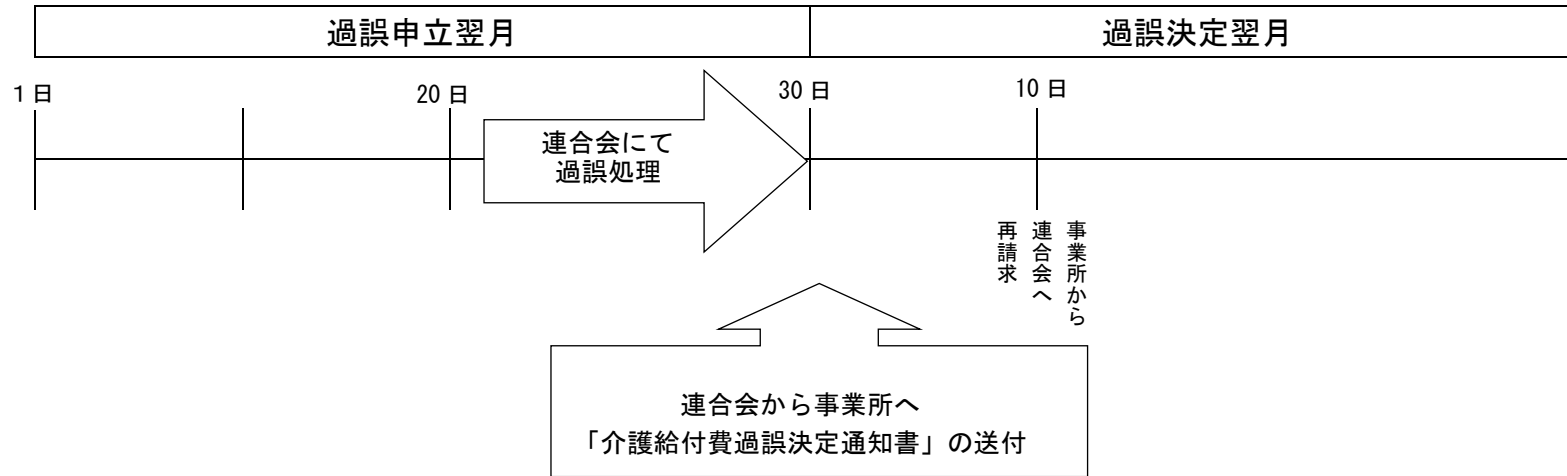


- ① 上記日程の「介護給付費縦覧審査確認表の送付：2日」「確認表回答締切日：16日」は基準日ですので月によって前後します。
- ② 「介護給付費縦覧審査確認表」は郵送しています。
- ③ 「介護給付費縦覧審査確認表」の内容を確認し、確認結果を「確認調整結果記入欄」に記入して下さい。
※確認方法及び記入例は「4. 介護給付費縦覧審査確認表の対応について」を参照して下さい。
※必ず「過誤する・しない」のどちらかに○をつけて下さい。
- ④ 記入した「介護給付費縦覧審査確認表」を提出期限までに佐賀県国保連合会宛に郵送で返送して下さい。
※添付資料が必要になる場合は一緒に送付して下さい。

〒840-0824 佐賀市呉服元町7番28号 佐賀県国保会館
佐賀県国民健康保険団体連合会 情報・介護課 介護保険係

(3) 過誤申立から連合会への再請求まで

■ 通常過誤の場合



- ① 請求誤りのため過誤すると回答した場合は「介護給付費過誤決定通知書：確認表回答翌月 30 日」「受付締切日：過誤決定翌月 10 日」となっています。
なお、連合会において過誤処理を行いますので、保険者への取下げ（過誤）依頼は必要ありません。
- ② 過誤を実施した場合、再請求する際には必ず前月の「介護給付費過誤決定通知書」で取下げが完了した事を確認して下さい。
過誤が決定されないうちに再請求されると ANN 4 エラー（既に該当する介護給付費給付実績が存在しています）になり返戻となります。

3. 介護給付費縦覧審査確認表の例

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

事業所番号	
事業所名	
事業所担当者氏名	
連絡先電話番号	

平成〇年〇月 縦覧審査分

平成〇年〇月〇日

県国民健康保険団体連合会

以下は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。

内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」「単独」の場合は、過誤を「する」・「しない」のいずれかに○を付けて平成〇年〇月〇日までにご返送ください。

対応 番号	確認対象情報							関連情報				
	対象 帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス 提供年月	サービス	日数/ 回数	縦覧点検出力事由	サービス 提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	日数/ 回数
	上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を 右に記入してください。				(確認調整結果記入欄)			過誤				
	確認の 観点							する ・ しない				
	上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を 右に記入してください。				(確認調整結果記入欄)			過誤				
	確認の 観点							する ・ しない				
	上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を 右に記入してください。				(確認調整結果記入欄)			過誤				
	確認の 観点							する ・ しない				
	上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を 右に記入してください。				(確認調整結果記入欄)			過誤				
	確認の 観点							する ・ しない				
	上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を 右に記入してください。				(確認調整結果記入欄)			過誤				
	確認の 観点							する ・ しない				

4. 介護給付費縦覧審査確認表の対応について

<縦覧点検出力事由の一覧>

該当ページ	対象帳票	縦覧点検出力事由	主な対象サービス (予防を含む)	縦覧区分 ※算定、重複、居宅支援、単独の各帳票に番号が表示されます	
19	算定	貸与開始月に算定可能な加算の合計が制限回数を超えています	福祉用具貸与（特地加算、小規模加算、中山間加算）	*01	貸与開始月
21	算定	入所（居）日・入院日から算定可能な加算の合計が制限回数を超えています	初期加算 退院退所時連携加算	*02	入所日から
23	算定	入所（居）日・入院日から算定可能な加算の合計が制限回数を超えています	緊急対応加算 緊急短期入所受入加算		
25	算定	介護保険施設を退所した実績がありません	退院時共同指導加算	*04	退所（院）・退居につき
27	算定	介護保険施設の入所実績がありません			
29	算定	施設退所後、既に訪問看護、予防訪問看護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護または看護小規模多機能型居宅介護を算定しています			
31	算定	退所（院）につき算定可能な加算の合計が制限回数を超えています（1事業所での回数超過）			
33	算定	退所（院）につき算定可能な加算の合計が制限回数を超えています（複数事業所での回数超過）			
35	算定	退所（院）につき算定可能な加算の合計が制限回数を超えています（1事業所での回数超過）			
37	算定	退所（院）につき算定可能な加算の合計が制限回数を超えています（複数事業所での回数超過）			

該当 ページ	対象 帳票	縦覧点検出力事由	主な対象 サービス (予防を含む)	縦覧区分 ※算定、重複、居宅支援、単独の 各帳票に番号が表示されます	
39	算定	短期入所の連続日数が30日を超えている可能性があります(複数事業所の日数超過)	短期入所	*05	最大連続入所日数
41	-	サービス提供日/入所日確認表の記入例 (短期入所サービスの例)			
42	算定	短期生活長期利用者減算の対象となる可能性があります	短期生活長期利用減算		
44	算定	試行的退所時指導加算を複数回算定しています	保健施設・介護医療院(退所時加算、退所前連携加算) 福祉施設・地域福祉施設(退所前連携加算)	*08	退所(院)につき(入所(院)期間1月超)
46	算定	都道府県から訪問介護サービス提供責任者数の届出がありません	訪問介護 (初回加算)	*09	新規計画作成時等
48	算定	退院(所)日又は認定日から1ヶ月超の場合に請求している可能性があります	訪問リハ・通所リハ (短期集中リハ加算1・2)	*10	短期集中リハビリテーション実施加算 ※短期集中リハ加算1・2については、平成27年3月サービス分まで対象 ※個別リハ加算については、平成24年3月サービス分まで対象
	算定	退院(所)日又は認定日から1ヶ月以内又は3ヶ月超の場合に請求している可能性があります	通所リハ (個別リハ加算)		
	算定	退院(所)日又は認定日から3ヶ月超の場合に請求している可能性があります	訪問リハ (短期集中リハ加算・認知症短期集中リハ加算)		
	算定	退院(所)日又は認定日から3ヶ月以内の場合に請求している可能性があります	通所リハ (短期集中個別リハ加算)		
50	算定	入所日から過去3ヶ月以内に施設に入所しています	老健施設 (短期集中リハ加算)		短期集中リハビリテーション実施加算

該当ページ	対象帳票	縦覧点検出力事由	主な対象サービス (予防を含む)	縦覧区分 ※算定、重複、居宅支援、単独の各帳票に番号が表示されます
52	算定	過去3ヶ月以内に認知症短期集中リハ加算を算定しています	老健施設 (認知症短期集中リハ加算)	短期集中リハビリテーション実施加算
54	算定	通所リハ生活行為向上リハ加算1が3ヶ月超継続している可能性があります	生活行為向上リハ加算1 生活行為向上リハ加算2	リハビリテーション加算 ※生活行為向上リハ加算1については、令和3年5月サービス分まで対象 ※生活行為向上リハ加算2については、令和3年8月サービス分まで対象 ※リハマネ加算Ⅳについては、令和3年3月サービス分まで対象 ※リハマネ加算A、Bについては、令和6年5月サービス分まで対象 ※リハ継続減算については、令和4年2月サービス分まで対象
	算定	通所リハ生活行為向上リハ加算2が3ヶ月超継続している、または、加算1と加算2が合算して6ヶ月超継続している可能性があります		
56	算定	通所リハマネジメント加算が6ヶ月超継続している可能性があります	リハマネ加算Ⅰ リハマネ加算Ⅱ、A リハマネ加算Ⅲ、B リハマネ加算Ⅳ	
59	算定	「生活行為向上リハビリテーション実施加算の実施後に通所リハビリテーションを継続した場合の減算」の対象となる可能性があります	リハ継続減算	
62	算定	通所リハ生活行為向上リハ加算が6ヶ月超継続している可能性があります	生活行為向上リハ	
64	算定	入所(院)中に算定可能な加算の合計が制限回数を超えています	退所前訪問相談援助加算 訪問指導加算 安全対策体制加算 総合医学管理加算 新興感染症等施設療養費	*12 入所(院)中 ※保健施設認知症情報提供加算、地域連携診療計画加算については、令和6年3月サービス分まで対象

該当 ページ	対象 帳票	縦覧点検出力事由	主な対象 サービス (予防を含む)	縦覧区分 ※算定、重複、居宅支援、単独の 各帳票に番号が表示されます	
			保健施設認知症情報提供加算 地域連携診療計画加算		
67	算定	介護保険施設を退所した実績がありません	居宅介護支援 (退院退所加算)	*12	入所(院)中
69	算定	介護保険施設の入所実績がありません			
71	算定	施設入所時に在宅入所相互利用加算を算定しています			
73	算定	施設退所後既に居宅サービス計画費を算定しています			
75	算定	認定有効期間開始年月日又は居宅サービス計画費作成届出年月日から6月超に算定しています	居宅療養管理指導 (看護職員等)	*19	サービス提供開始後6月 ※H24年4月サービス以降、 H30年9月サービス分まで 対象
77	算定	入所日から3ヶ月超の場合に請求している可能性があります	在宅入所相互利用加算	*20	入所期間3月を超える場合 の利用可能期間(月)
79	算定	過去2ヶ月以内に生活機能向上連携加算Iを算定しています	生活機能向上連携加算I	*21	3月につき
81	算定	過去2ヶ月以内に生活機能向上連携加算Iを算定しています			
83	算定	サービス提供体制強化加算(I)イまたは入居継続支援加算が算定されていません	特定施設・地域特定施設(介護職員等特定処遇改善加算)	*25	介護職員等特定処遇改善加算 ※介護職員等特定処遇改善加算については、令和3年3月サービス分まで対象
85	算定	サービス提供体制強化加算(I)イまたは日常生活継続支援加算(I)若しくは(II)が算定されていません	福祉施設・地域福祉施設 (介護職員等特定処遇改善加算)		

該当ページ	対象帳票	縦覧点検出力事由	主な対象サービス (予防を含む)	縦覧区分 ※算定、重複、居宅支援、単独の各帳票に番号が表示されます	
87	算定	過去5ヶ月以内に口腔・栄養スクリーニング加算（I）を算定しています	訪問介護・訪問看護・訪問リハ・短期入所・定期巡回	*28	口腔連携強化加算
89	算定	歯科医師又は歯科衛生士の居宅療養管理指導を算定しています			
91	算定	入院日から過去3ヶ月以内に同じ施設に入所していません	特定診療費・特別療養費・特別診療費 (初期入院診療管理)	*61	初期入院（入所）診療管理 ※特定診療費は令和6年3月サービスまで
	算定	初期入院診療管理の合計が制限回数を超えています			
93	算定	リハビリ計画加算の合計が制限回数を超えています	特定診療費・特別診療費（理学療法リハ計画加算、作業療法リハ計画加算）	*62	リハビリ計画加算 ※特定診療費は令和6年3月サービスまで
95	算定	入所日から過去3ヶ月以内に同じ施設に入所していません	特定診療費・特別診療費（短期集中リハ加算）	*62	短期集中リハビリテーション実施加算 ※特定診療費は令和6年3月サービスまで
	算定	入所日から過去3ヶ月以内に介護医療院に入所していません			
97	算定	過去3ヶ月以内に認知症短期集中リハ加算を算定しています	特定診療費・特別診療費（認知症短期集中リハ加算）	*62	短期集中リハビリテーション実施加算 ※特定診療費は令和6年3月サービスまで
99	重複	複数サービスの合計日数が受給可能日数を超えている、又は同時算定不可なサービスが存在します	全サービス	*01	請求明細書の重複請求チェック

該当ページ	対象帳票	縦覧点検出力事由	主な対象サービス (予防を含む)	縦覧区分 ※算定、重複、居宅支援、単独の各帳票に番号が表示されます	
101	-	サービス提供日／入所日確認表の記入例	全サービス	*01	請求明細書の重複請求チェック
102	-	(居宅サービスの例)			
103	-	(福祉用具貸与サービスの例)			
104	-	(短期入所サービスの例)			
105	-	(施設サービスの例)			
106	重複	居宅療養管理指導の合計回数が制限回数を超過しています(複数事業所での日数超過)	居宅療養管理指導	*02	(介護予防)居宅療養管理指導に対する重複請求チェック
108	重複	1事業所のみ算定可能な緊急時訪問看護加算が複数事業所から請求されています	訪問看護・定期巡回 (緊急時訪問看護加算) 看護小規模 (緊急時対応加算)	*03	1人の受給者に対して1事業所のみ算定可能なサービスのチェック
	重複	1事業所のみ算定可能な特別管理加算が複数事業所から請求されています	訪問看護・定期巡回・看護小規模 (特別管理加算)		
	重複	1事業所のみ算定可能なターミナルケア加算が複数事業所から請求されています	訪問看護・定期巡回・看護小規模 (ターミナルケア加算)		
110	重複	外部利用型サービスの合計が外部サービス利用型上限単位数を超過しています(複数事業所)	特定施設(外部サービス利用型) 予特定施設(外部サービス利用型)	*04	外部サービス利用型における上限単位数のチェック

該当 ページ	対象 帳票	縦覧点検出力事由	主な対象 サービス (予防を含む)	縦覧区分 ※算定、重複、居宅支援、単独の 各帳票に番号が表示されます	
112	居宅 支援	サービス計画費の請求はあるが、介護サービスの給付実績がありません (支援事業所向け)	居宅介護支援 介護予防支援	*01	サービス実施有無チェック
114	居宅 支援	サービス計画費の請求はあるが、介護サービスの給付実績がありません (請求事業所＝給付管理票に記載されているサービス事業所向け)			
116	単独	開始年月日から30日超で請求している可能性があります(開始年月日が未設定の場合)	初期加算	*02	入所日から
118	単独	開始年月日から30日超で請求している可能性があります(開始年月日が未設定以外の場合)	初期加算	*02	入所日から
120	単独	認知症緊急対応加算と緊急短期入所受入加算が同時に算定されています	認知症緊急対応加算 緊急短期入所受入加算		
122	単独	初回加算を同時に算定しています	退院時共同指導加算	*04	退所(院)・退居につき
124	単独	特別療養費(医学情報提供)を同時に算定しています	保健施設(退所時情報提供加算)		
126	単独	特別診療費(医学情報提供(I)又は医学情報提供(II))を同時に算定しています	介護医療院(退所時情報提供加算)		
128	単独	入院期間が1ヶ月以下の場合に請求している可能性があります	介護療養型医療施設(退院時加算、退院前連携加算)	*08	退所につき(入所1月超) 退所につきまたは1月につき
130	単独	特別療養費(医学情報提供)を同時に算定しています ※令和6年3月サービスでチェック廃止	保健施設・介護医療院(退所時加算、退所前連携加算) 福祉施設・地域福祉施設(退所前連携加算)		

該当 ページ	対象 帳票	縦覧点検出力事由	主な対象 サービス (予防を含む)	縦覧区分 ※算定、重複、居宅支援、単独の 各帳票に番号が表示されます	
132	単独	特別診療費(医学情報提供(I)又は医学情報提供(II)) を同時に算定しています ※令和6年3月サービスでチェック廃止			
134	単独	特定診療費(医学情報提供(I)又は医学情報提供(II)) を同時に算定しています ※令和6年3月サービスでチェック廃止	介護療養型医療施設(退院 時加算、退院前連携加算)		
136	単独	訪問入浴介護(介護予防訪問入浴介護)の回数が制限回 数を超えています	訪問入浴介護(初回加算)	*09	新規計画作成時等
138	単独	入所日から3ヶ月超で請求している可能性があります (入所日から指定サービス提供年月までが3ヶ月目)	老健施設 (短期集中リハ加算)	*10	短期集中リハビリテーショ ン
	単独	入所日から3ヶ月超で請求している可能性があります (入所日から指定サービス提供年月までが3ヶ月超)			
	単独	入所日から3ヶ月超で請求している可能性があります (入所日から指定サービス提供年月までが3ヶ月目)	老健施設 (認知症短期集中リハ加 算)		
	単独	入所日から3ヶ月超で請求している可能性があります (入所日から指定サービス提供年月までが3ヶ月超)			
142	単独	初回加算を同時に算定しています	居宅介護支援 (退院退所加算)	*12	入所(院)中
144	単独	入所(院)中に算定可能な加算の回数が制限回数を超え ています	退所前訪問相談援助加算 訪問指導加算 安全対策体制加算 総合医学管理加算 新興感染症等施設療養費		※保健施設認知症情報提供 加算、地域連携診療計画加 算については、令和6年3 月サービス分まで対象

該当 ページ	対象 帳票	縦覧点検出力事由	主な対象 サービス (予防を含む)	縦覧区分 ※算定、重複、居宅支援、単独の 各帳票に番号が表示されます	
			保健施設認知症情報提供加算 地域連携診療計画加算		
147	単独	1月につき2回以上排せつ支援加算を算定しています	福祉施設・保健施設等	*26	排せつ支援加算のチェック ※令和6年3月サービス分まで対象（※排せつ支援加算Ⅳについては、令和4年3月サービス分まで対象）
149	単独	栄養改善加算と栄養アセスメント加算が同時に算定しています	栄養改善加算 栄養アセスメント加算	*27	同時算定不可のチェック
151	単独	通所リハ短期集中個別リハ加算または通所リハ認知症短期集中リハ加算Ⅰが、通所リハ生活行為向上リハ加算と同時に算定されている可能性があります	通所リハ (生活行為向上リハ加算、短期集中個別リハ加算、認知症短期集中リハ加算Ⅰ)		
153	単独	入所日から3ヶ月超で請求している可能性があります (入所日から指定サービス提供年月までが3ヶ月目)	特定診療費・特別診療費 (短期集中リハ加算)	*62	短期集中リハビリテーション実施加算(療養型施設) ※特定診療費は、令和6年3月サービスまで
	単独	入所日から3ヶ月超で請求している可能性があります (入所日から指定サービス提供年月までが3ヶ月超)			
	単独	入所日から3ヶ月超で請求している可能性があります (入所日から指定サービス提供年月までが3ヶ月目)	特定診療費・特別診療費 (認知症短期集中リハ加算)		
	単独	入所日から3ヶ月超で請求している可能性があります (入所日から指定サービス提供年月までが3ヶ月超)			

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

「対象帳票」欄＝算定（縦覧区分＊01）
 「縦覧点検出力事由」欄
 貸与開始月に算定可能な加算の合計が制限回数を
 超えています

事業所番号	5070000001
事業所名	サービス事業所01
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

平成 27 年 10 月縦覧審査分

確認表記入者の氏名と電話番号を
記入して下さい。

以下は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」「単独」の場合は、過誤を「する」・「しない」のいずれかに○を付けて平成□年□月□日までにご返送ください。

□□県国民健康保険団体連合会

対応 番号	確認対象情報							関連情報					
	対象 帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス 提供年月	サービス	日数/ 回数	縦覧点検出力事由	サービス 提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	日数/ 回数	
1	算定	501001 保険者01	0000000001 かこ太郎	H27.4	17 8001 車いす貸与 特地加算	1	貸与開始月に算定可能な加算 の合計が制限回数を超えてい ます	H27.3	5070000001 サービス事業所01	99-9999-9999	17 8001 車いす貸与 特地加算	1	
		(確認調整結果記入欄) 上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右 に記入してください。 請求誤りのため過誤						過誤					
	確認の 観点	それぞれ別の福祉用具貸与を開始して算定してい るか／実日数の記載誤りでないか						する ・ しない					

又は

(確認調整結果記入欄) 確認対象情報 H27/4 サービス A 車椅子 H27/4/10 貸与開始 関連情報 H27/3 サービス B 電動車椅子 H27/3/10 貸与開始	過誤
	する ・ しない

福祉用具商品名・貸与開始日を
記入して下さい。

内容・・貸与開始月に算定可能な加算の合計が制限回数を超えています

対象サービス

- ・・福祉用具貸与・予防福祉用具貸与（特地加算、小規模加算、中山間加算）

報酬算定上の制限

- ・・サービス開始月に1回のみ算定可能なサービスです。

原因・・「確認対象情報」と同一のサービスコードによる請求が、前月以前にもある場合に、請求内容に疑義があるものとして出力されます。
（「関連情報」には前月以前の同一サービスコードによる請求が表示されます。）

- 対応・・①それぞれ別の福祉用具の貸与を開始して算定しているか確認して下さい。確認した結果、それぞれ別の福祉用具の貸与を開始していることが判明した場合は、「確認調整結果記入欄」に、「確認対象情報」欄に表示されている福祉用具貸与サービスの福祉用具商品名・貸与開始日及び「関連情報」欄の福祉用具の福祉用具名・貸与開始日を記入し、「過誤しない」に○をつけて返送して下さい。
- ②確認した結果、サービス実日数の記載誤りや請求誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送して下さい。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

事業所番号	507000001
事業所名	サービス事業所 01
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

平成 27 年 10 月縦覧審査分

確認表記入者の氏名と電話番号を
記入して下さい。

「対象帳票」欄＝算定（縦覧区分*02）
「縦覧点検出力事由」欄
入所(居)日・入院日から算定可能な加算の合計が
制限回数を超えています

以下は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。
内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」「単独」の場合は、過誤を「する」「しない」のいずれかに○を付けて平成□年□月□日までにご返送ください。

□□県国民健康保険団体連合会

対応 番号	確認対象情報							関連情報					
	対象 帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス 提供年月	サービス		日数/ 回数	縦覧点検出力事由	サービス 提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	日数/ 回数
1	算定	501001 保険者 01	000000001 カゴトウ	H27. 4	51 福祉施設 初期加算	6400	21	入所(居)日・入院日から算定 可能な加算の合計が制限回数 を超えています	H27. 3	507000001 サービス事業所 01	99-9999-9999	51 福祉施設 初期加算	6400 10
	上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右 に記入してください。							(確認調整結果記入欄)	過誤				
	確認の 観点	30 日超の病院又は診療所への入院後に再入所した 場合か／日常生活自立度はⅢ以上か							請求誤りのため過誤 <input checked="" type="checkbox"/> する ・ <input type="checkbox"/> しない				

又は

(確認調整結果記入欄)	過誤
国保病院 ○月○日～○月○日 40 日間	する ・ <input checked="" type="checkbox"/> しない

医療機関名称・入院期間を
記入して下さい。

又は

(確認調整結果記入欄)	過誤
認知症高齢者自立度 Ⅳ	する ・ <input checked="" type="checkbox"/> しない

認知症高齢者の日常生活自立度判定基準
ランクを記入して下さい。

内容・・入所（居）日・入院日から算定可能な加算の合計が制限回数を超えています

対象サービス

- ・・初期加算、退院・退所時連携加算

報酬算定上の制限

- ・・入所年月日（定期巡回・随時対応型訪問介護看護、小規模多機能型居宅介護、複合型サービス（看護小規模多機能型居宅介護）の場合は開始年月日）から30日以内で最大30回算定可能なサービスです。
ただし、併設の短期入所等から施設に引き続き入所した場合には、30日から短期入所の利用日数を差し引いた日数に限り算定可能です。
また、認知症対応型共同生活介護、特定施設生活介護、地域特定施設介護、介護福祉施設、地域密着型介護福祉施設、小規模多機能型居宅介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、複合型サービス（看護小規模多機能型居宅介護）の場合は、30日を超える医療機関への入院後に再入所した場合も算定可能です。
認知症対応型共同生活介護、特定施設生活介護、地域特定施設介護、介護福祉施設、介護保健施設、介護医療施設、地域密着型介護福祉施設、介護医療院の場合は、過去3ヶ月以内に同じ施設に入所した実績がある場合は算定できません。（認知症高齢者の日常生活自立度判定基準ランクⅢ、Ⅳ、Ⅴの者は過去1ヶ月以内。）

原因・・「確認対象情報」のサービス提供年月の前3ヶ月間に、同一入所（院）年月日の請求があり、入所日から退所日までの期間が30日を超えている場合に出力されます。前月以前の請求や、引き続き入所している分も合算されます。
（「関連情報」欄には合算されている請求が表示されます。請求明細書に記入されている入所年月日は「算定期間回数制限縦覧チェック一覧表」に表示されます。）

- 対応・・①病院又は診療所への入院後に再入所した場合か確認して下さい。確認した結果、30日超の入院後に再入所していたことが判明した場合は、「確認調整結果記入欄」に、医療機関名称・入院期間を記入して、「過誤しない」に○をつけて返送して下さい。
- ②認知症高齢者の日常生活自立度がⅢ以上か確認して下さい。確認した結果、Ⅲ以上であって、かつ、過去1ヶ月以内に同じ施設に入所した実績がない場合は、「確認調整結果記入欄」欄に、認知症高齢者の日常生活自立度判定基準ランクを記入して、「過誤しない」に○をつけて返送して下さい。
- ③確認した結果、入退所日等の記載誤りや請求内容の誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送して下さい。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

「対象帳票」欄＝算定（縦覧区分*02）
 「縦覧点検出力事由」欄
 入所（居）日・入院日から算定可能な加算の合計が
 制限回数を超えています

事業所番号	5070000001
事業所名	サービス事業所01
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

平成 27 年 10 月縦覧審査分

確認表記入者の氏名と電話番号を
記入して下さい。

以下は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」「単独」の場合は、過誤を「する」・「しない」のいずれかに○を付けて平成□年□月□日までにご返送ください。

□□県国民健康保険団体連合会

対応番号	確認対象情報							関連情報					
	対象帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス提供年月	サービス		日数/ 回数	縦覧点検出力事由	サービス提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	
1	算定	501001 保険者01	0000000001 カゴ知	H27.4	52 6004	6	入所（居）日・入院日から算定可能な加算の合計が制限回数を超えています	H27.3	5070000001 サービス事業所01	99-9999-9999	52 6004	2	
	上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右に記入してください。 （確認調整結果記入欄） 請求誤りのため過誤							過誤 <input checked="" type="radio"/> する ・ <input type="radio"/> しない					
	確認の観点	再入所した場合か							過誤 する ・ <input checked="" type="radio"/> しない				

又は

（確認調整結果記入欄） 再入所日 ○月○日	過誤 する ・ <input checked="" type="radio"/> しない
-----------------------------	---

再入所日を記入して下さい。

内容・・入所（居）日・入院日から算定可能な加算の合計が制限回数を超えています

対象サービス

- ・・緊急対応加算、および緊急短期入所受入加算

報酬算定上の制限

- ・・入所年月日から30日以内で最大7回（緊急短期入所受入加算は14回）算定可能なサービスです。

原因・・「確認対象情報」のサービス提供年月と前月に、同一事業所、同一入所（院）年月日の請求があり、制限回数を超えている場合に出力されま
す。

（「関連情報」には前月の同一サービスコードによる請求が表示されます。）

対応・・①再入所した場合か確認して下さい。確認した結果、再入所していたことが判明した場合は、「確認調整結果記入欄」に、再入所日を記入し
て、「過誤しない」に○をつけて返送して下さい。

②確認した結果、入退所日等の記載誤りや請求内容の誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送して下さい。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

平成 27 年 10 月縦覧審査分

「対象帳票」欄＝算定（縦覧区分＊04）
 「縦覧点検出力事由」欄
 介護保険施設を退所した実績がありません

事業所番号	5070000001
事業所名	サービス事業所 01
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

確認表記入者の氏名と電話番号を
記入して下さい。

以下は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。
 内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」「単独」の場合は、過誤を「する」「しない」のいずれかに○を付けて平成○年○月○日までにご返送ください。

□□県国民健康保険団体連合会

対応 番号	確認対象情報							関連情報					
	対象 帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス 提供年月	サービス	日数/ 回数	縦覧点検出力事由	サービス 提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	日数/ 回数	
1	算定	501001 保険者 01	0000000001 カゴ 知	H27. 4	13 4003 訪問看護退 院時共同指 導加算	1	介護保険施設を退所した実績 がありません	H27. 3	***** *****	***** *****	53 介護医療施 設		
	上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右 に記入してください。							(確認調整結果記入欄) 過誤 請求誤りのため過誤					
	確認の 観点	退所しているか、病院又は診療所への入院がある か						する ・ しない					

又は

(確認調整結果記入欄) 国保施設 ○月○日～○月○日 40日間	過誤 する ・ しない
---------------------------------------	----------------------

施設名称・入所期間を
記入して下さい。

又は

(確認調整結果記入欄) 国保病院 ○月○日～○月○日 40日間	過誤 する ・ しない
---------------------------------------	----------------------

医療機関名称・入院期間を
記入して下さい。

内容・・・介護保険施設を退所した実績がありません

対象サービス・・・

サービスコード	サービス略称
13	4003 訪問看護退院時共同指導加算
63	4003 予防訪問看護退院時共同指導加算
76	4003 定期巡回退院時共同指導加算
77	4003 看護小規模退院時共同指導加算

報酬算定上の制限

・・・退所又は退院につき2回算定可能なサービスです。

原因・・・介護保険施設の入所実績はあるが、退所実績がない場合に出力されます。

(「関連情報」欄には介護保険施設の入所実績が表示されます。他の事業所の情報はアスタリスク(*)で表示されます。)

- 対応・・・①介護保険施設の退所にあたって算定している場合か確認して下さい。確認した結果、介護保険施設退所時に算定していることが判明した場合は、「確認調整結果記入欄」に施設名称・入所期間を記入して、「過誤しない」に○をつけて返送して下さい。
- ②医療機関の退院にあたって算定している場合か確認して下さい。確認した結果、医療機関退院時に算定していることが判明した場合は、「確認調整結果記入欄」に医療機関名称・入院期間を記入して、「過誤しない」に○をつけて返送して下さい。
- ③確認した結果、記載誤りや請求内容の誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送して下さい。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

事業所番号	5070000001
事業所名	サービス事業所〇1
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

平成 27 年 10 月縦覧審査分

確認表記入者の氏名と電話番号を記入して下さい。

「対象帳票」欄＝算定（縦覧区分＊04）
 「縦覧点検出力事由」欄
 介護保険施設の入所実績がありません

□□県国民健康保険団体連合会

以下は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」「単独」の場合は、過誤を「する」「しない」のいずれかに○を付けて平成〇年〇月〇日までにご返送ください。

対応番号	確認対象情報							関連情報				
	対象帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス提供年月	サービス	日数/ 回数	縦覧点検出力事由	サービス提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	日数/ 回数
1	算定	501001 保険者〇1	0000000001 かこ けん	H27.4	13 4003 訪問看護退 院時共同指 導加算	1	介護保険施設の入所実績がありません					
	上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右に記入してください。 （確認調整結果記入欄） 請求誤りのため過誤							過誤				
	確認の観点	病院又は診療所への入院があるか						<input checked="" type="checkbox"/> する ・ <input type="checkbox"/> しない				

又は

（確認調整結果記入欄） 国保病院 〇月〇日～〇月〇日 40日間	過誤 する ・ <input checked="" type="checkbox"/> しない
---------------------------------------	--

医療機関名称・入院期間を記入して下さい。

内容・・介護保険施設の入所実績がありません

対象サービス・・

サービスコード		サービス略称
13	4003	訪問看護退院時共同指導加算
63	4003	予防訪問看護退院時共同指導加算
76	4003	定期巡回退院時共同指導加算
77	4003	看護小規模退院時共同指導加算

報酬算定上の制限

・・退所又は退院につき2回算定可能なサービスです。

原因・・介護保険施設の入所実績がない場合に出力されます。

対応・・①医療機関の退院にあたって算定している場合か確認して下さい。確認した結果、医療機関退院時に算定していることが判明した場合は、「確認調整結果記入欄」に医療機関名称・入院期間を記入して、「過誤しない」に○をつけて返送して下さい。
②確認した結果、記載誤りや請求内容の誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送して下さい。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

事業所番号	5070000001
事業所名	サービス事業所 0 1
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

平成 27 年 10 月縦覧審査分

確認表記入者の氏名と電話番号を記入して下さい。

「対象帳票」欄＝算定（縦覧区分 * 04）
 「縦覧点検出力事由」欄
 施設退所後、既に訪問看護、予防訪問看護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護または看護小規模多機能型居宅介護を算定しています

□□県国民健康保険団体連合会

以下は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」「単独」の場合は、過誤を「する」・「しない」のいずれかに○を付けて平成□年□月□日までにご返送ください。

対応番号	確認対象情報							関連情報							
	対象帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス提供年月	サービス		日数/回数	縦覧点検出力事由	サービス提供年月	事業所番号	電話番号	サービス		日数/回数	
1	算定	501001	0000000001	H27. 4	13	4003	1	施設退所後に訪問看護費を算定しています	H27. 3	*****	*****	51	介護福祉施設		
		保険者 0 1	かこ 知		訪問看護退院時共同指導加算										
		上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右に記入してください。							(確認調整結果記入欄)	過誤	H27. 3	5070000001	99-9999-9999	13	
	確認の観点	施設退所後に初回の訪問看護を実施した場合か							請求誤りのため過誤	<div style="border: 1px solid red; padding: 2px; display: inline-block;">する</div> ・ しない		サービス事業所 0 1	訪問看護		

又は

(確認調整結果記入欄)	過誤
施設退所後の初回の訪問看護実施日 ○月○日	<div style="border: 1px solid red; padding: 2px; display: inline-block;">する</div> ・ <div style="border: 1px solid red; padding: 2px; display: inline-block;">しない</div>

施設退所後の初回のサービスと実施した日付を記入して下さい。

内容・・施設退所後に訪問看護費を算定しています

対象サービス・・

サービスコード	サービス略称
13	4003 訪問看護退院時共同指導加算
63	4003 予防訪問看護退院時共同指導加算
76	4003 定期巡回退院時共同指導加算
77	4003 看護小規模退院時共同指導加算

報酬算定上の制限

・・退所又は退院につき2回算定可能なサービスです。

原因・・施設退所後、既に訪問看護、予防訪問看護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護または看護小規模多機能型居宅介護の請求がある場合に出力されます。

(「関連情報」欄には施設と訪問看護、予防訪問看護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護または看護小規模多機能型居宅介護の請求が表示されます。他の事業所の情報はアスタリスク(*)で表示されます。)

対応・・①施設退所後に初回の訪問看護、予防訪問看護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護または看護小規模多機能型居宅介護を実施した場合か確認して下さい。確認した結果、初回の実施であることが判明した場合は、「確認調整結果記入欄」に施設退所後初回の訪問看護の実施日を記入して、「過誤しない」に○をつけて返送して下さい。

②確認した結果、記載誤りや請求内容の誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送して下さい。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

事業所番号	5070000001
事業所名	サービス事業所 〇 1
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

令和 3 年 4 月 縦覧審査分

確認表記入者の氏名と電話番号を
記入して下さい。

「対象帳票」欄＝算定（縦覧区分＊04）
 「縦覧点検出力事由」欄
 退所（院）につき算定可能な加算の合計が制限
 回数を超えている可能性があります（1事業所
 での回数超過）

以下は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。
 内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」「単独」の場合は、過誤を「する」・「しない」のいずれかに○を付けて平成〇年〇月〇日までにご返送ください。

□□県国民健康保険団体連合会

対応 番号	確認対象情報							関連情報					
	対象 帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス 提供年月	サービス	日数/ 回数	縦覧点検出力事由	サービス 提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	日数/ 回数	
1	算定	501001 保険者 〇 1	0000000001 カゴ 〇 〇	R3.4	13 4003 訪問看護退 院時共同指 導加算	2	退所（院）につき算定可能な加算の合計が制限回数を超えている可能性があります（1事業所での回数超過）	R3.4	5070000001 サービス事業所 〇 1	99-9999-9999	76 4003 定期巡回退 院時共同指 導加算	1	
		上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右に記入してください。						(確認調整結果記入欄) 過誤 請求誤りのため過誤					
	確認の 観点	入退所（院）を繰り返している場合か						する ・ しない					

又は

(確認調整結果記入欄)	過誤
再入所日 〇月〇日	する ・
訪問看護実施日 〇月〇日	しない

再入所日と退所後の訪問看護を実施した
日付を記入して下さい。

内容・・・退所（院）につき算定可能な加算の合計が制限回数を超えている可能性があります（1事業所での回数超過）

対象サービス・・・

サービスコード		サービス略称	制御回数
13	4003	訪問看護退院時共同指導加算	2
76	4003	定期巡回退院時共同指導加算	2
77	4003	看護小規模退院時共同指導加算	2

報酬算定上の制限

・・・退所または退院につき2回算定可能なサービスです。

原因・・・対象となるサービスコードについて、同一事業所で制限回数を超える場合に出力されます。

対応・・・①退所して再入所するまでの間に、訪問看護を実施した場合かを確認して下さい。確認した結果、訪問看護を実施していることが判明した場合は、「確認調整結果記入欄」に再入所日と退所後の訪問看護の実施日を記入して、「過誤しない」に○をつけて返送して下さい。
②確認した結果、入退所日等の記載誤りや請求内容の誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送して下さい。
（「関連情報」欄には同月の退院時共同指導加算の請求が表示されます。）

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

事業所番号	5070000001
事業所名	サービス事業所 〇 1
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

令和 3 年 4 月 縦覧審査分

確認表記入者の氏名と電話番号を記入して下さい。

「対象帳票」欄＝算定（縦覧区分 * 04）
 「縦覧点検出力事由」欄
 退所（院）につき算定可能な加算の合計が制限回数を超えている可能性があります（複数事業所での回数超過）

□□県国民健康保険団体連合会

以下は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。
 内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」「単独」の場合は、過誤を「する」・「しない」のいずれかに○を付けて平成□年□月□日までにご返送ください。

対応番号	確認対象情報							関連情報				
	対象帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス提供年月	サービス	日数/回数	縦覧点検出力事由	サービス提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	日数/回数
1	算定	501001 保険者 〇 1	000000001 カゴ 〇 〇	R3.4	13 4003 訪問看護退院時共同指導加算	1	退所（院）につき算定可能な加算の合計が制限回数を超えている可能性があります（複数事業所での回数超過）	R3.4	***** *****	***** *****	76 4003 定期巡回退院時共同指導加算	1
	（確認調整結果記入欄） 上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右に記入してください。 請求誤りのため過誤							R3.4	***** *****	***** *****	77 4003 看護小規模退院時共同指導加算	1
	確認の観点	入退所（院）を繰り返している場合か						過誤 する ・ しない				

又は

（確認調整結果記入欄） 再入所日 ○月○日 訪問看護実施日 ○月○日	過誤 する ・ しない
--	----------------------

再入所日と退所後の訪問看護を実施した日付を記入して下さい。

内容・・・退所（院）につき算定可能な加算の合計が制限回数を超えている可能性があります（複数事業所での回数超過）

対象サービス・・・

サービスコード		サービス略称	制御回数
13	4003	訪問看護退院時共同指導加算	2
76	4003	定期巡回退院時共同指導加算	2
77	4003	看護小規模退院時共同指導加算	2

報酬算定上の制限

・・・退所または退院につき2回算定可能なサービスです。

原因・・・対象となるサービスコードについて、複数事業所で制限回数を超える場合に出力されます。

対応・・・①退所して再入所するまでの間に、訪問看護を実施した場合かを確認して下さい。確認した結果、訪問看護を実施していることが判明した場合は、「確認調整結果記入欄」に再入所日と退所後の訪問看護の実施日を記入して、「過誤しない」に○をつけて返送して下さい。
②確認した結果、入退所日等の記載誤りや請求内容の誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送して下さい。
（「関連情報」欄には同月の退院時共同指導加算の請求が表示されます。他の事業所の情報はアスタリスク（*）で表示されます。）

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

事業所番号	5070000001
事業所名	サービス事業所 〇 1
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

令和 6 年 10 月 縦覧審査分

確認表記入者の氏名と電話番号を記入して下さい。

「対象帳票」欄＝算定（縦覧区分 * 04）
 「縦覧点検出力事由」欄
 退所（院）につき算定可能な加算の合計が制限回数を超過しています（1事業所での回数超過）

以下は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」「単独」の場合は、過誤を「する」・「しない」のいずれかに○を付けて令和〇年〇月〇日までにご返送ください。

□□県国民健康保険団体連合会

対応番号	確認対象情報							関連情報					
	対象帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス提供年月	サービス	日数/回数	縦覧点検出力事由	サービス提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	日数/回数	
1	算定	501001 保険者 〇 1	0000000001 かこ 知	R6. 8	14 4003 訪問リハ退院時共同指導加算	1	退所（院）につき算定可能な加算の合計が制限回数を超過しています（1事業所での回数超過）	R6. 8	5070000001 サービス事業所 〇 1	99-9999-9999	16 6370 通所リハ退院時共同指導加算	1	
		（確認調整結果記入欄） 上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右に記入してください。 請求誤りのため過誤						過誤					
	確認の観点	入退所（院）を繰り返している場合か／通所及び訪問リハビリテーションが一体的に運営されている事業所か						する ・ しない					

又は

（確認調整結果記入欄） 再入所日 〇月〇日	過誤
	する ・ しない

再入所日を記入して下さい。

又は

（確認調整結果記入欄） 通所及び訪問リハビリテーションを一体的に運営していないため	過誤
	する ・ しない

自分の事業所の運営状態を記入して下さい。

内容・・退所（院）につき算定可能な加算の合計が制限回数を超えています（1事業所での回数超過）

対象サービス・・

サービスコード	サービス略称	
14	4003	訪問リハ退院時共同指導加算
16	6370	通所リハ退院時共同指導加算
64	4003	予防訪問リハ退院時共同指導加算
66	6370	予防通所リハ退院時共同指導加算

報酬算定上の制限

- ・・退所又は退院につき1回算定可能なサービスです。

原因・・対象となるサービスコードについて、同一事業所で制限回数を超える場合に出力されます。

（「関連情報」欄には同月の同一事業所での退院時共同指導加算の請求が表示されます。）

対応・・①退所後、再度入退所をしている場合か確認して下さい。確認した結果、入退所を繰り返していることが判明した場合は、「確認調整結果記入欄」に再入所日を記入して、「過誤しない」に○をつけて返送して下さい。

②通所及び訪問リハビリテーション事業所が一体的に運営されている事業所か確認して下さい。確認した結果、一体的に運営されている事業所でない場合は、「確認調整結果記入欄」に事業所の運営状態を記入して、「過誤しない」に○をつけて返送して下さい。

③確認した結果、記載誤りや請求内容の誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送して下さい。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

事業所番号	507000001
事業所名	サービス事業所 〇 1
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

令和 6 年 10 月 縦覧審査分

確認表記入者の氏名と電話番号を記入して下さい。

「対象帳票」欄＝算定（縦覧区分 * 04）
 「縦覧点検出力事由」欄
 退所（院）につき算定可能な加算の合計が制限回数を超えています（複数事業所での回数超過）

以下は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」「単独」の場合は、過誤を「する」・「しない」のいずれかに○を付けて令和〇年〇月〇日までにご返送ください。

□□県国民健康保険団体連合会

対応番号	確認対象情報							関連情報						
	対象帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス提供年月	サービス		日数/回数	縦覧点検出力事由	サービス提供年月	事業所番号	電話番号	サービス		日数/回数
1	算定	501001	0000000001	R6. 8	14	4003	1	退所（院）につき算定可能な加算の合計が制限回数を超えています（複数事業所での回数超過）	R6. 8	*****	*****	16	6370	1
		保険者 〇 1	かこ 知		訪問リハ退院時共同指導加算	*****				*****	通所リハ退院時共同指導加算			
	確認の観点	上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右に記入してください。			(確認調整結果記入欄) 請求誤りのため過誤				過誤 する ・ しない					

又は

(確認調整結果記入欄) 再入所日 〇月〇日	過誤 する ・ しない
---------------------------------	--------------------------

再入所日を記入して下さい。

内容・・退所（院）につき算定可能な加算の合計が制限回数を超えています（複数事業所での回数超過）

対象サービス・・

サービスコード	サービス略称	
14	4003	訪問リハ退院時共同指導加算
16	6370	通所リハ退院時共同指導加算
64	4003	予防訪問リハ退院時共同指導加算
66	6370	予防通所リハ退院時共同指導加算

報酬算定上の制限

・・退所又は退院につき1回算定可能なサービスです。

原因・・対象となるサービスコードについて、複数事業所で制限回数を超える場合に出力されます。

（「関連情報」欄には同月の退院時共同指導加算の請求が表示されます。他の事業所の情報はアスタリスク（*）で表示されます。）

対応・・①退所後、再度入退所をしている場合か確認して下さい。確認した結果、入退所を繰り返していることが判明した場合は、「確認調整結果記入欄」に再入所日を記入して、「過誤しない」に○をつけて返送して下さい。

②確認した結果、記載誤りや請求内容の誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送して下さい。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

「対象帳票」欄＝算定（縦覧区分＊05）
 「縦覧点検出力事由」欄
 短期入所の連続日数が30日を超えている可能性
 があります（複数事業所の日数超過）

事業所番号	5070000001
事業所名	サービス事業所01
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

平成 27 年 10 月縦覧審査分

確認表記入者の氏名と電話番号を
記入して下さい。

以下は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。
 内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」「単独」の場合は、過誤を「する」・「しない」のいずれかに○を付けて平成□年□月□日までにご返送ください。

□□県国民健康保険団体連合会

対応 番号	確認対象情報							関連情報				
	対象 帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス 提供年月	サービス	日数/ 回数	縦覧点検出力事由	サービス 提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	日数/ 回数
1	算定	501001 保険者01	0000000001 カゴ 太郎	H27.4	21 2113 併設短期生 活 I 1・夜減	19	短期入所の連続日数が30日 を超えている可能性があります （複数事業所の日数超過）	H27.3	***** *****	***** *****	21 2113 併設短期生 活 I 1・夜減	21
	上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右 に記入してください。							(確認調整結果記入欄) 過誤 請求誤りのため過誤				
	確認の 観点	いずれの請求が誤りか						(確認調整結果記入欄) 過誤 する ・ しない				

又は

(確認調整結果記入欄) <u>この欄への記入は不要です。</u>	(確認調整結果記入欄) 過誤 する ・ しない
---	---

「サービス提供日／入所日確認表」を
添付して国保連へ返送して下さい。

内容・・短期入所の連続日数が30日を超えている可能性があります（複数事業所の日数超過）

報酬算定上の制限

- ・・短期入所サービスは連続して30日を超えて算定することはできません。

原因・・前月入所から当月退所までの期間が30日を超える場合に出力されます。

前月以前の請求や、他の事業所から引き続き入所している分の請求の日数も合算されます。

（「関連情報」欄には合算されている請求が表示されます。他の事業所の情報はアスタリスク（*）で表示されます。）

対応・・自分の事業所のサービス提供状況や入所状況を確認し、「サービス提供日／入所日確認表」に記入して下さい。（記入例は次ページを参照）

確認した結果、自分の事業所の請求誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送して下さい。

確認した結果、自分の事業所の請求誤りでない場合は、他の事業所の請求との確認が必要になりますので、「サービス提供日／入所日確認表」を添付して、「過誤しない」に○をつけて国保連へ返送して下さい。（国保連にて他の事業所の請求内容を確認した結果、過誤になる場合があります。）

■ 「サービス提供日／入所日確認表」は165ページをコピーしてご利用下さい。

■ 「サービス提供日／入所日確認表」の記入例は次ページ以降を参照して下さい。



ポイント！ 短期入所等と施設等の請求明細書の退所日の記載方法

短期入所と施設等とでは請求明細書の退所日の記載方法が異なります。

	短期入所等	施設等	備考
	様式3、3の2 様式4、4の2～4の4 様式5、5の2 様式6の5～6の7	様式6～6の4 様式8、9、9の2、10	
入所日	前月から継続して入所している場合はその入所日を記載、その他の場合は当該月の最初の入所日を記載する	同左	-
退所日	月末日において入所継続中の場合は記載不要。当該月に退所した場合は <u>月の最初</u> の退所日を記載する。	月末日において入所継続中の場合は記載不要。当該月に退所した場合は <u>月末に一番近い退所日</u> を記載する。	短期入所の連続入所が30日を超える場合は30日目を退所日とみなして記載する。

「介護給付費縦覧審査確認表」の「確認対象情報」欄の内容を記入して下さい

<サービス提供日／入所日確認表>

「サービス提供日／入所日確認表」
(短期入所サービスの記入例)

対応番号	対象帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス提供年月	サービス
1	算定・重複 ・単独	501001	0000000001	H27年4月	21
		保険者01	カイゴタロウ		短期入所生活介護

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
午前	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
午後	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
午前	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
午後	○	○	○	○	○	○	○	○	退		
	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
午前											
午後											

サービス実日数	19 日	外泊日数	日
入所実日数			

入所している時間帯に○をつけて下さい。
入所日には「入」、退所日には「退」と記入して下さい

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

「対象帳票」欄＝算定（縦覧区分＊05）
 「縦覧点検出力事由」欄
 短期生活長期利用者減算の対象となる可能性があります

事業所番号	5070000001
事業所名	サービス事業所01
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

令和3年4月縦覧審査分

確認表記入者の氏名と電話番号を
記入して下さい。

以下は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」「単独」の場合は、過誤を「する」・「しない」のいずれかに○を付けて平成□年□月□日までにご返送ください。

□□県国民健康保険団体連合会

対応 番号	確認対象情報							関連情報							
	対象 帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス 提供年月	サービス		日数/ 回数	縦覧点検出力事由	サービス 提供年月	事業所番号	電話番号	サービス		日数/ 回数	
1	算定	501001 保険者01	0000000001 かこ'知	R3.4	21 2141	併設短期生 活I4		30	短期生活長期利用者減算の対 象となる可能性があります	R3.3	5070000001 サービス事業所01	99-9999-9999	21 2141	併設短期生 活I4	30
	上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右 に記入してください。							(確認調整結果記入欄) 請求誤りのため過誤		過誤 する ・ しない					
	確認の 観点	減算が必要であるか、必要である場合は減算対象 の日数分減算されているか						(確認調整結果記入欄) 自宅で過ごした日 ○月○日		過誤 する ・ しない					

又は

退所後に自宅等で過ごした日を記入して
下さい。

内容・・短期生活長期利用者減算の対象となる可能性があります

対象サービス

- ・・短期生活長期利用者減算

報酬算定上の制限

- ・・短期入所サービスを30日連続して利用した場合、30日を超えた日より減算する必要があります。

原因・・前月以前の入所日から当月請求の退所日（1日空けて再入所して短期入所を利用した日数も含めて）までの日数が31日以上利用している場合であって、かつ、当月に短期生活長期利用者減算の請求が無い場合に、請求内容に疑義があるものとして出力されます。

（「関連情報」には前月の短期入所の請求が表示されます。）

対応・・①退所して再入所するまでの間に、自宅等に戻らず自費で入所し続けていないかを確認して下さい。確認した結果、自宅等に帰宅されていることが判明した場合は、「確認調整結果記入欄」に在宅等で過ごした日を記入して、「過誤しない」に○をつけて返送して下さい。

②確認した結果、請求内容の誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送して下さい。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

「対象帳票」欄＝算定（縦覧区分＊08）
 「縦覧点検出力事由」欄
 試行的退所時指導加算を複数回算定しています

事業所番号	5070000001
事業所名	サービス事業所01
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

平成30年10月縦覧審査分

確認表記入者の氏名と電話番号を
記入して下さい。

以下は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」「単独」の場合は、過誤を「する」・「しない」のいずれかに○を付けて平成○年○月○日までにご返送ください。

□□県国民健康保険団体連合会

対応 番号	確認対象情報							関連情報				
	対象 帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス 提供年月	サービス	日数/ 回数	縦覧点検出力事由	サービス 提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	日数/ 回数
1	算定	501001 保険者01	0000000001 かこ けん	H30.4	52 6502 保健施設試 行的退所時 指導加算	1	試行的退所時指導加算を複数 回算定しています	H30.4	5070000001 サービス事業所01	99-9999-9999	52 6502 保健施設試 行的退所時 指導加算	1
	上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右 に記入してください。							過誤				
	確認の 観点	試行的な退所を行った場合か						する ・ しない				

又は

(確認調整結果記入欄) 試行的な退所を行った日 ○月○日	過誤 する ・ しない
--	--------------------------

試行的な退所を実施した日を
記入して下さい。

内容・・ 試行的退所時指導加算を複数回算定しています

対象サービス

- ・・ 保健施設試行的退所時指導加算

報酬算定上の制限

- ・・ 退所が見込まれる入所期間が1月を超える入所者を試行的に退所させる場合に、入所中最初に試行的な退所を行った月から3月の間に限り、入所者1人につき、1月に1回算定可能な加算です。

原因・・ 「確認対象情報」と同一のサービスコードによる請求が、翌月にもある場合に、請求内容に疑義があるものとして出力されます。
(「関連情報」には翌月の同一サービスコードによる請求が表示されます。)

対応・・ ① 試行的な退所を行っている場合か確認して下さい。確認した結果、試行的な退所を行った場合であることが判明した場合は、「確認調整結果記入欄」に試行的な退所を行った日を記入して、「過誤しない」に○をつけて返送して下さい。
② 確認した結果、請求内容の誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送して下さい。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

「対象帳票」欄＝算定（縦覧区分＊09）
 「縦覧点検出力事由」欄
 都道府県から訪問介護サービス提供責任者数の届出がありません

事業所番号	5070000001
事業所名	サービス事業所01
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

平成 27 年 10 月縦覧審査分

確認表記入者の氏名と電話番号を
記入して下さい。

以下は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」「単独」の場合は、過誤を「する」・「しない」のいずれかに○を付けて平成〇年〇月〇日までにご返送ください。

□□県国民健康保険団体連合会

対応 番号	確認対象情報							関連情報						
	対象 帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス 提供年月	サービス		日数/ 回数	縦覧点検出力事由	サービス 提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	日数/ 回数	
1	算定	501001 保険者01	0000000001 かこ 知	H27. 4	11 訪問介護初 回加算	4001	1	都道府県から訪問介護サービス提供責任者数の届出がありません						
	上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右に記入してください。							(確認調整結果記入欄)	過誤					
	確認の 観点	請求事業所のサービス提供責任者数の状況を確認						請求誤りのため過誤	<input checked="" type="checkbox"/> する ・ <input type="checkbox"/> しない					

又は

(確認調整結果記入欄)	過誤
サービス提供責任者 介護花子 訪問日 ○月○日	<input type="checkbox"/> する ・ <input checked="" type="checkbox"/> しない

サービス提供責任者の訪問日（同行日）
を記入して下さい。

内容・・都道府県から訪問介護サービス提供責任者数の届出がありません

対象サービス・・

サービスコード		サービス略称	備考
11	4001	訪問介護初回加算	
61	4001	予防訪問介護初回加算	平成30年3月サービス分まで

報酬算定上の制限

・・サービス提供責任者が、初回訪問時もしくは初回訪問日の属する月に、訪問又は同行した場合に、算定可能な加算です。

原因・・都道府県が国保連に登録している「事業所台帳」の訪問介護サービス提供責任者数が0人又は未登録である場合に出力されます。

(「算定期間回数制限縦覧チェック一覧表」の備考欄に「サービス提供責任者なし」と表示されます。)

対応・・①サービス提供責任者が訪問又は同行していることを確認して下さい。確認した結果、サービス提供責任者が訪問又は同行していることが判明した場合は、「確認調整結果記入欄」にサービス提供責任者の訪問日又は同行日を記入して、「過誤しない」に○をつけて返送して下さい。

②①に該当する場合は、事業所が都道府県へ申請した際のサービス提供責任者数の記入誤り、又は、都道府県が国保連へ事業所を登録する際の誤り・登録忘れ等の可能性がありますので、サービス提供責任者が正しく登録されているか都道府県へ照会して下さい。

③確認した結果、請求内容の誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送して下さい。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

事業所番号	5070000001
事業所名	サービス事業所01
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

令和3年4月縦覧審査分

確認表記入者の氏名と電話番号を記入して下さい。

「対象帳票」欄＝算定（縦覧区分＊10）
 「縦覧点検出力事由」欄
 退院（所）日又は認定日1ヶ月超（1ヶ月以内又は3ヶ月超／3ヶ月超／3ヶ月以内）の場合に請求している可能性があります

□□県国民健康保険団体連合会

以下は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」「単独」の場合は、過誤を「する」・「しない」のいずれかに○を付けて平成□年□月□日までにご返送ください。

対応番号	確認対象情報							関連情報					
	対象帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス提供年月	サービス	日数/回数	縦覧点検出力事由	サービス提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	日数/回数	
1	算定	501001 保険者01	0000000001 かこたう	R3.4	14 5003 訪問リハ短期集中リハ加算	3	退院（所）日又は認定日から3ヶ月超の場合に請求している可能性があります	R3.1	***** *****	*****	51 介護福祉施設		
		上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右に記入してください。						(確認調整結果記入欄) 過誤 請求誤りのため過誤					
	確認の観点	リハビリテーション実施日が利用条件（退院日または認定日から3ヶ月以内）を満たしているか 医療機関の退院後であるか確認 摘要欄の記載内容を確認						(確認調整結果記入欄) 過誤 する ・ しない					

又は

(確認調整結果記入欄)	過誤
起算日 病院の退院日（国保病院） ○月○日	する ・ しない
加算の算定日 4日、6日、8日	しない

起算日の種類（病院退院日／施設退所日／認定日／訪問開始日）と起算日の年月日と加算の算定日を記入して下さい。

内容・・退院（所）日又は認定日（又は訪問開始日）から1ヶ月超（1ヶ月以内又は3ヶ月超／3ヶ月超／3ヶ月以内）の場合に請求している可能性があります

対象サービス及び報酬算定上の制限

- ・・病院又は施設を退院（所）した日又は認定日（又は訪問開始日）から起算して以下の期間内に算定可能なサービスです。

サービスコード		サービス略称	利用条件（算定可能な期間）	備考
14	5001	訪問リハ短期集中加算1	退院（所）日又は認定日から1月以内	平成27年3月サービス分まで
14	5002	訪問リハ短期集中加算2	退院（所）日又は認定日から1月超3月以内	平成27年3月サービス分まで
14	5003	訪問リハ短期集中リハ加算	退院（所）日又は認定日から3月以内	—
14	5021	訪問リハ認知症短期集中リハ加算	退院（所）日又は訪問開始日から起算して3月以内	—
16	5602	通所リハ短期集中リハ加算1	退院（所）日又は認定日から1月以内	平成27年3月サービス分まで
16	5603	通所リハ短期集中リハ加算2	退院（所）日又は認定日から1月超3月以内	平成27年3月サービス分まで
16	5613	通所リハ短期集中個別リハ加算	退院（所）日又は認定日から3月以内	令和3年5月サービス分まで
16	6111	通所リハ個別リハビリ加算	退院（所）日又は認定日から3月超	平成24年3月サービス分まで
64	5001	予防訪問リハ短期集中リハ加算	退院（所）日又は認定日から3月以内	—

原因・・「確認対象情報」のサービスコードが、算定可能な期間外に請求されている場合に、請求内容に疑義があるものとして出力されます。
 （「関連情報」欄には介護保険施設の入所実績が表示されず。他の事業所の情報はアスタリスク（*）で表示されます。）

対応・・①リハビリテーション実施日が利用条件（算定可能な期間）を満たしているか確認して下さい。確認した結果、利用条件を満たしていることが判明した場合は、「確認調整結果記入欄」に、起算日の種類（病院退院日／施設退所日／認定日／訪問開始日）と起算日の年月日と加算の算定日を記入し、「過誤しない」に○をつけて返送して下さい。

②確認した結果、記載誤りや請求誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送して下さい。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

事業所番号	507000001
事業所名	サービス事業所 0 1
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

令和 6 年 10 月縦覧審査分

確認表記入者の氏名と電話番号を記入して下さい。

「対象帳票」欄＝算定（縦覧区分＊10）
 「縦覧点検出力事由」欄
 入所日から過去3ヶ月以内に施設に入所していません

以下は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」「単独」の場合は、過誤を「する」・「しない」のいずれかに○を付けて令和〇年〇月〇日までにご返送ください。

□□県国民健康保険団体連合会

対応番号	確認対象情報							関連情報						
	対象帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス提供年月	サービス		日数/回数	縦覧点検出力事由	サービス提供年月	事業所番号	電話番号	サービス		日数/回数
1	算定	501001 保険者 0 1	0000000001 かこ 知	R6. 8	52 6252	1	入所日から過去3ヶ月以内に施設に入所しています	R6. 6	507000001	99-9999-9999	52	介護保健施設		
	上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右に記入してください。							(確認調整結果記入欄) 過誤 請求誤りのため過誤						
	確認の観点	再入所しているか 摘要欄の記載内容を確認						する ・ しない						

又は

(確認調整結果記入欄) 国保病院入院 入院期間 ○月○日～○月○日 再入所日 ○月○日	過誤 する ・ しない
--	----------------------

施設／医療機関名、入院期間、再入所日を記入して下さい。

内容・・・入所日から過去3ヶ月以内に施設に入所しています

対象サービス・・・

サービスコード		サービス略称
52	6255	保健施設短期集中リハ加算Ⅰ
52	6252	保健施設短期集中リハ加算Ⅱ

報酬算定上の制限

・・・過去3ヶ月間に施設に入所した実績がある場合は算定できません。

原因・・・過去3ヶ月以内に施設に入所した実績がある場合に、請求内容に疑義があるものとして出力されます。

(「関連情報」欄には介護保険施設の入所実績が表示されます。)

対応・・・①別の施設・医療機関に入所(院)した後、施設に再入所した場合か確認して下さい。確認した結果、再入所であることが判明した場合は、

「確認調整結果記入欄」に、施設名/医療機関名、入院期間を記入し、「過誤しない」に○をつけて返送して下さい。

②確認した結果、記載誤りや請求誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送して下さい。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

事業所番号	5070000001
事業所名	サービス事業所 〇 1
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

令和 6 年 10 月縦覧審査分

確認表記入者の氏名と電話番号を記入して下さい。

「対象帳票」欄＝算定（縦覧区分＊10）
 「縦覧点検出力事由」欄
 過去3ヶ月以内に認知症短期集中リハ加算を算定しています

以下は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」「単独」の場合は、過誤を「する」・「しない」のいずれかに○を付けて令和〇年〇月〇日までにご返送ください。

□□県国民健康保険団体連合会

対応番号	確認対象情報							関連情報						
	対象帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス提供年月	サービス		日数/回数	縦覧点検出力事由	サービス提供年月	事業所番号	電話番号	サービス		日数/回数
1	算定	501001 保険者 〇 1	0000000001 かこ 太郎	R6. 8	52	6253	1	過去3ヶ月以内に認知症短期集中リハ加算を算定しています	R6. 5	*****	*****	52	6253	1
	上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右に記入してください。							(確認調整結果記入欄)	過誤					
	確認の観点	利用者の自己都合（体調悪化）等やむを得ず算定要件が満たせなくなった場合か							請求誤りのため過誤	<div style="border: 1px solid red; padding: 2px; display: inline-block;">する</div> ・ しない				

又は

(確認調整結果記入欄)	過誤
〇月〇日～〇月〇日 脳血管疾患のため入院 認知症リハが必要と医師が判断したため	<div style="border: 1px solid red; padding: 2px; display: inline-block;">する</div> ・ <div style="border: 1px solid red; padding: 2px; display: inline-block;">しない</div>

加算を算定している理由を記入して下さい。

内容・・過去3ヶ月以内に認知症短期集中リハ加算を算定しています

対象サービス・・

サービスコード		サービス略称
52	6256	保健施設認知症短期集中リハ加算Ⅰ
52	6253	保健施設認知症短期集中リハ加算Ⅱ

報酬算定上の制限

- ・・利用者が過去3ヶ月以内に認知症短期集中リハ加算を算定している場合は、算定できない加算です。

ただし、以下のような場合には、算定が認められます。

平成21年4月改定関係Q & A (Vol. 2)

(問42)

認知症短期集中リハビリテーション実施中又は終了後3ヶ月に満たない期間に、脳血管疾患等の認知機能に直接影響を与える疾患を来し、その急性期の治療のために入院となった場合の退院後の取扱い如何。

(答)

認知症短期集中リハビリテーション実施中又は終了後3ヶ月に満たない期間に、脳血管疾患等の認知機能低下を来す中枢神経疾患を発症、その急性期に治療のために入院し、治療終了後も入院の原因となった疾患の発症前と比し認知機能が悪化しており、認知症短期集中リハビリテーションの必要性が認められる場合に限り、入院前に利用していたサービス、事業所に関わらず、介護老人保健施設、介護療養型医療施設においては入所(院)した日から起算して新たに3月、通所リハビリテーションにおいては利用開始日から起算して3ヶ月以内に限り算定できる。

原因・・過去3ヶ月間(4月サービスの場合、1・2・3月)に認知症短期集中リハ加算を請求している場合に、請求内容に疑義があるものとして出力されます。

(「関連情報」欄には過去3ヶ月間の同一のサービスが表示されます。他の事業所の情報はアスタリスク(*)で表示されます。)

対応・・①過去3ヶ月間に同一の加算の請求をしている場合、加算を算定している理由を確認して下さい。確認した結果、正当な理由であることが判明した場合は、「確認調整結果記入欄」に、理由を記入し、「過誤しない」に○をつけて返送して下さい。

②確認した結果、記載誤りや請求誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送して下さい。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

事業所番号	5070000001
事業所名	サービス事業所01
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

平成 27 年 10 月縦覧審査分

確認表記入者の氏名と電話番号を
記入して下さい。

「対象帳票」欄＝算定（縦覧区分＊10）
 ※令和3年8月サービス分まで
 「縦覧点検出力事由」欄
 通所リハ生活行為向上リハ加算1が3ヶ月超継続
 している可能性があります／通所リハ生活行為向
 上リハ加算2が3ヶ月超継続している、または、加
 算1と加算2が合算して6ヶ月超継続している可
 能性があります

以下は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。
 内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」「単独」の場合は、過誤を「する」・「しない」のいずれかに○を付けて平成□年□月□日までにご返送ください。

□□県国民健康保険団体連合会

対応 番号	確認対象情報							関連情報					
	対象 帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス 提供年月	サービス	日数/ 回数	縦覧点検出力事由	サービス 提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	日数/ 回数	
1	算定	501001 保険者01	0000000001 かこたゆ	H27.8	16 6255	1	通所リハ生活行為向上リハ加算1が3ヶ月超継続している可能性があります	H27.5	5070000001 サービス事業所01	99-9999-9999	16 6255	1	
	上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右に記入してください。							(確認調整結果記入欄) 過誤 請求誤りのため過誤					
	確認の 観点	リハビリテーション実施日が利用条件（利用開始日の属する月から3月以内／3月超6月以内）を満たしているか						する ・ しない					

又は

(確認調整結果記入欄) ○月○日～○月○日 入院 ○月○日 再度利用を開始した日 医師が、生活行為の内容の充実を図るためのリハビリテーションが必要と判断したため	過誤 する ・ しない
---	----------------------

加算を算定している理由を記入して下さい。

内容・・通所リハ生活行為向上リハ加算 1 が 3 ヶ月を超えた期間に算定しています／通所リハ生活行為向上リハ加算 2 が 3 ヶ月を超えた期間に算定している、または、加算 1 と加算 2 が合算して 6 ヶ月を超えた期間に算定しています

対象サービス・・

サービスコード	サービス略称	備考	
1 6	6 2 5 5	通所リハ生活行為向上リハ加算 1	令和 3 年 5 月サービス分まで
1 6	6 2 5 6	通所リハ生活行為向上リハ加算 2	令和 3 年 8 月サービス分まで
6 6	6 2 5 5	予防通所リハ生活行為向上リハ加算 1	令和 3 年 5 月サービス分まで
6 6	6 2 5 6	予防通所リハ生活行為向上リハ加算 2	令和 3 年 8 月サービス分まで

報酬算定上の制限

- ・利用を開始した日の属する月から 3 月以内の場合は通所リハ生活行為向上リハ加算 1 を、3 月超 6 月以内の場合は通所リハ生活行為向上リハ加算 2 が算定可能なサービスです。

また、以下のような場合も算定が認められます。

平成 2 7 年度介護報酬改定に関する Q & A (Vol. 1)

(問 1 0 2)

生活行為向上リハビリテーション実施加算の取得が可能となる期間中に、入院等のためにリハビリテーションの提供の中断があった後、再び同一事業所の利用を開始した場合、再利用日を起算点として、改めて 6 月間の算定実施は可能か。

(答)

生活行為向上リハビリテーション実施加算は、生活行為の内容の充実を図るための目標を設定し、当該目標を踏まえたリハビリテーションの実施内容等をリハビリテーション実施計画にあらかじめ定めて、利用者に対して、利用者の有する能力の向上を計画的に支援することを評価するものである。

入院等により、活動するための機能が低下し、医師が、生活行為の内容の充実を図るためのリハビリテーションの必要性を認めた場合に限り、入院前に利用していたサービス種別、事業所・施設にかかわらず、再度利用を開始した日から起算して新たに 6 月以内に限り算定できる。

原因・・当月および過去 3 ヶ月前（4 月サービスの場合、1 月）に（予防）通所リハ生活行為向上リハ加算 1 を請求している場合に、請求内容に疑義があるものとして出力されます。加算 2 についても同様です。（「関連情報」欄には過去 3 ヶ月前のサービスが表示されます。）

または、当月に加算 2 を請求しており、かつ、過去 6 ヶ月前（4 月サービスの場合、1 0 月）に加算 1 を請求している場合に、請求内容に疑義があるものとして出力されます。（「関連情報」欄には過去 6 ヶ月前のサービスが表示されます。）

対応・・①過去（3 ヶ月または 6 ヶ月前）に（予防）通所リハ生活行為向上リハ加算の請求をしている場合、加算を算定している理由を確認して下さい。確認した結果、正当な理由であることが判明した場合は、「確認調整結果記入欄」に理由を記入し、「過誤しない」に○をつけて返送して下さい。

②確認した結果、請求誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送して下さい。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

事業所番号	507000001
事業所名	サービス事業所 0 1
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

令和 6 年 10 月 縦覧審査分

確認表記入者の氏名と電話番号を記入して下さい。

「対象帳票」欄＝算定（縦覧区分＊10）
 「縦覧点検出力事由」欄
 通所リハマネジメント加算が6ヶ月超継続している
 可能性があります

□□県国民健康保険団体連合会

以下は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」「単独」の場合は、過誤を「する」・「しない」のいずれかに○を付けて令和〇年〇月〇日までにご返送ください。

対応番号	確認対象情報							関連情報					
	対象帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス提供年月	サービス		日数/ 回数	縦覧点検出力事由	サービス提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	
1	算定	501001 保険者 0 1	000000001 カゴ 知	R6. 8	16 5608	1	通所リハママネジメントが6ヶ月超継続している可能性があります	R6. 2	507000001 サービス事業所 0 1	99-9999-9999	16 5608	通所リハマ マネジメント 加算 A 1 1	1
	上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右に記入してください。 （確認調整結果記入欄） 請求誤りのため過誤							過誤 する ・ しない					
	確認の観点	リハビリテーション実施日が利用条件（同意日の属する月から6月以内）を満たしているか							又は （確認調整結果記入欄） ○月○日 リハビリテーション会議を開催し、計画を見直していく必要性が高いことを利用者が合意したため	過誤 する ・ しない			

加算を算定している理由を記入して下さい。

内容・・通所リハマネジメント加算が6ヶ月を超えた期間に算定しています

対象サービス・・

サービスコード		サービス略称	備考
16	5608	通所リハマネジメント加算A11	令和6年5月サービス分まで
		通所リハマネジメント加算11	令和6年6月サービス分から
16	5619	通所リハマネジメント加算A21	令和6年5月サービス分まで
		通所リハマネジメント加算21	令和6年6月サービス分から
16	5615	通所リハマネジメント加算B11	令和6年5月サービス分まで
16	5621	通所リハマネジメント加算B21	令和6年5月サービス分まで
16	5617	通所リハマネジメント加算IV1	令和3年3月サービスまで
16	5631	通所リハマネジメント加算31	令和6年6月サービス分から

報酬算定上の制限

- ・・同意日の属する月から6月以内の場合に算定が可能なサービスです。
また、以下のような場合も算定が認められます。

<p>平成27年度介護報酬改定に関するQ&A (Vol.3) (問3) リハビリテーションマネジメント加算(Ⅱ)(1)を取得中にリハビリテーションマネジメント加算(Ⅰ)に変更して取得した場合であっても、その後、利用者の状態に応じてリハビリテーションマネジメント加算(Ⅱ)を再度取得する必要性が生じた際には、リハビリテーションマネジメント加算(Ⅱ)(1)から取得することができるのか。 (答) リハビリテーションマネジメント加算(Ⅱ)(1)からリハビリテーションマネジメント加算(Ⅰ)に変更して取得後、利用者の同意を得た日の属する月から6月間を超えてリハビリテーションマネジメント加算(Ⅱ)を再度取得する場合は、原則としてリハビリテーションマネジメント加算(Ⅱ)(2)を取得することとなる。 ただし、リハビリテーション会議を開催し、利用者の急性増悪等により、当該会議を月に1回以上開催し、利用者の状態の変化に応じ、当該計画を見直していく必要性が高いことを利用者若しくは家族並びに構成員が合意した場合、リハビリテーションマネジメント加算(Ⅱ)(1)を再度6月間取得することができる。その際には、改めて居宅を訪問し、利用者の状態や生活環境についての情報収集(Survey)すること。</p>
--

原因・・過去6ヶ月前(4月サービスの場合、10月)に通所リハマネジメント加算Ⅱ1、加算Ⅲ1または加算Ⅳ1を請求している場合に、請求内容に疑義があるものとして出力されます。
(「関連情報」欄には過去6ヶ月前のサービスが表示されます。)

- 対応・・①過去6ヶ月前に通所リハマネジメント加算Ⅱ1、加算Ⅲ1または加算Ⅳ1の請求があるが、加算を算定している理由を確認して下さい。確認した結果、正当な理由であることが判明した場合は、「確認調整結果記入欄」に、理由を記入し、「過誤しない」に○をつけて返送して下さい。
- ②確認した結果、請求誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送して下さい。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

事業所番号	5070000001
事業所名	サービス事業所01
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

平成 27 年 10 月縦覧審査分

確認表記入者の氏名と電話番号を
記入してください。

「対象帳票」欄＝算定（縦覧区分＊10）
 ※令和4年2月サービス分まで
 「縦覧点検出力事由」欄
 「生活行為向上リハビリテーション実施加算の実施後に通所リハビリテーションを継続した場合の減算」の対象となる可能性があります

□□県国民健康保険団体連合会

以下は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」「単独」の場合は、過誤を「する」・「しない」のいずれかに○を付けて平成○年○月○日までにご返送ください。

対応番号	確認対象情報							関連情報				
	対象帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス提供年月	サービス	日数/ 回数	縦覧点検出力事由	サービス提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	日数/ 回数
1	算定	501001 保険者01	0000000001 かこ 太郎	H27.8	16 1101 通所リハ I 1 1 1	9	「生活行為向上リハビリテーション実施加算の実施後に通所リハビリテーションを継続した場合の減算」の対象となる可能性があります	H27.4	5070000001 サービス事業所01	99-9999-9999	16 6255	通所リハ生活行為向上リハ加算1 1
	(確認調整結果記入欄) 請求誤りのため過誤							H27.5	5070000001 サービス事業所01	99-9999-9999	16 6255	通所リハ生活行為向上リハ加算1 1
	確認の観点	通所リハを終了した日の属する月の翌月から6月以内に通所リハが算定されている場合、生活行為向上リハ加算を算定した期間分、通所リハが減算されているか						H27.7	5070000001 サービス事業所01	99-9999-9999	16 7001	通所リハ I 1 1 1・継続 1

又は

(確認調整結果記入欄) ○月○日～○月○日 入院 減算が必要な月数は、○月～○月の○ヶ月間であるため	過誤 する ・ しない
--	----------------------

減算請求をしていない理由を記入してください。

内容・「生活行為向上リハビリテーション実施加算の実施後に通所リハビリテーションを継続した場合の減算」の対象となる可能性があります

対象サービス

- ・通所リハビリテーション、予防通所リハビリテーション

報酬算定上の制限

- ・（予防）生活行為向上リハ加算を算定後、引き続き（予防）通所リハビリテーションを利用する場合は、（予防）生活行為向上リハ加算を算定した月数分減算が必要です。

原因・（予防）生活行為向上リハ加算を算定した月数分の減算が前月までに行われておらず、当月に減算を含まない通所リハを算定している場合に、請求内容に疑義があるものとして出力されます。

（「関連情報」欄には過去の（予防）生活行為向上リハ加算と前月までの減算のサービスが表示されます。）

対応・①（予防）生活行為向上リハ加算を算定した月数分、前月までに減算しているか確認して下さい。確認した結果、減算請求をしてない理由がある場合は、「確認調整結果記入欄」に減算をしていない理由を記入し、「過誤しない」に○をつけて返送して下さい。

②確認した結果、請求誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送して下さい。

また、以下のような場合について減算されます。

平成27年度介護報酬改定に関するQ & A (Vol. 4)

(問3)

生活行為向上リハビリテーション実施加算を取得し、その後、同一の利用者に対して、通所リハビリテーションの提供を行い、減算が実施されている期間中であつたが、当該利用者の病状が悪化し入院することとなった場合であつて、病院を退院後に再度同一事業所において、通所リハビリテーションを利用することとなった場合、減算はどのように取り扱われるのか。

また、減算期間が終了する前に、生活行為向上リハビリテーション実施加算を再度取得することはできるのか。

(答)

生活行為向上リハビリテーション実施加算は、加齢や廃用症候群等により生活機能の1つである活動をするための機能が低下した利用者に対して、当該機能を回復させ、生活行為の内容の充実を図るための目標と当該目標を踏まえた6月間のリハビリテーションの実施内容をリハビリテーション実施計画にあらかじめ定めた上で、計画的にリハビリテーションを提供することを評価したものである。

当該加算に係る減算については、6月間のリハビリテーションの実施内容を当該実施計画にあらかじめ定めたものの、その後、同一利用者に対して、通所リハビリテーションを利用することとなった場合、当該加算を取得した月数と同月分の期間だけ実施されるものである。例えば、5月間取得した場合は、5月分の期間だけ減算される。

したがって、当該利用者の病状が悪化し入院することとなった場合は、あくまでも減算が中断されたものであり、病院を退院後に再度同一事業所において、通所リハビリテーションを利用することとなれば、必要な期間の減算が再開されることとなる。

【例】

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
状況								入院					
	通所リハ												
	生活行為向上リハ加算(イ)			生活行為向上リハ加算(ロ)									
減算適用月							●		●	●	●	●	●

また、生活行為向上リハビリテーション実施加算と、それに関連する減算については、一体的に運用がされているものであることから、当該加算は減算の終了後に再取得が可能となる。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

「対象帳票」欄＝算定（縦覧区分＊10）
 「縦覧点検出力事由」欄
 通所リハ生活行為向上リハ加算が6ヶ月超継続している可能性があります

事業所番号	507000001
事業所名	サービス事業所01
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

令和3年10月縦覧審査分

確認表記入者の氏名と電話番号を
記入して下さい。

令和〇年〇月〇日

以下は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」「単独」の場合は、過誤を「する」・「しない」のいずれかに○を付けて平成〇年〇月〇日までにご返送ください。

〇〇県国民健康保険団体連合会

対応 番号	確認対象情報							関連情報					
	対象 帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス 提供年月	サービス	日数/ 回数	縦覧点検出力事由	サービス 提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	日数/ 回数	
1	算定	501001 保険者01	000000001 かこたゆ	R3.10	16 6257	1	通所リハ生活行為向上リハ加算が6ヶ月超継続している可能性があります	R3.4	507000001 サービス事業所01	99-9999-9999	16 6257	1	
	上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右に記入してください。							(確認調整結果記入欄) 過誤 請求誤りのため過誤					
	確認の 観点	リハビリテーション実施日が利用条件（同意日の属する月から6月以内）を満たしているか						(確認調整結果記入欄) 過誤 ○月○日 疾病等により生活機能が低下し、医師がリハビリテーションの必要性を認めたため					

又は

(確認調整結果記入欄) ○月○日 疾病等により生活機能が低下し、医師がリハビリテーションの必要性を認めたため	過誤 する ・ しない
--	----------------------

加算を算定している理由を記入して下さい。

内容・・通所リハ生活行為向上リハ加算が6ヶ月を超えた期間に算定しています

対象サービス・・通所リハ生活行為向上リハ加算

報酬算定上の制限

- ・・利用を開始した日の属する月から6月以内の場合に算定が可能なサービスです。
また、以下のような場合も算定が認められます。

令和3年度介護報酬改定に関するQ & A (Vol. 5)

(問6)

生活行為向上リハビリテーション実施加算は、リハビリテーション実施計画に基づく指定通所リハビリテーションの利用を開始した日の属する月から6月以内の場合に算定可能とされているが、再度同加算を算定することは可能か。

(答)

疾病等により生活機能が低下（通所リハビリテーション計画の直近の見直し時と比較して、ADLの評価である Barthel Index 又は IADL の評価である Frenchay Activities Index の値が低下したものに限り。）し、医師が生活行為の内容の充実を図るためのリハビリテーションの必要性を認めた場合、改めてリハビリテーション実施計画に基づく指定通所リハビリテーションの利用を開始した場合は、新たに6月以内の算定が可能である。

原因・・過去6ヶ月前（4月サービスの場合、10月）に通所リハ生活行為向上リハ加算を請求している場合に、請求内容に疑義があるものとして出力されます。

（「関連情報」欄には過去6ヶ月前のサービスが表示されます。）

対応・・①過去6ヶ月前に通所リハ生活行為向上リハ加算の請求があるが、加算を算定している理由を確認して下さい。確認した結果、正当な理由であることが判明した場合は、「確認調整結果記入欄」に、理由を記入し、「過誤しない」に○をつけて返送して下さい。

②確認した結果、請求誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送して下さい。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

事業所番号	507000001
事業所名	サービス事業所 〇 1
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

令和 6 年 10 月 縦覧審査分

確認表記入者の氏名と電話番号を記入して下さい。

「対象帳票」欄＝算定（縦覧区分＊12）
 「縦覧点検出力事由」欄
 入所（院）中に算定可能な加算の合計が制限回数を超えています

以下は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」「単独」の場合は、過誤を「する」・「しない」のいずれかに○を付けて令和〇年〇月〇日までにご返送ください。

□□県国民健康保険団体連合会

対応番号	確認対象情報							関連情報						
	対象帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス提供年月	サービス		日数/回数	縦覧点検出力事由	サービス提供年月	事業所番号	電話番号	サービス		日数/回数
1	算定	501001 保険者 〇 1	0000000001 かこ 知	R6. 8	52	6401	1	入所（院）中に算定可能な加算の合計が制限回数を超えています	R6. 4	5070000001 サービス事業所 〇 1	99-9999-9999	52	6401	1
	上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右に記入してください。							(確認調整結果記入欄) 請求誤りのため過誤						
	確認の観点	入退所（院）を繰り返している場合か						(確認調整結果記入欄) 再入所日 〇月〇日		過誤 する ・ しない				

又は

(確認調整結果記入欄) 再入所日 〇月〇日	過誤 する ・ しない
-----------------------------	----------------------

再入所日を記入して下さい。

内容・・・入所（院）中に算定可能な加算の合計が制限回数を超えています

対象サービス・・・

サービスコード	サービス名称	制限回数	有効期間	サービスコード	サービス名称	制限回数	有効期間
22	6001 老短総合医学管理加算	7	20210401-20240331	52	6401 保健施設入所前後訪問指導加算Ⅰ 1	1	20150401-
		10	20240401-	52	6402 保健施設入所前後訪問指導加算Ⅰ 2	1	20150401-
25	6001 予老短総合医学管理加算	7	20210401-20240331	52	6403 保健施設入所前後訪問指導加算Ⅱ 1	1	20150401-
		10	20240401-	52	6404 保健施設入所前後訪問指導加算Ⅱ 2	1	20150401-
27	9010 短期特定施設新興感染症等施設療養費	5	20240401-	52	6501 保健施設退所前訪問指導加算 1	1	20120401-20180331
28	9010 短期地域特定施設新興感染症等施設療養費	5	20240401-	52	6506 保健施設退所前訪問指導加算 2	2	20120401-20180331
32	9010 認知症対応型新興感染症等施設療養費	5	20240401-	52	9010 保健施設新興感染症等施設療養費	5	20240401-
33	9010 特定施設新興感染症等施設療養費	5	20240401-	53	2720 療養型安全対策体制加算	1	20210401-20240331
35	9010 予防特定施設新興感染症等施設療養費	5	20240401-	53	2851 療養型退院前訪問指導加算	2	20120401-20240331
36	9010 地域特定施設新興感染症等施設療養費	5	20240401-	53	3720 診療所型安全対策体制加算	1	20210401-20240331
37	9010 予認知症対応型新興感染症等施設療養費	5	20240401-	53	3851 診療所型退院前訪問指導加算	2	20120401-20240331
38	9010 短期共同生活新興感染症等施設療養費	5	20240401-	53	4720 認知症型安全対策体制加算	1	20210401-20240331
39	9010 予短期共同新興感染症等施設療養費	5	20240401-	53	4851 認知症型退院前訪問指導加算	2	20120401-20240331
51	6270 福祉施設安全対策体制加算	1	20210401-	54	6270 地福祉施設安全対策体制加算	1	20210401-
51	6501 福祉施設退所前訪問相談援助加算	2	20120401-	54	6501 地福祉施設退所前訪問相談援助加算	2	20120401-
51	9010 福祉施設新興感染症等施設療養費	5	20240401-	54	9010 地福祉施設新興感染症等施設療養費	5	20240401-
52	6135 保健施設認知症情報提供加算	1	20090401-20240331	55	6270 医療院安全対策体制加算	1	20210401-
52	6136 保健施設地域連携診療計画加算 1	1	20120401-20240331	55	6501 医療院退所前訪問指導加算	2	20180401-
52	6137 保健施設地域連携診療計画加算 2	1	20120401-20240331	55	9010 医療院新興感染症等施設療養費	5	20240401-

サービスコード	サービス名称	制限回数	有効期間	サービスコード	サービス名称	制限回数	有効期間
52 6270	保健施設安全対策体制加算	1	20210401-				

報酬算定上の制限

・・入所（院）期間中に、制限回数を上限として算定可能なサービスです。

原因・・入所（院）中につき算定可能な加算が制限回数を超えて請求されている場合に、請求内容に疑義があるものとして出力されます。
（「関連情報」欄には過去の同一のサービスが表示されます。）

対応・・①入退所を繰り返している場合か確認して下さい。確認した結果、入退所を繰り返していることが判明した場合は、「確認調整結果記入欄」に、再入所日を記入し、「過誤しない」に○をつけて返送して下さい。
②確認した結果、請求誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送して下さい。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

平成 27 年 10 月縦覧審査分

事業所番号	507000001
事業所名	支援事業所 〇 1
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

確認表記入者の氏名と電話番号を記入して下さい。

「対象帳票」欄＝算定（縦覧区分＊12）
 「縦覧点検出力事由」欄
 介護保険施設を退所した実績がありません

以下は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。
 内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」「単独」の場合は、過誤を「する」・「しない」のいずれかに○を付けて平成〇年〇月〇日までにご返送ください。

□□県国民健康保険団体連合会

対応番号	認対象情報							関連情報						
	対象帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス提供年月	サービス		日数/回数	縦覧点検出力事由	サービス提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	日数/回数	
1	算定	501001 保険者 〇 1	0000000001 かこ 知ゆ	H27. 4	43 居宅支援退 院退所加算 I 1	6132	1	介護保険施設を退所した実績 がありません	H27. 3	***** *****	***** *****	53 介護医療施 設		
	上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右に記入してください。							(確認調整結果記入欄)	過誤					
	確認の観点	退所しているか、病院又は診療所への入院があるか							請求誤りのため過誤	する ・ しない				

又は

(確認調整結果記入欄)	過誤
国保施設 〇月〇日～〇月〇日 40日間	する ・ しない

施設名称・入所期間を記入して下さい。

又は

(確認調整結果記入欄)	過誤
国保病院 〇月〇日～〇月〇日 40日間	する ・ しない

医療機関名称・入院期間を記入して下さい。

内容・・・介護保険施設を退所した実績がありません

対象サービス・・・

サービスコード		サービス略称
43	6132	居宅支援退院退所加算Ⅰ 1
43	6143	居宅支援退院退所加算Ⅰ 2
43	6144	居宅支援退院退所加算Ⅱ 1
43	6145	居宅支援退院退所加算Ⅱ 2
43	6146	居宅支援退院退所加算Ⅲ

報酬算定上の制限

- ・・・施設・医療機関からの退所（院）にあたって、施設・医療機関と連携して居宅サービス計画を新規に作成した月に算定できます。ただし、居宅介護支援初回加算や介護老人福祉施設の在宅入所相互利用加算を算定している場合は算定できません。

原因・・・介護保険施設の入所実績はあるが、退所実績がない場合に出力されます。

（「関連情報」欄には介護保険施設の入所実績が表示されます。他の事業所の情報はアスタリスク（*）で表示されます。）

- 対応・・・①介護保険施設の退所にあたって算定している場合か確認して下さい。確認した結果、介護保険施設退所時に算定していることが判明した場合は、「確認調整結果記入欄」に施設名称・入所期間を記入して、「過誤しない」に○をつけて返送して下さい。
- ②医療機関の退院にあたって算定している場合か確認して下さい。確認した結果、医療機関退院時に算定していることが判明した場合は、「確認調整結果記入欄」に医療機関名称・入院期間を記入して、「過誤しない」に○をつけて返送して下さい。
- ③確認した結果、記載誤りや請求内容の誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送して下さい。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

「対象帳票」欄＝算定（縦覧区分＊12）
 「縦覧点検出力事由」欄
 介護保険施設の入所実績がありません

事業所番号	5070000001
事業所名	支援事業所01
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

平成 27 年 10 月縦覧審査分

確認表記入者の氏名と電話番号を
記入して下さい。

以下は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」「単独」の場合は、過誤を「する」・「しない」のいずれかに○を付けて平成□年□月□日までにご返送ください。

□□県国民健康保険団体連合会

対応 番号	確認対象情報							関連情報					
	対象 帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス 提供年月	サービス	日数/ 回数	縦覧点検出力事由	サービス 提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	日数/ 回数	
1	算定	501001 保険者01	0000000001 カゴ 知	H27.4	43 6132 居宅支援退 院退所加算 I 1	1	介護保険施設の入所実績が ありません						
		(確認調整結果記入欄) 上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右 に記入してください。 請求誤りのため過誤						過誤 する ・ しない					
	確認の 観点	病院又は診療所への入院があるか						する ・ しない					

又は

(確認調整結果記入欄) 国保病院 ○月○日～○月○日 40日間	過誤 する ・ しない
---	--------------------------

医療機関名称・入院期間を
記入して下さい。

内容・・・介護保険施設の入所実績がありません

対象サービス・・・

サービスコード		サービス略称
43	6132	居宅支援退院退所加算Ⅰ 1
43	6143	居宅支援退院退所加算Ⅰ 2
43	6144	居宅支援退院退所加算Ⅱ 1
43	6145	居宅支援退院退所加算Ⅱ 2
43	6146	居宅支援退院退所加算Ⅲ

報酬算定上の制限

- 施設・医療機関からの退所（院）にあたって、施設・医療機関と連携して居宅サービス計画を新規に作成した月に算定できます。
ただし、居宅介護支援初回加算や介護老人福祉施設の在宅入所相互利用加算を算定している場合は算定できません。

原因・・・介護保険施設の入所実績がない場合に出力されます。

- 対応・・・①医療機関の退院にあたって算定している場合か確認して下さい。確認した結果、医療機関退院時に算定していることが判明した場合は、「確認調整結果記入欄」に医療機関名称・入院期間を記入して、「過誤しない」に○をつけて返送して下さい。
- ②確認した結果、記載誤りや請求内容の誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送して下さい。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

事業所番号	5070000001
事業所名	支援事業所 〇 1
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

平成 27 年 10 月縦覧審査分

確認表記入者の氏名と電話番号を記入して下さい。

「対象帳票」欄＝算定（縦覧区分＊12）
 「縦覧点検出力事由」欄
 施設入所時に在宅入所相互利用加算を算定しています

□□県国民健康保険団体連合会

以下は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」「単独」の場合は、過誤を「する」「しない」のいずれかに○を付けて平成〇年〇月〇日までにご返送ください。

対応番号	確認対象情報							関連情報					
	対象帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス提供年月	サービス	日数/回数	縦覧点検出力事由	サービス提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	日数/回数	
1	算定	501001 保険者 〇 1	0000000001 かこ 夕ゆ	H27. 4	43 6132 居宅支援退 院退所加算 I 1	1	施設入所時に在宅入所相互利用加算を算定しています	H27. 3	***** *****	***** *****	51 6279 福祉施設在 宅入所相互 利用加算	2	
		(確認調整結果記入欄) 上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右に記入してください。 請求誤りのため過誤						過誤					
	確認の 観点	病院又は診療所への入院があるか						する ・ しない					

又は

(確認調整結果記入欄) 国保病院 〇月〇日～〇月〇日 40日間	過誤 する ・ しない
---------------------------------------	----------------------

医療機関名称・入院期間を記入して下さい。

内容・・施設入所時に在宅入所相互利用加算を算定しています

対象サービス・・

サービスコード		サービス略称
43	6132	居宅支援退院退所加算Ⅰ 1
43	6143	居宅支援退院退所加算Ⅰ 2
43	6144	居宅支援退院退所加算Ⅱ 1
43	6145	居宅支援退院退所加算Ⅱ 2
43	6146	居宅支援退院退所加算Ⅲ

報酬算定上の制限

- ・・施設・医療機関からの退所（院）にあたって、施設・医療機関と連携して居宅サービス計画を新規に作成した月に算定できます。
ただし、居宅介護支援初回加算や介護老人福祉施設の在宅入所相互利用加算を算定している場合は算定できません。

原因・・介護福祉施設の在宅入所相互利用加算の請求がある場合に出力されます。

（「関連情報」欄には在宅・入所相互利用加算又は施設の請求が表示されます。他の事業所の情報はアスタリスク（*）で表示されます。）

- 対応・・①医療機関の退院にあたって算定している場合か確認して下さい。確認した結果、医療機関退院時に算定していることが判明した場合は、「確認調整結果記入欄」に医療機関名称・入院期間を記入して、「過誤しない」に○をつけて返送して下さい。
②確認した結果、記載誤りや請求内容の誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送して下さい。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

平成 27 年 10 月縦覧審査分

事業所番号	507000001
事業所名	支援事業所 0 1
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

確認表記入者の氏名と電話番号を記入して下さい。

「対象帳票」欄＝算定（縦覧区分＊12）
 「縦覧点検出力事由」欄
 施設退所後既に居宅サービス計画費を算定しています

以下は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」「単独」の場合は、過誤を「する」「しない」のいずれかに○を付けて平成○年○月○日までにご返送ください。

□□県国民健康保険団体連合会

対応番号	確認対象情報							関連情報					
	対象帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス提供年月	サービス	日数/回数	縦覧点検出力事由	サービス提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	日数/回数	
1	算定	501001 保険者 0 1	0000000001 かこ けん	H27. 4	43 6132 居宅支援退 院退所加算 I 1	1	施設退所後既に居宅サービス 計画費を算定しています	H27. 3	***** *****	***** *****	51 介護福祉施 設		
	上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右に記入してください。							(確認調整結果記入欄) 過誤 請求誤りのため過誤	H27. 3	507000001 支援事業所 0 1	99-9999-9999	43 居宅介護支 援	
	確認の 観点	病院又は診療所への入院があるか						<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; display: inline-block;"> する ・ しない </div>					

又は

(確認調整結果記入欄)	過誤
国保病院 ○月○日～○月○日 40日間	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; display: inline-block;"> する ・ しない </div>

医療機関名称・入院期間を記入して下さい。

内容・・・施設退所後既に居宅サービス計画費を算定しています

対象サービス・・・

サービスコード		サービス略称
43	6132	居宅支援退院退所加算Ⅰ 1
43	6143	居宅支援退院退所加算Ⅰ 2
43	6144	居宅支援退院退所加算Ⅱ 1
43	6145	居宅支援退院退所加算Ⅱ 2
43	6146	居宅支援退院退所加算Ⅲ

報酬算定上の制限

- ・・・施設・医療機関からの退所（院）にあたって、施設・医療機関と連携して居宅サービス計画を新規に作成した月に算定できます。
ただし、居宅介護支援初回加算や介護老人福祉施設の在宅入所相互利用加算を算定している場合は算定できません。

原因・・・施設退所後、既に居宅サービス計画費の請求がある場合に出力されます。

（「関連情報」欄には施設と居宅サービス計画費の請求が表示されます。他の事業所の情報はアスタリスク（*）で表示されます。）

- 対応・・・①医療機関の退院にあたって算定している場合か確認して下さい。確認した結果、医療機関退院時に算定していることが判明した場合は、「確認調整結果記入欄」に医療機関名称・入院期間を記入して、「過誤しない」に○をつけて返送して下さい。
②確認した結果、記載誤りや請求内容の誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送して下さい。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

事業所番号	5060000001
事業所名	訪問看護ステーションO1
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

平成 27 年 10 月縦覧審査分

確認表記入者の氏名と電話番号を
記入して下さい。

「対象帳票」欄＝算定（縦覧区分＊19）
 ※平成30年9月サービス分まで
 「縦覧点検出力事由」欄
 認定有効期間開始年月日又は居宅サービス計画
 費作成届出年月日から6月超に算定しています

以下は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。
 内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」「単独」の場合は、過誤を「する」・「しない」のいずれかに○を付けて平成□年□月□日までにご返送ください。

対応 番号	確認対象情報							関連情報						
	対象 帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス 提供年月	サービス		日数/ 回数	縦覧点検出力事由	サービス 提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	日数/ 回数	
1	算定	501001 保険者O1	0000000001 かこ 知	H27.4	31 看護職員居 宅療養I	1261	1	認定有効期間開始年月日又は 居宅サービス計画費作成届出 年月日から6月超に算定して います						
		(確認調整結果記入欄) 上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右 に記入してください。							過誤					
	確認の 観点	サービス実施日を確認 摘要欄の記載内容を確認							する ・ しない					

又は

(確認調整結果記入欄)	過誤
居宅サービス提供開始日 ○月○日 居宅療養管理指導実施日 ○月○日	する ・ しない

居宅サービスの提供を開始した日と居宅
療養管理指導実施日を記入して下さい。

内容・・認定有効期間開始年月日又は居宅サービス計画費作成届出年月日から6月超に算定しています

対象サービス

- ・・居宅療養管理指導（看護職員等）、予防居宅療養管理指導（看護職員等）

報酬算定上の制限

- ・・居宅サービスの提供を開始してから6月の間に2回を限度として、算定できるサービスです。

原因・・認定有効期間開始年月日又は居宅サービス計画費作成届出年月日から起算して6月を超えている場合に、請求内容に疑義があるものとして出力されます。

（居宅サービス計画費作成届出年月日から起算して6月を超えている場合には、算定期間回数制限縦覧チェック一覧表の「認定有効期間（開始年月日）」欄に「居宅サービス計画費作成届出年月日」が表示されます。「備考」欄には「居宅サービス計画作成依頼届出」と表示されます。）

対応・・①居宅サービスの提供を開始した日と居宅療養管理指導実施日を確認して下さい。確認した結果、居宅サービスの提供を開始した日から2月以内に請求していることが判明した場合は、「確認調整結果記入欄」に、理由を記入し、「過誤しない」に○をつけて返送して下さい。

②確認した結果、記載誤りや請求誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送して下さい。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

事業所番号	5060000001
事業所名	サービス事業所01
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

確認表記入者の氏名と電話番号を記入して下さい。

「対象帳票」欄＝算定（縦覧区分＊20）
 「縦覧点検出力事由」欄
 入所日から3ヶ月超の場合に請求している可能性があります

以下は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」「単独」の場合は、過誤を「する」・「しない」のいずれかに○を付けて平成○年○月○日までにご返送ください。

□□県国民健康保険団体連合会

対応番号	確認対象情報							関連情報						
	対象帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス提供年月	サービス		日数/回数	縦覧点検出力事由	サービス提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	日数/回数	
1	算定	501001 保険者01	0000000001 カゴダウ	H27.8	51	6279	1	入所日から3ヶ月超の場合に請求している可能性があります						
		上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右に記入してください。							(確認調整結果記入欄) 過誤 請求誤りのため過誤 <input checked="" type="checkbox"/> する ・ <input type="checkbox"/> しない					
	確認の観点	サービス実施日を確認							(確認調整結果記入欄) 過誤 加算の算定期間 ○月○日～○月○日 <input type="checkbox"/> する ・ <input checked="" type="checkbox"/> しない					

又は

(確認調整結果記入欄)	過誤
加算の算定期間 ○月○日～○月○日	<input type="checkbox"/> する ・ <input checked="" type="checkbox"/> しない

加算の算定期間を記入して下さい。

内容・・・入所日から3ヶ月を超えて請求している可能性があります

対象サービス

サービスコード		サービス略称
5 1	6 2 7 9	福祉施設在宅入所相互利用加算
5 4	6 2 7 9	地福祉施設在宅入所相互利用加算

報酬算定上の制限

・・・入所年月日から3ヶ月内に算定できるサービスです。

原因・・・入所年月日の属する月から3ヶ月目（サービス提供年月が7月の場合、入所年月日が4月）の場合に、請求内容に疑義があるものとして出力されます。

対応・・・①加算を算定した期間を確認して下さい。確認した結果、入所年月日から3ヶ月以内に請求していることが判明した場合は、「確認調整結果記入欄」に、加算の算定期間を記入し、「過誤しない」に○をつけて返送して下さい。
②確認した結果、記載誤りや請求誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送して下さい。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

事業所番号	5070000001
事業所名	サービス事業所 〇 1
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

確認表記入者の氏名と電話番号を記入して下さい。

「対象帳票」欄＝算定（縦覧区分＊21）
 「縦覧点検出力事由」欄
 過去2ヶ月以内に生活機能向上連携加算 I を算定しています

以下は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。
 内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」「単独」の場合は、過誤を「する」・「しない」のいずれかに○を付けて平成〇年〇月〇日までにご返送ください。

□□県国民健康保険団体連合会

対応番号	確認対象情報							関連情報					
	対象帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス提供年月	サービス	日数/ 回数	縦覧点検出力事由	サービス提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	日数/ 回数	
1	算定	501001 保険者 〇 1	0000000001 かこ 〇 〇 〇	R3.7	15 4001 通所介護生活機能向上連携加算 I	1	過去2ヶ月以内に生活機能向上連携加算 I を算定しています	R3.8	5070000001 サービス事業所 〇 1	99-9999-9999	15 4001 通所介護生活機能向上連携加算 I	1	
		上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右に記入してください。					(確認調整結果記入欄) 過誤 請求誤りのため過誤						
	確認の観点	個別機能訓練計画を見直した場合か					(確認調整結果記入欄) 過誤 する ・ しない						

又は

(確認調整結果記入欄) ○月○日 個別機能訓練計画を見直した日 利用者の急性増悪等により個別機能訓練計画を見直しが必要と判断したため	過誤 する ・ しない
--	----------------------

個別機能訓練計画を見直した理由を記入してください。

内容・・利用者の急性増悪等により個別機能訓練計画を見直していないが、通所介護生活機能向上連携加算を3月間に2回算定している可能性があります

対象サービス

- ・・通所介護

報酬算定上の制限

- ・・利用者の急性増悪等により当該個別機能訓練計画を見直した場合を除き3月に1回しか算定できません。

原因・・通所介護生活機能向上連携加算を算定した月から過去2ヶ月以内に当該加算を算定している場合に、請求内容に疑義があるものとして出力されます。

(「関連情報」欄には過去の通所介護生活機能向上連携加算のサービスが表示されます。)

対応・・①通所介護生活機能向上連携加算を2ヶ月以内に再度算定し直した理由が、利用者の急性増悪等により個別機能訓練計画を見直していることであるか確認して下さい。確認した結果、個別機能訓練計画を見直している場合は理由を記入し、「過誤しない」に○をつけて返送して下さい。

②確認した結果、請求誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送して下さい。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

事業所番号	5070000001
事業所名	サービス事業所 〇 1
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

確認表記入者の氏名と電話番号を記入して下さい。

「対象帳票」欄＝算定（縦覧区分＊21）
 「縦覧点検出力事由」欄
 過去2ヶ月以内に生活機能向上連携加算 I を算定しています

□□県国民健康保険団体連合会

以下は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」「単独」の場合は、過誤を「する」・「しない」のいずれかに○を付けて平成□年□月□日までにご返送ください。

対応番号	確認対象情報							関連情報					
	対象帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス提供年月	サービス	日数/ 回数	縦覧点検出力事由	サービス提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	日数/ 回数	
1	算定	501001 保険者 〇 1	0000000001 かこ たく	R3.7	21 4001 短期生活機能向上連携加算 I	1	過去2ヶ月以内に生活機能向上連携加算 I を算定しています	R3.8	5070000001 サービス事業所 〇 1	99-9999-9999	21 4001 短期生活機能向上連携加算 I	1	
	上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右に記入してください。							(確認調整結果記入欄) 過誤 請求誤りのため過誤					
	確認の観点	個別機能訓練計画を見直した場合か						(確認調整結果記入欄) 過誤 する ・ しない					

又は

(確認調整結果記入欄) ○月○日 個別機能訓練計画を見直した日 利用者の急性増悪等により個別機能訓練計画を見直しが必要と判断したため	過誤 する ・ しない
--	----------------------

個別機能訓練計画を見直した理由を記入してください。

内容・・利用者の急性増悪等により個別機能訓練計画を見直していないが、短期生活機能向上連携加算を3月間に2回算定している可能性があります

対象サービス

- ・・短期入所生活介護

報酬算定上の制限

- ・・利用者の急性増悪等により当該個別機能訓練計画を見直した場合を除き3月に1回しか算定できません。

原因・・短期生活機能向上連携加算を算定した月から過去2ヶ月以内に当該加算を算定している場合に、請求内容に疑義があるものとして出力されま
す。

(「関連情報」欄には過去の短期生活機能向上連携加算のサービスが表示されます。)

対応・・①短期生活機能向上連携加算を2ヶ月以内に再度算定し直した理由が、利用者の急性増悪等により個別機能訓練計画を見直していることであ
るか確認して下さい。確認した結果、個別機能訓練計画を見直ししている場合は理由を記入し、「過誤しない」に○をつけて返送して下さ
い。

②確認した結果、請求誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送して下さい。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

事業所番号	5070000033
事業所名	支援事業所 01
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

令和 2 年 4 月 縦覧審査分

確認表記入者の氏名と電話番号を記入して下さい。

「対象帳票」欄＝算定（縦覧区分＊25）
 ※令和3年3月サービス分まで
 「縦覧点検出力事由」欄
 サービス提供体制強化加算（I）イまたは入居継続支援加算が算定されていません

□□県国民健康保険団体連合会

以下は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」「単独」の場合は、過誤を「する」・「しない」のいずれかに○を付けて平成□年□月□日までにご返送ください。

対応番号	確認対象情報							関連情報				
	対象帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス提供年月	サービス	日数/ 回数	縦覧点検出力事由	サービス提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	日数/ 回数
1	算定	501001 保険者 01	0000000001 かこ けん	R2.4	33 6135	1	サービス提供体制強化加算（I）イまたは入居継続支援加算が算定されていません					
		上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右に記入してください。 （確認調整結果記入欄） 請求誤りのため過誤						過誤				
	確認の観点	同一事業所内の他被保険者で対象加算が算定済みであるか						<input checked="" type="checkbox"/> する ・ <input type="checkbox"/> しない				

又は

（確認調整結果記入欄） 入居継続支援加算 有り	過誤 <input checked="" type="checkbox"/> する ・ <input type="checkbox"/> しない
----------------------------	---

サービス提供実績の有無を記入して下さい。

内容・・・サービス提供体制強化加算（I）イもしくは入居継続支援加算が算定されていません

対象サービス・・・

サービスコード		サービス略称
33	6135	特定施設特定処遇改善加算 I
36	6135	地域特定施設特定処遇改善加算 I

報酬算定上の制限

・・・サービス提供体制強化加算（I）イもしくは入居継続支援加算を算定済みの場合に算定可能なサービスです。

原因・・・「確認対象情報」のサービス提供年月に対象サービスの請求があり、同一事業所で「確認対象情報」のサービス提供年月にサービス提供体制強化加算（I）イもしくは「確認対象情報」のサービス提供年月を含む過去3ヶ月間に入居継続支援加算を算定されていない場合に、請求内容に疑義があるものとして出力されます。

対応・・・①自分の事業所内の他受給者について、サービス提供体制強化加算（I）イもしくは入居継続支援加算が算定されているか確認し、サービス提供の有無を「有」又は「無」と記入して下さい。
確認した結果、サービス提供が「有」の場合は、「過誤しない」に○をつけて返送して下さい。自分の事業所医療機関の退院にあたって算定している場合か確認して下さい。
②確認した結果、記載誤りや請求内容の誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送して下さい。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

事業所番号	5070000033
事業所名	支援事業所 01
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

令和 2 年 4 月 縦覧審査分

確認表記入者の氏名と電話番号を記入して下さい。

「対象帳票」欄＝算定（縦覧区分 * 25）
 ※令和3年3月サービス分まで
 「縦覧点検出力事由」欄
 サービス提供体制強化加算（Ⅰ）イまたは日常生活継続支援加算（Ⅰ）若しくは（Ⅱ）が算定されていません

以下は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」「単独」の場合は、過誤を「する」・「しない」のいずれかに○を付けて平成□年□月□日までにご返送ください。

対応番号	確認対象情報							関連情報					
	対象帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス提供年月	サービス	日数/ 回数	縦覧点検出力事由	サービス提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	日数/ 回数	
1	算定	501001 保険者 01	0000000001 かこ 知	R2.4	33 6135	1	サービス提供体制強化加算（Ⅰ）イまたは日常生活継続支援加算（Ⅰ）若しくは（Ⅱ）が算定されていません						
	上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右に記入してください。							(確認調整結果記入欄) 過誤 請求誤りのため過誤					
	確認の観点	同一事業所内の他被保険者で対象加算が算定済みであるか						する ・ しない					

又は

(確認調整結果記入欄) 日常生活継続支援加算（Ⅰ） 有り	過誤 する ・ しない
---------------------------------	----------------------

サービス提供実績の有無を記入して下さい。

内容・・サービス提供体制強化加算（Ⅰ）イまたは日常生活継続支援加算（Ⅰ）若しくは（Ⅱ）が算定されていません

対象サービス・・

サービスコード		サービス略称
5 1	6 1 1 1	福祉施設特定処遇改善加算Ⅰ
5 4	6 1 1 1	地福祉施設特定処遇改善加算Ⅰ

報酬算定上の制限

・・サービス提供体制強化加算（Ⅰ）イまたは日常生活継続支援加算（Ⅰ）若しくは（Ⅱ）を算定済みの場合に算定可能なサービスです。

原因・・「確認対象情報」のサービス提供年月に対象サービスの請求があり、同一事業所で「確認対象情報」のサービス提供年月にサービス提供体制強化加算（Ⅰ）イまたは「確認対象情報」のサービス提供年月を含む過去3ヶ月間に日常生活継続支援加算（Ⅰ）若しくは（Ⅱ）を算定されていない場合に、請求内容に疑義があるものとして出力されます。

対応・・①自分の事業所内の他受給者について、サービス提供体制強化加算（Ⅰ）イまたは日常生活継続支援加算（Ⅰ）若しくは（Ⅱ）が算定されているか確認し、サービス提供の有無を「有」又は「無」と記入して下さい。

確認した結果、サービス提供が「有」の場合は、「過誤しない」に○をつけて返送して下さい。自分の事業所医療機関の退院にあたって算定している場合か確認して下さい。

②確認した結果、記載誤りや請求内容の誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送して下さい。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

事業所番号	507000001
事業所名	サービス事業所 01
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

令和 6 年 10 月 縦覧審査分

確認表記入者の氏名と電話番号を記入して下さい。

「対象帳票」欄＝算定（縦覧区分＊28）
 「縦覧点検出力事由」欄
 過去5ヶ月以内に口腔・栄養スクリーニング加算（I）を算定しています

□□県国民健康保険団体連合会

以下は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」「単独」の場合は、過誤を「する」・「しない」のいずれかに○を付けて令和〇年〇月〇日までにご返送ください。

対応番号	確認対象情報							関連情報							
	対象帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス提供年月	サービス		日数/回数	縦覧点検出力事由	サービス提供年月	事業所番号	電話番号	サービス		日数/回数	
1	算定	501001 保険者 01	000000001 かこ 知	R6. 8	11 6192	1	過去5ヶ月以内に口腔・栄養スクリーニング加算（I）を算定しています	R6. 4	*****	*****	15 6202	通所介護口腔栄養スクリーニング加算 I		1	
	上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右に記入してください。							(確認調整結果記入欄) 過誤 請求誤りのため過誤							
	確認の観点	口腔の評価を継続的に実施した場合か						する ・ しない							

又は

(確認調整結果記入欄) 継続的な口腔の評価を行った日 〇月〇日	過誤 する ・ しない
---------------------------------------	----------------------

継続的な口腔の評価を実施した日記入して下さい。

内容・・過去5ヶ月以内に口腔・栄養スクリーニング加算（I）を算定しています

対象サービス・・口腔連携強化加算

報酬算定上の制限・・口腔・栄養スクリーニング加算とは同時算定不可

原因・・「確認対象情報」のサービス提供年月に対象サービスの請求があり、「確認対象情報」のサービス提供年月の過去5ヶ月以内に「口腔・栄養スクリーニング加算I」の請求がある場合に、請求内容に疑義があるものとして出力されます。

（「関連情報」欄には、口腔・栄養スクリーニング加算Iの請求が表示されます。他の事業所の情報はアスタリスク（*）で表示されます。）

対応・・①口腔・栄養スクリーニング加算において口腔の評価を実施し、以降の口腔の評価を口腔連携強化加算で実施する場合には、6月以内でも口腔連携強化加算を算定可能であるため、口腔の評価を継続的に実施した場合か確認して下さい。確認した結果、口腔の評価を継続的に実施している場合は、「確認調整結果記入欄」に、評価を行った日を記入し、「過誤しない」に○をつけて返送して下さい。

②確認した結果、記載誤りや請求内容の誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送して下さい。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

事業所番号	507000001
事業所名	サービス事業所 〇 1
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

令和 6 年 10 月縦覧審査分

確認表記入者の氏名と電話番号を記入して下さい。

「対象帳票」欄＝算定（縦覧区分＊28）
 「縦覧点検出力事由」欄
 歯科医師又は歯科衛生士の居宅療養管理指導を算定しています

以下は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」「単独」の場合は、過誤を「する」・「しない」のいずれかに○を付けて令和〇年〇月〇日までにご返送ください。

□□県国民健康保険団体連合会

対応番号	確認対象情報							関連情報						
	対象帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス提供年月	サービス		日数/回数	縦覧点検出力事由	サービス提供年月	事業所番号	電話番号	サービス		日数/回数
1	算定	501001 保険者 〇 1	0000000001 かこ 知	R6. 8	11 6192	1	歯科医師又は歯科衛生士の居宅療養管理指導を算定しています	R6. 8	*****	*****	31 1241	歯科衛生士等居宅療養 I		1
	上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右に記入してください。 （確認調整結果記入欄） 請求誤りのため過誤							過誤						
	確認の観点	初回の居宅療養管理指導を行った日の属する月に算定している場合か						する ・ しない						

又は

（確認調整結果記入欄） 初回の居宅療養管理指導実施日 〇月〇日	過誤 する ・ しない
---------------------------------------	--------------------------

初回の居宅療養管理指導を実施し記入して下さい。

内容・ ・ 歯科医師又は歯科衛生士の居宅療養管理指導を算定しています

対象サービス・ ・ 口腔連携強化加算

報酬算定上の制限・ ・ 歯科医師又は歯科衛生士が行う居宅療養管理指導費とは同時算定不可

原因・ ・ 「確認対象情報」のサービス提供年月に対象サービスの請求があり、同月に歯科医師又は歯科衛生士が行う居宅療養管理指導費の請求がある場合に、請求内容に疑義があるものとして出力されます。

（「関連情報」欄には、歯科医師又は歯科衛生士が行う居宅療養管理指導費の請求が表示されます。他の事業所の情報はアスタリスク（*）で表示されます。）

対応・ ・ ①初回の居宅療養管理指導を行った日の属する月に算定している場合か確認して下さい。確認した結果、初回の居宅療養管理指導を行った日の属する月であった場合は、「確認調整結果記入欄」に、初回の居宅療養管理指導実施日を記入し、「過誤しない」に○をつけて返送して下さい。

②確認した結果、記載誤りや請求内容の誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送して下さい。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

事業所番号	507000001
事業所名	サービス事業所 01
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

令和 6 年 10 月縦覧審査分

確認表記入者の氏名と電話番号を記入して下さい。

「対象帳票」欄＝算定（縦覧区分 * 61）
 「縦覧点検出力事由」欄
 入院日から過去3ヶ月以内に同じ施設に入所しています／初期入院診療管理の合計が制限回数を超えています

以下は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」「単独」の場合は、過誤を「する」・「しない」のいずれかに○を付けて令和〇年〇月〇日までにご返送ください。

□□県国民健康保険団体連合会

対応番号	確認対象情報							関連情報					
	対象帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス提供年月	サービス	日数/回数	縦覧点検出力事由	サービス提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	日数/回数	
1	算定	501001 保険者 01	0000000001 かこ 夕ゆ	R6. 8	55 @05	1	入院日から過去3ヶ月以内に同じ施設に入所しています	R6. 7	507000001 サービス事業所 01	99-9999-9999	55 介護医療院		
	上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右に記入してください。							(確認調整結果記入欄) 過誤 請求誤りのため過誤					
	確認の観点	認知症高齢者自立度ランクがⅢ、Ⅳ又はMに該当するか						過誤 する ・ しない					

又は

(確認調整結果記入欄) 認知症高齢者自立度 M	過誤 する ・ しない
----------------------------	----------------------

認知症高齢者の日常生活自立度判定基準ランクを記入して下さい。

内容・・入院日から過去3ヶ月以内に同じ施設に入所しています／初期入院診療管理の合計が制限回数を超えています

報酬算定上の制限

- ・・入院時に1回及び入院後6ヶ月以内に診療方針に重要な変更があった場合はさらに1回（入院後6ヶ月以内に最大2回）算定可能なサービスです。ただし、過去3ヶ月以内に同じ施設に入所した実績がある場合は算定できません。（認知症高齢者の日常生活自立度判定基準ランクⅢ、Ⅳ、Mの者は過去1ヶ月以内。）

原因・・過去3ヶ月以内に同じ施設に入所した実績がある場合に、請求内容に疑義があるものとして出力されます。
または、過去6ヶ月以内の初期入院診療管理の算定回数の合計が2回を超えている場合に、請求内容に疑義があるものとして出力されます。

- 対応・・①認知症高齢者の日常生活自立度がⅢ以上か確認して下さい。確認した結果、Ⅲ以上であって、かつ、過去1ヶ月以内に同じ施設に入所した実績がない場合は、「確認調整結果記入欄」に、認知症高齢者の日常生活自立度判定基準ランクを記入して、「過誤しない」に○をつけて返送して下さい。
- ②確認した結果、入退所日等の記載誤りや請求内容の誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送して下さい。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

「対象帳票」欄＝算定（縦覧区分＊62）
 「縦覧点検出力事由」欄
 リハビリ計画加算の合計が制限回数を超えています

事業所番号	5070000001
事業所名	サービス事業所01
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

平成 27 年 10 月縦覧審査分

確認表記入者の氏名と電話番号を
記入して下さい。

以下は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」「単独」の場合は、過誤を「する」・「しない」のいずれかに○を付けて平成□年□月□日までにご返送ください。

□□県国民健康保険団体連合会

対応 番号	確認対象情報							関連情報					
	対象 帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス 提供年月	サービス	日数/ 回数	縦覧点検出力事由	サービス 提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	日数/ 回数	
1	算定	501001 保険者01	0000000001 かこ 太郎	H27.4	23 @20 理学療法リ ハビリ計画 加算	1	リハビリ計画加算の合計が制 限回数を超えています	H27.3	5070000001 サービス事業所01	99-9999-9999	23 @20 理学療法リ ハビリ計画 加算	1	
	上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右 に記入してください。							(確認調整結果記入欄) 過誤 請求誤りのため過誤					
	確認の 観点	再入所、又は、再認定された場合か						<input checked="" type="radio"/> する ・ <input type="radio"/> しない					

又は

(確認調整結果記入欄) 再入所日 ○月○日 加算の算定日 16日	過誤 <input checked="" type="radio"/> する ・ <input type="radio"/> しない
--	---

再入所日と加算の算定日を
記入して下さい。

又は

(確認調整結果記入欄) 再認定日 ○月○日 加算の算定日 16日	過誤 <input checked="" type="radio"/> する ・ <input type="radio"/> しない
--	---

再認定日と加算の算定日を
記入して下さい。

内容・・リハビリ計画加算の合計が制限回数を超えています

報酬算定上の制限

・・病院・施設等を退院・退所した日もしくは認定を受けた日から初めて利用した月に限り1月に1回算定できます。

原因・・リハビリ計画加算の請求が、前月以前にもある場合に、請求内容に疑義があるものとして出力されます。

対応・・①入退所を繰り返している場合、再入所した日から初めて利用した月であるか確認して下さい。確認した結果、再入所した月であることが判明した場合は、「確認調整結果記入欄」に、再入所日とリハビリ計画加算の算定日を記入し、「過誤しない」に○をつけて返送して下さい。
②再認定を受けている場合か確認して下さい。確認した結果、再認定を受けた月であることが判明した場合は、「確認調整結果記入欄」に、再認定日とリハビリ計画加算の算定日を記入し、「過誤しない」に○をつけて返送して下さい。
③確認した結果、入退所日等の記載誤りや請求内容の誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送して下さい。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

事業所番号	507000001
事業所名	サービス事業所 01
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

令和 6 年 10 月縦覧審査分

確認表記入者の氏名と電話番号を記入して下さい。

「対象帳票」欄＝算定（縦覧区分 * 62）
 「縦覧点検出力事由」欄
 入所日から過去3ヶ月以内に同じ施設に入所しています／入所日から過去3ヶ月以内に介護医療院に入所しています

□□県国民健康保険団体連合会

以下は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」「単独」の場合は、過誤を「する」・「しない」のいずれかに○を付けて令和〇年〇月〇日までにご返送ください。

対応番号	確認対象情報							関連情報					
	対象帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス提供年月	サービス	日数/回数	縦覧点検出力事由	サービス提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	日数/回数	
1	算定	501001 保険者 01	0000000001 カゴ 夕ゆ	R6. 8	55 @52 短期集中リハビリ加算	1	入所日から過去3ヶ月以内に介護医療院に入所しています	R6. 7	507000001 サービス事業所 01	99-9999-9999	55	介護医療院	
	上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右に記入してください。							(確認調整結果記入欄) 過誤 請求誤りのため過誤 する ・ しない					
	確認の観点	再入所しているか、又は、利用者の自己都合（体調悪化）等やむを得ず算定要件が満たせなくなった場合か						(確認調整結果記入欄) 又は 国保病院入院 入院期間 ○月○日～○月○日 再入所日 ○月○日 する ・ しない					

施設／医療機関名、入院期間、再入所日を記入して下さい。

内容・・・入所日から過去3ヶ月以内に同じ施設に入所しています／入所日から過去3ヶ月以内に介護医療院に入所しています

対象サービス・・・

区分	識別番号	特定診療費略称	サービス利用条件
特定診療費(※)	52	短期集中リハビリ加算	入院(所)日から3ヶ月以内(過去3月の入院(所)なし)
特別診療費	52	短期集中リハビリ加算	入院(所)日から3ヶ月以内(過去3月の入院(所)なし)

※特定診療費は令和6年3月サービスまで

報酬算定上の制限

- ・・・過去3ヶ月間に同じ施設に入所した実績がある場合は算定できません。また、介護医療院の場合は、過去3ヶ月間に介護医療院(別事業所を含む)に入所した実績がある場合は算定できません。

原因・・・過去3ヶ月以内に同じ施設に入所した実績がある場合(介護医療院の場合は過去3ヶ月間に介護医療院(別事業所を含む)に入所した実績がある場合)に、請求内容に疑義があるものとして出力されます。

(「関連情報」欄には介護保険施設または介護医療院の入所実績が表示されます。)

対応・・・①別の施設・医療機関に入所(院)した後、同じ施設に再入所した場合か確認して下さい。確認した結果、再入所であることが判明した場合は、「確認調整結果記入欄」に、施設名／医療機関名、入院期間を記入し、「過誤しない」に○をつけて返送して下さい。

②確認した結果、記載誤りや請求誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送して下さい。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

事業所番号	507000001
事業所名	サービス事業所 〇 1
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

令和 6 年 10 月 縦覧審査分

確認表記入者の氏名と電話番号を記入して下さい。

「対象帳票」欄＝算定（縦覧区分 * 62）
 「縦覧点検出力事由」欄
 過去3ヶ月以内に認知症短期集中リハ加算を算定しています

以下は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」「単独」の場合は、過誤を「する」・「しない」のいずれかに○を付けて令和〇年〇月〇日までにご返送ください。

□□県国民健康保険団体連合会

対応番号	確認対象情報							関連情報					
	対象帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス提供年月	サービス	日数/回数	縦覧点検出力事由	サービス提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	日数/回数	
1	算定	501001 保険者 〇 1	0000000001 かこ 知	R6. 8	55 @55 認知症短期集中リハビリ加算	1	過去3ヶ月以内に認知症短期集中リハ加算を算定しています	R6. 7	***** *****	***** *****	55 @55 認知症短期集中リハビリ加算		
	上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右に記入してください。							(確認調整結果記入欄) 過誤 請求誤りのため過誤					
	確認の観点	利用者の自己都合（体調悪化）等やむを得ず算定要件が満たせなくなった場合か						する ・ しない					

又は

(確認調整結果記入欄)	過誤
〇月〇日～〇月〇日 脳血管疾患のため入院 認知症リハが必要と医師が判断したため	する ・ しない

加算を算定している理由を記入して下さい。

内容・・過去3ヶ月以内に認知症短期集中リハ加算を算定しています

対象サービス・・

区分	識別番号	特定診療費略称	サービス利用条件
特定診療費(※)	55	認知症短期集中リハビリ加算	入院(所)日から3月以内(過去3月の算定なし)
特別診療費	55	認知症短期集中リハビリ加算	入院(所)日から3月以内(過去3月の算定なし)

※特定診療費は令和6年3月サービスまで

報酬算定上の制限

- ・・利用者が過去3ヶ月以内に認知症短期集中リハ加算を算定している場合は、算定できない加算です。

ただし、以下のような場合には、算定が認められます。

平成21年4月改定関係Q & A (Vol. 2) (問42) 認知症短期集中リハビリテーション実施中又は終了後3ヶ月に満たない期間に、脳血管疾患等の認知機能に直接影響を与える疾患を来し、その急性期の治療のために入院となった場合の退院後の取扱い如何。 (答) 認知症短期集中リハビリテーション実施中又は終了後3ヶ月に満たない期間に、脳血管疾患等の認知機能低下を来す中枢神経疾患を発症、その急性期に治療のために入院し、治療終了後も入院の原因となった疾患の発症前と比し認知機能が悪化しており、認知症短期集中リハビリテーションの必要性が認められる場合に限り、入院前に利用していたサービス、事業所に関わらず、介護老人保健施設、介護療養型医療施設においては入所(院)した日から起算して新たに3月、通所リハビリテーションにおいては利用開始日から起算して3月以内限り算定できる。
--

原因・・過去3ヶ月間(4月サービスの場合、1・2・3月)に認知症短期集中リハ加算を請求している場合に、請求内容に疑義があるものとして出力されます。

(「関連情報」欄には過去3ヶ月間の同一のサービスが表示されます。他の事業所の情報はアスタリスク(*)で表示されます。)

対応・・①過去3ヶ月間に同一の加算の請求があるが、加算を算定している理由を確認して下さい。確認した結果、正当な理由であることが判明した場合は、「確認調整結果記入欄」に、理由を記入し、「過誤しない」に○をつけて返送して下さい。

②確認した結果、記載誤りや請求誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送して下さい。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

「対象帳票」欄＝重複（縦覧区分＊01）
 「縦覧点検出力事由」欄
 複数サービスの合計日数が受給可能日数を超えている、又は同時算定不可なサービスが存在します

事業所番号	5070000001
事業所名	サービス事業所01
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

平成27年10月縦覧審査分

確認表記入者の氏名と電話番号を記入して下さい。

以下は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」「単独」の場合は、過誤を「する」・「しない」のいずれかに○を付けて平成□年□月□日までにご返送ください。

□□県国民健康保険団体連合会

対応番号	確認対象情報							関連情報				
	対象帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス提供年月	サービス	日数/回数	縦覧点検出力事由	サービス提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	日数/回数
1	重複	501001	0000000001	H27.4	14 訪問リハビリ	8	複数サービスの合計日数が受給可能日数を超えている、又は同時算定不可なサービスが存在します	H27.4	*****	*****	52	25
	(確認調整結果記入欄) 上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右に記入してください。 請求誤りのため過誤							過誤 する ・ しない				
	確認の観点	いずれの請求が誤りか										

又は

居宅介護支援
介護予防支援以外の
サービスの場合

(確認調整結果記入欄) <u>この欄への記入は不要です</u>	過誤 する ・ しない
------------------------------------	----------------------

「サービス提供日／入所日確認表」を添付して国保連へ返送して下さい。

又は

居宅介護支援
介護予防支援の
サービスの場合

(確認調整結果記入欄) サービス提供を行った事業所 5070000002 事業所02 10日 5070000003 事業所03 30日	過誤 する ・ しない
--	----------------------

サービス提供を行った事業所の事業所番号・事業所名・サービス提供日数を記入して下さい。

内容・・複数サービスの合計日数が受給可能日数を超過している、又は同時算定不可なサービスが存在します

原因・・請求された日数の合計が、利用者の当該月でのサービスを受けられる日数（＝受給可能日数）より大きい場合に、請求内容に疑義があるものとして出力されます。他のサービス、他の事業所の分の請求の日数も合算されます。（「関連情報」欄には合算されている請求が表示されます。他の事業所の情報はアスタリスク（*）で表示されます。）

対応・・①「確認対象情報」の「サービス」が居宅介護支援、介護予防支援以外のサービスの場合

自分の事業所のサービス提供状況や入所状況を確認し、「サービス提供日／入所日確認表」に記入して下さい。（記入例は次ページを参照）
確認した結果、自分の事業所の請求誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送して下さい。

確認した結果、自分の事業所の請求誤りでない場合は、他の事業所の請求との確認が必要になりますので、「サービス提供日／入所日確認表」を添付して、「過誤しない」に○をつけて国保連へ返送して下さい。（国保連にて他の事業所の請求内容を確認した結果、過誤になる場合があります。）

②「確認対象情報」の「サービス」欄が居宅介護支援、介護予防支援の場合

該当の利用者のサービス事業所のサービス提供状況、施設入所状況を確認して下さい。

確認した結果、自分の事業所の請求誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送して下さい。

確認した結果、自分の事業所の請求誤りでない場合は、他の事業所の請求との確認が必要になりますので、「確認調整結果記入欄」に

「サービス提供を行ったサービス事業所の事業所番号、事業所名、サービス提供日数を記入し、「過誤しない」に○をつけて国保連へ返送して下さい。（国保連にて他の事業所の請求内容を確認した結果、過誤になる場合があります。）

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">■ 「サービス提供日／入所日確認表」は165ページをコピーしてご利用下さい。■ 「サービス提供日／入所日確認表」の記入例は次ページ以降を参照して下さい。 |
|---|

■ 「サービス提供日／入所日確認表」の記入例

サービス		記入例
11	訪問介護	居宅
12	訪問入浴介護	居宅
13	訪問看護	居宅
14	訪問リハビリ	居宅
15	通所介護	居宅
16	通所リハビリ	居宅
17	福祉用具貸与	福祉用具
21	短期入所生活介護	短期入所
22	短期入所老健施設	短期入所
23	短期入所医療施設	短期入所
24	予防短期生活介護	短期入所
25	予防短期老健施設	短期入所
26	予防短期医療施設	短期入所
27	特定施設生活短期	短期入所
28	地域特定施設短期	短期入所
2A	短期入所医療院	短期入所
2B	予防短期医療院	短期入所
31	居宅療養管理指導	居宅
32	認知症型共同生活	施設
33	特定施設生活介護	施設
34	予防療養管理指導	居宅
35	予防特定施設介護	施設
36	地域特定施設介護	施設
37	予防認知症型	施設
38	認知症型短期	短期入所
39	予防認知症型短期	短期入所

サービス		記入例
43	居宅介護支援	提出不要
46	介護予防支援	提出不要
51	介護福祉施設	施設
52	介護保健施設	施設
53	介護医療施設	施設
54	地域老人福祉施設	施設
55	介護医療院	施設
61	予防訪問介護	居宅
62	予防訪問入浴介護	居宅
63	予防訪問看護	居宅
64	予防訪問リハビリ	居宅
65	予防通所介護	居宅
66	予防通所リハビリ	居宅
67	予防福祉用具貸与	福祉用具
68	小規模多機能短期	居宅
69	予防小規模短期	居宅
71	夜間対応訪問介護	居宅
72	認知症型通所介護	居宅
73	小規模多機能型	居宅
74	予防認知症型通所	居宅
75	予防小規模多機能	居宅
76	定期巡回随時対応	居宅
77	複合型看護小規模	居宅
78	地域通所介護	居宅
79	複合型看小短期	居宅

「介護給付費縦覧審査確認表」の「確認対象情報」欄の内容を記入して下さい

＜サービス提供日／入所日確認表＞

「サービス提供日／入所日確認表」
(居宅サービスの記入例)

対応番号	対象 帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス 提供年月	サービス
1	算定・ 重複 ・単独	501001	0000000001	H27年4月	14
		保険者01	カイゴタロウ		訪問リハビリ

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
午前					○						
午後								○			
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
午前		○							○		
午後					○						
	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
午前						○					
午後		○							○		

サービス実日数	8 日	外泊日数	日
入所実日数			

サービスを提供した時間帯に○をつけて下さい

「介護給付費縦覧審査確認表」の「確認対象情報」欄の内容を記入して下さい

<サービス提供日／入所日確認表>

「サービス提供日／入所日確認表」
(福祉用具貸与サービスの記入例)

対応番号	対象 帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス 提供年月	サービス
1	算定・ 重複 ・単独	501001 保険者01	0000000001 カイゴタロウ	H27年4月	17 福祉用具貸与

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
午前											
午後										○	
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
午前	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
午後	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
午前	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
午後	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

サービス実日数	22 日
入所実日数	

外泊

サービス実日数 (=実際に福祉用具を貸与した日数) を記入して下さい

福祉用具を貸与した時間帯に○をつけて下さい

<サービス提供日／入所日確認表>

「サービス提供日／入所日確認表」
(短期入所サービスの記入例)

対応番号	対象帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス提供年月	サービス
1	算定・ 重複 ・単独	501001 保険者01	0000000001 カイゴタロウ	H27年4月	21 短期入所生活介護

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
午前											
午後											
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
午前			○	○	○	○	○	○	○	○	
午後		入	○	○	○	○	○	○	○	○	
	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
午前	○	○	○	○	○	○	○	○	退		
午後	○	○	○	○	○	○	○	○			

サービス実日数	18 日	外泊日数	日
入所実日数			

入所している時間帯に○をつけて下さい。
入所日には「入」、退所日には「退」と記入して下さい

「介護給付費縦覧審査確認表」の「確認対象情報」欄の内容を記入して下さい

<サービス提供日／入所日確認表>

「サービス提供日／入所日確認表」
(施設サービスの記入例)

対応番号	対象帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス提供年月	サービス
1	算定・ 重複 ・単独	501001 保険者01	0000000001 カイゴタロウ	H27年4月	51 介護福祉施設

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
午前											
午後											
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
午前			○	○	○	外	外	外	○	○	
午後		入	○	○	○	外	外	外	○	○	
	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
午前	○	○	○	○	○	○	○	○	退		
午後	○	○	○	○	○	○	○	○			

サービス実日数	15 日	外泊日数	3 日
入所実日数			

入所している時間帯に○をつけて下さい。
入所日には「入」、退所日には「退」、外泊日には「外」と記入して下さい

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

「対象帳票」欄＝重複（縦覧区分＊02）
 「縦覧点検出力事由」欄
 居宅療養管理指導の合計回数が制限回数を超えています（複数事業所での日数超過）

事業所番号	5010000001
事業所名	医療機関〇1
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

確認表記入者の氏名と電話番号を記入して下さい。

以下は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。
 内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」「単独」の場合は、過誤を「する」・「しない」のいずれかに○を付けて平成〇年〇月〇日までにご返送ください。

□□県国民健康保険団体連合会

対応番号	確認対象情報							関連情報						
	対象帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス提供年月	サービス		日数/回数	縦覧点検出力事由	サービス提供年月	事業所番号	電話番号	サービス		日数/回数
1	重複	501001 保険者〇1	0000000001 かこ 太郎	R3.4	31 1221 薬剤師居宅療養 I 1	2	居宅療養管理指導の合計回数が制限回数を超えています（複数事業所での日数超過）	R3.4	***** *****	***** *****	31 1221 薬剤師居宅療養 I 1	2		
	上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右に記入してください。							(確認調整結果記入欄) 過誤 請求誤りのため過誤 する ・ しない						
	確認の観点	いずれの請求が誤りか												

又は

(確認調整結果記入欄)		過誤
算定日 4月1日、10日		する ・ しない

居宅療養管理指導の算定日を記入して下さい。

内容・・居宅療養管理指導の合計回数が制限回数を超えています（複数事業所での日数超過）

報酬算定上の制限

- ・・居宅療養管理指導の制限回数は以下のとおりです。

行う者	制限回数
医師	月 2 回
歯科医師	月 2 回
医療機関の薬剤師	月 2 回
薬局の薬剤師	月 4 回 (がん末期患者及び中心静脈栄養を受けている者のみ月 8 回)
管理栄養士	月 2 回 (計画的医学管理を行っている医師の特別の指示があった場合は、その指示の日から 30 日間に限って、月 4 回 (令和 6 年 6 月以降))
歯科衛生士	月 4 回 (がん末期の利用者は月 6 回 (令和 6 年 6 月以降))
看護職員	6 月内に 2 回 (平成 30 年 9 月で廃止)

原因・・ 1 人の利用者の居宅療養管理指導の請求が制限回数を超える場合に、請求内容に疑義があるものとして出力されます。他の事業所の請求の回数も合算されます。

(「関連情報」欄には合算されている請求が表示されます。他の事業所の情報はアスタリスク (*) で表示されます。)

対応・・ 自分の事業所のサービス提供実績を確認し、請求内容の誤りがないか確認して下さい。

確認した結果、自分の事業所の請求誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送して下さい。

確認した結果、自分の事業所の請求誤りでない場合は、他の事業所の請求との確認が必要になりますので、「確認調整結果記入欄」に居宅療養管理指導の算定日を記入し、「過誤しない」に○をつけて返送して下さい。(国保連にて他の事業所の請求内容を確認した結果、過誤になる場合があります。)

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

令和6年10月縦覧審査分

事業所番号	5060000001
事業所名	訪問看護ステーション〇1
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

確認表記入者の氏名と電話番号を記入して下さい。

「対象帳票」欄＝重複（縦覧区分*03）
 「縦覧点検出力事由」欄
 1事業所のみ算定可能な緊急時訪問看護加算（特別管理加算／ターミナルケア加算）が複数事業所から請求されています

□□県国民健康保険団体連合会

以下は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義がある内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」「単独」の場合は、過誤を「する」「しない」のいずれかに○を付けて令和〇年〇月〇日までにご返送ください。

対応番号	確認対象情報							関連情報					
	対象帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス提供年月	サービス	日数/回数	縦覧点検出力事由	サービス提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	日数/回数	
1	重複	501001 保険者〇1	0000000001 カゴ'クウ	R6.8	13 3100 緊急時訪問看護加算Ⅱ 1	1	1事業所のみ算定可能な緊急時訪問看護加算が複数事業所から請求されています	R6.8	***** *****	*****	13 3200 緊急時訪問看護加算Ⅱ 2	1	
	上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右に記入してください。							(確認調整結果記入欄) 過誤 請求誤りのため過誤					
	確認の観点	いずれの請求が誤りか						(確認調整結果記入欄) 過誤 する ・ しない					

又は

(確認調整結果記入欄) 算定日 4月10日	過誤 する ・ しない
--------------------------	----------------------

加算の算定日を記入して下さい。

内容・・1事業所のみ算定可能な緊急時訪問看護加算（特別管理加算／ターミナルケア加算）が複数事業所から請求されています

報酬算定上の制限

- ・・以下のサービスは、1人の利用者に対して1つの事業所のみ算定できるサービスです。

サービス種類	加算名
訪問看護	緊急時訪問看護加算
予防訪問看護	特別管理加算
定期巡回	ターミナルケア加算
看護小規模	緊急時対応加算（※）

※緊急時対応加算については、看護小規模の緊急時訪問看護加算が令和6年6月から名称変更したものの

原因・・1人の利用者に対して2つ以上の事業所が請求している場合に、請求内容に疑義があるものとして出力されます。
（「関連情報」欄には他の事業所の情報がアスタリスク（*）で表示されます。）

対応・・自分の事業所のサービス提供実績を確認し、請求内容の誤りがないか確認して下さい。

確認した結果、自分の事業所の請求誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送して下さい。

確認した結果、自分の事業所の請求誤りでない場合は、他の事業所の請求との確認が必要になりますので、「確認調整結果記入欄」に加算の算定日を記入し、「過誤しない」に○をつけて返送して下さい。（国保連にて他の事業所の請求内容を確認した結果、過誤になる場合があります。）

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

「対象帳票」欄＝重複（縦覧区分＊04）
 「縦覧点検出力事由」欄
 外部利用型サービスの合計が外部サービス利用
 型上限単位数を超えています（複数事業所）

事業所番号	5070000001
事業所名	特定施設〇1
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

平成 27 年 10 月縦覧審査分

確認表記入者の氏名と電話番号を
記入して下さい。

以下は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。
 内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」「単独」の場合は、過誤を「する」・「しない」のいずれかに○を付けて平成〇年〇月〇日までにご返送ください。

□□県国民健康保険団体連合会

対応 番号	確認対象情報							関連情報						
	対象 帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス 提供年月	サービス		日数/ 回数	縦覧点検出力事由	サービス 提供年月	事業所番号	電話番号	サービス		日数/ 回数
1	重複	501001 保険者〇1	0000000001 カゴ 夕唯	H27.8	33	1612	31	外部利用型サービスの合計が 外部サービス利用型上限単 位数を超えています（複数事業 所）	H27.8	*****	*****	33	1612	31
		（確認調整結果記入欄） 上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右 に記入してください。 請求誤りのため過誤							過誤					
	確認の 観点	いずれの請求が誤りか							する ・ しない					

又は

（確認調整結果記入欄） 請求誤りなし	過誤
	する ・ しない

自分の事業所の請求誤りの有無を
記入して下さい。

内容・・外部利用型サービスの合計が外部サービス利用型上限単位数を超えています（複数事業所）

報酬算定上の制限

- ・・特定施設入居者生活介護の外部サービス利用型の1人あたりの1ヶ月の上限単位数（令和3年4月サービス以降）は以下のとおりです。

要介護状態区分	外部サービス利用型上限単位数
要支援1	5,032単位
要支援2	10,531単位
要介護1	16,355単位
要介護2	18,362単位
要介護3	20,490単位
要介護4	22,435単位
要介護5	24,533単位

原因・・1人の利用者の外部利用型サービスの合計が上限単位数を超える場合に、請求内容に疑義があるものとして出力されます。
他の事業所が請求した単位数も合算されます。

（「関連情報」欄には合算されている請求が表示されます。他の事業所の情報はアスタリスク（*）で表示されます。
請求明細書に記入されている単位数は「重複請求縦覧チェック一覧表」に表示されます。）

対応・・自分の事業所のサービス提供実績を確認し、請求内容の誤りがないか確認して下さい。

確認した結果、自分の事業所の請求誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送して下さい。

確認した結果、自分の事業所の請求誤りでない場合は、他の事業所の請求との確認が必要になりますので、「過誤しない」に○をつけて返送して下さい。（国保連にて他の事業所の請求内容を確認した結果、過誤になる場合があります。）

介護給付費縦覧審査確認表（支援事業所）

事業所番号	507000001
事業所名	支援事業所 〇 1
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

令和 6 年 10 月 縦覧審査分

確認表記入者の氏名と電話番号を
記入して下さい。

「対象帳票」欄＝居宅支援（縦覧区分 * 01）
 「縦覧点検出力事由」欄
 サービス計画費の請求はあるが、介護サービスの
 給付実績がありません（支援事業所向け）

以下は真事業所が計画した給付管理票に紐付く介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。
 内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、過誤を「する」・「しない」のいずれかに○を付けて令和〇年〇月〇日までにご返送ください。

□□県国民健康保険団体連合会

対応 番号	確認対象情報									関連情報						
	対象 帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス 提供年月	事業所番号	電話番号	サービス		日数 回数	縦覧点検出力事由	サービス 提供年月	事業所番号	電話番号	サービス		日数 回数
1	居宅 支援	501001	000000001	R6. 8	507000001	99-9999-9999	46	2111		サービス計画費の請 求はあるが、介護サ ービスの給付実績が ありません	R6. 8	507000002	22-2222-2222	66		無
		保険者 〇 1	かこ 知		支援事業所 〇 1	介護予防支 援					サービス事業所 〇 2		予防通所 リハビリ			
	確認の 観点	上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を 右に記入してください。									過誤	R6. 8	507000003	33-3333-3333	A2	
	利用実績があるか、月遅れ請求ではないか 総合 事業サービスの実績がある場合、介護予防ケアマ ネジメント費ではないか									する ・ しない						

又は

事業所番号	電話番号	サービス		日数 回数	縦覧点検出力事由	サービス 提供年月	事業所番号	電話番号	サービス		日数 回数
507000001	99-9999-9999	46	2111		サービス計画費の請 求はあるが、介護サ ービスの給付実績が ありません	R6. 8	507000002	22-2222-2222	66		有
支援事業所 〇 1		介護予防支 援						サービス事業所 〇 2		予防通所 リハビリ	
(確認調整結果記入欄)					過誤	R6. 8	507000003	33-3333-3333	A2		有
介護サービス提供実績 有り 介護サービス事業所に請求依頼済					する ・ しない						

サービス提供実績の有無を
記入して下さい。

内容・・・サービス計画費の請求はあるが、介護サービスの給付実績がありません

報酬算定上の制限

- ・・・サービス利用票の作成が行われなかった月及びサービス利用票を作成した月においても利用実績のない月については、給付管理票を作成できないため、サービス計画費は請求できません。

原因・・・サービス計画費の請求はあるが、給付管理票に記載された介護サービスの給付実績が1件もない場合に、請求内容に疑義があるものとして出力されます。「関連情報」欄には給付管理票に記載されている介護サービス、および、給付実績のある総合事業サービスが表示されます。

対応・・・「関連情報」欄に表示されているサービスの提供状況について確認し、「関連情報」の「日数／回数」欄に、それぞれのサービス提供の有無を「有」又は「無」と記入して下さい。

確認した結果、関連情報欄の全ての介護サービスが「無」の場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送して下さい。

確認した結果、「有」の介護サービスがある場合は、「過誤しない」に○をつけて返送して下さい。(国保連にてサービス事業所からの回答内容を確認した結果、過誤になる場合があります。)

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

「対象帳票」欄＝居宅支援（縦覧区分*01）
 「縦覧点検出力事由」欄
 サービス計画費の請求はあるが、介護サービスの給付実績がありません（サービス事業所向け）

事業所番号	5070000001
事業所名	サービス事業所01
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

平成 27 年 10 月縦覧審査分

確認表記入者の氏名と電話番号を記入して下さい。

以下は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」「単独」の場合は、過誤を「する」・「しない」のいずれかに○を付けて平成□年□月□日までにご返送ください。

□□県国民健康保険団体連合会

対応番号	確認対象情報							関連情報				
	対象帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス提供年月	サービス	日数/回数	縦覧点検出力事由	サービス提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	日数/回数
1	居宅支援	501001 保険者01	0000000001 カゴ 知	H27.8	11 訪問介護	無	サービス計画費の請求はあるが、介護サービスの給付実績がありません	H27.8	5070100001 支援事業所01	99-9999-9999	43 居宅支援I1	2111
	(確認調整結果記入欄) 上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右に記入してください。 該当利用者無し							過誤				
	確認の観点	利用実績があるか、月遅れ請求ではないか 総合事業サービスの実績がある場合、介護予防ケアマネジメント費ではないか						する・しない				

又は

サービス	日数/回数	縦覧点検出力事由
11 訪問介護	有	サービス計画費の請求はあるが、介護サービスの給付実績がありません
(確認調整結果記入欄) 請求もれ		過誤
		する・しない

サービス提供実績の有無を記入して下さい。

確認した状況を記入して下さい。

※過誤「する・しない」に○をつける必要はありません

内容・・サービス計画費の請求はあるが、介護サービスの給付実績がありません

報酬算定上の制限

- ・・サービス利用票の作成が行われなかった月及びサービス利用票を作成した月においても利用実績のない月については、居宅支援事業所は給付管理票を作成できないため、サービス計画費は請求できません。

原因・・サービス計画費の請求はあるが、給付管理票に記載された介護サービスの給付実績が1件もない場合に、請求内容に疑義があるものとして出力されます。「関連情報」欄には居宅支援事業所のサービス計画費の請求が表示されます。

対応・・「確認対象情報」欄に表示されているサービスの提供状況について確認し、「日数／回数」欄にサービス提供の有無を記入して下さい。
確認した結果、サービスの請求もれの場合は、国保連へ該当のサービスを請求して下さい。
※過誤「する・しない」に○をつける必要はありません。

■総合事業サービスについては出力されません。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

平成 27 年 10 月縦覧審査分

事業所番号	5070000001
事業所名	小規模多機能型居宅介護事業所 0 1
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

確認表記入者の氏名と電話番号を記入して下さい。

「対象帳票」欄＝単独（縦覧区分＊02）
 「縦覧点検出力事由」欄
 開始年月日から30日超で請求している可能性があります
 （開始年月日が未設定の場合）

以下は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」「単独」の場合は、過誤を「する」・「しない」のいずれかに○を付けて平成□年□月□日までにご返送ください。

□□県国民健康保険団体連合会

対応番号	確認対象情報							関連情報					
	対象帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス提供年月	サービス		日数/ 回数	縦覧点検出力事由	サービス提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	日数/ 回数
1	単独	501001 保険者 0 1	0000000001 カゴ 知	H27. 4	73 小規模多機能型居宅介護初期加算	6300	20	開始年月日から30日超で請求している可能性があります (開始年月日が未設定の場合)					
	上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右に記入してください。							(確認調整結果記入欄)	過誤				
	確認の観点	開始年月日を確認							請求誤りのため過誤	する ・ しない			

又は

(確認調整結果記入欄)	過誤
開始年月日 ○月○日 加算の算定日 ○月○日	する ・ しない

開始年月日、加算の算定日を記入して下さい。

内容・・開始年月日から30日超で請求している可能性があります（開始年月日が未設定の場合）

対象サービス・・

サービスコード		サービス略称
73	6300	小規模多機能型居宅介護初期加算
75	6300	予防小規模多機能型居宅介護初期加算
76	4002	定期巡回初期加算
77	6300	看護小規模初期加算

報酬算定上の制限

・・登録した日（定期巡回初期加算の場合は、利用を開始した日）から起算して30日以内に算定できます。

原因・・開始年月日が未設定であり、開始年月日より30日超で請求されている可能性があるため出力されます。

対応・・①確認した結果、登録した日（定期巡回初期加算の場合は、利用を開始した日）から30日以内に請求している場合は、「確認調整結果記入欄」に、開始年月日と加算の算定日を記入し、「過誤しない」に○をつけて返送して下さい。

②確認した結果、記載誤りや請求誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送して下さい。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

平成 27 年 10 月縦覧審査分

事業所番号	5070000001
事業所名	小規模多機能型居宅介護事業所 0 1
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

確認表記入者の氏名と電話番号を記入して下さい。

「対象帳票」欄＝単独（縦覧区分 * 02）
 「縦覧点検出力事由」欄
 開始年月日から30日超で請求している可能性があります
 （開始年月日が未設定以外の場合）

以下は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。
 内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」「単独」の場合は、過誤を「する」・「しない」のいずれかに○を付けて平成□年□月□日までにご返送ください。

□□県国民健康保険団体連合会

対応番号	確認対象情報							関連情報						
	対象帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス提供年月	サービス		日数/回数	縦覧点検出力事由	サービス提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	日数/回数	
1	単独	501001 保険者 0 1	0000000001 カゴ 知	H27. 4	73 小規模多機能型居宅介護初期加算	6300	20	開始年月日から30日超で請求している可能性があります （開始年月日が未設定以外の場合）						
	上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右に記入してください。							（確認調整結果記入欄） 過誤 請求誤りのため過誤						
	確認の観点	開始年月日を確認							する ・ しない					

又は

（確認調整結果記入欄） 開始年月日 ○月○日 加算の算定日 ○月○日	過誤 する ・ しない
--	----------------------

開始年月日、加算の算定日を記入して下さい。

内容・・開始年月日から30日超で請求している可能性があります（開始年月日が未設定以外の場合）

対象サービス・・

サービスコード		サービス略称
73	6300	小規模多機能型居宅介護初期加算
75	6300	予防小規模多機能型居宅介護初期加算
76	4002	定期巡回初期加算
77	6300	看護小規模初期加算
32	1550	認知症対応型初期加算
33	6330	特定施設退院退所時連携加算
36	6330	地域特定施設退院退所時連携加算
37	1550	予認知症対応型初期加算
51	6400	福祉施設初期加算
54	6400	地福祉施設初期加算

報酬算定上の制限

・・登録した日（定期巡回初期加算の場合は、利用を開始した日）から起算して30日以内に算定できます。

原因・・開始年月日より30日超で請求されている可能性があるため出力されます。

対応・・①確認した結果、登録した日（定期巡回初期加算の場合は、利用を開始した日）から30日以内に請求している場合は、「確認調整結果記入欄」に、開始年月日と加算の算定日を記入し、「過誤しない」に○をつけて返送して下さい。
②確認した結果、記載誤りや請求誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送して下さい。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

事業所番号	507000001
事業所名	サービス事業所01
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

平成 27 年 10 月縦覧審査分

確認表記入者の氏名と電話番号を
記入して下さい。

「対象帳票」欄＝単独（縦覧区分＊02）
「縦覧点検出力事由」欄
認知症緊急対応加算と緊急短期入所受入加算が
同時に算定されています

以下は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。
内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」「単独」の場合は、過誤を「する」・「しない」のいずれかに○を付けて平成□年□月□日までにご返送ください。

対応 番号	確認対象情報							関連情報					
	対象 帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス 提供年月	サービス	日数/ 回数	縦覧点検出力事由	サービス 提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	日数/ 回数	
1	単独	501001 保険者01	000000001 かこ たく	H27.4	21 6121 短期生活認 知症緊急対 応加算	1	認知症緊急対応加算と緊急短 期入所受入加算が同時に算定 されています	H27.4	507000001 サービス事業所01	99-9999-9999	21 6282 短生緊急短 期入所受入 加算	1	
	上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右 に記入してください。							(確認調整結果記入欄) 過誤 請求誤りのため過誤					
	確認の 観点	再入所した場合か						する ・ しない					

又は

(確認調整結果記入欄) 再入所日 ○月○日	過誤 する ・ しない
--------------------------	----------------------

再入所日を記入して下さい。

内容・・・認知症緊急対応加算と緊急短期入所受入加算が同時に算定されています

対象サービス・・・

組み合わせ	サービスコード	サービス略称	
A	2 1	6 1 2 1	短期生活認知症緊急対応加算
	2 1	6 2 8 2	短生緊急短期入所受入加算
B	2 2	6 1 2 1	老短認知症緊急対応加算
	2 2	6 2 7 7	老短緊急短期入所受入加算
C	2 3	2 7 0 6	病院療短認知症緊急対応加算
	2 3	2 7 7 7	病院療短緊急短期入所受入加算
D	2 3	3 7 0 6	診療所短期認知症緊急対応加算
	2 3	3 7 5 1	診療所短期緊急短期入所受入加算
E	2 A	6 1 2 1	医療院短期認知症緊急対応加算
	2 A	6 2 7 7	医療院短期緊急短期入所受入加算

報酬算定上の制限

・・・入所年月日から30日以内で最大7回（短期入所生活介護緊急短期入所受入加算は14回）算定できます。

原因・・・上記対象サービスの組合せのとおり、認知症緊急対応加算と緊急短期入所受入加算が同時に算定されているため出力されます。

例) 組み合わせAの場合、「21-6121」短期生活認知症緊急対応加算と「21-6282」短生緊急短期入所受入加算が同時算定されているため出力されます。

対応・・・①認知症緊急対応加算と緊急短期入所受入加算を算定しているが、確認した結果、再入所している場合は、「確認調整結果記入欄」に、再入所日を記入し、「過誤しない」に○をつけて返送して下さい。

②確認した結果、記載誤りや請求誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送して下さい。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

「対象帳票」欄＝単独（縦覧区分＊04）
 「縦覧点検出力事由」欄
 初回加算を同時に算定しています

事業所番号	5060000001
事業所名	訪問看護ステーション01
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

平成 27 年 10 月縦覧審査分

確認表記入者の氏名と電話番号を
記入して下さい。

以下は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」「単独」の場合は、過誤を「する」・「しない」のいずれかに○を付けて平成□年□月□日までにご返送ください。

□□県国民健康保険団体連合会

対応番号	確認対象情報							関連情報							
	対象帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス提供年月	サービス		日数/回数	縦覧点検出力事由	サービス提供年月	事業所番号	電話番号	サービス		日数/回数	
1	単独	501001 保険者01	0000000001 カゴ 知	H27.4	13 訪問看護退 院時共同指 導加算	4003	1	初回加算を同時に算定しています	H27.4	5060000001	99-9999-9999	13 訪問看護初 回加算	4002	1	
	上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右に記入してください。							(確認調整結果記入欄) 請求誤りのため過誤							
	確認の観点	いずれの請求が誤りか						(確認調整結果記入欄) 同時算定可能理由							
								過誤 する ・ しない							
								(確認調整結果記入欄) 同時算定可能理由							
								過誤 する ・ しない							

又は

(確認調整結果記入欄) 同時算定可能理由	過誤 する ・ しない
-------------------------	----------------------

内容・・退院時共同指導加算と初回加算を同時に算定しています

対象サービス・・

サービスコード		サービス略称
13	4003	訪問看護退院時共同指導加算
63	4003	予防訪問看護退院時共同指導加算

報酬算定上の制限

- ・・病院、診療所又は介護老人保健施設の退院又は退所にあたり、退院時共同指導を行った後に、初回の指定訪問看護を行った場合に退院時共同指導加算を算定できます。ただし、初回加算を算定している場合は算定できません。

原因・・(予防)訪問看護退院時共同指導加算と(予防)訪問看護初回加算を同じサービス提供年月に算定している場合に出力されます。
(「関連情報」欄には(予防)訪問看護初回加算の実績が表示されます。)

対応・・①初回加算および退院時共同指導加算を算定しているが、確認した結果、正当な理由がある場合は、「確認調整結果記入欄」に、理由を記入し、「過誤しない」に○をつけて返送して下さい。
②確認した結果、記載誤りや請求誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送して下さい。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

「対象帳票」欄＝単独（縦覧区分*04）
 「縦覧点検出力事由」欄
 特別療養費（医学情報提供）を同時に算定して
 います

事業所番号	5070000001
事業所名	サービス事業所01
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

令和6年10月縦覧審査分

確認表記入者の氏名と電話番号を
記入して下さい。

以下は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」「単独」の場合は、過誤を「する」・「しない」のいずれかに○を付けて令和〇年〇月〇日までにご返送ください。

□□県国民健康保険団体連合会

対応番号	確認対象情報							関連情報						
	対象帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス提供年月	サービス		日数/回数	縦覧点検出力事由	サービス提供年月	事業所番号	電話番号	サービス		日数/回数
1	単独	501001	0000000001	R6.8	52	6504	1	特別療養費（医学情報提供）を同時に算定しています	R6.8	5070000001	99-9999-9999	52	@11	1
		保険者01	カゴ 知		保健施設退所時情報提供加算					医学情報提供		サービス事業所01		
	確認の観点	容態悪化等により再入所した場合か			（確認調整結果記入欄） 請求誤りのため過誤				過誤 <input checked="" type="checkbox"/> する ・ <input type="checkbox"/> しない					

又は

（確認調整結果記入欄） 再入所日 ○月○日	過誤 する ・ <input checked="" type="checkbox"/> しない
--------------------------	--

再入所日を記入して下さい。

内容・・・退所時情報提供加算と特別療養費（医学情報提供）を同時に算定しています

対象サービス・・・

サービスコード		サービス略称
52	6504	保健施設退所時情報提供加算

報酬算定上の制限

・・・退所につき1回算定可能なサービスです。

原因・・・退所時情報提供加算と特別療養費（医学情報提供）を同時に算定している場合に出力されます。

（「関連情報」欄には医学情報提供の実績が表示されます。）

対応・・・①容体悪化等により再入所した場合か確認して下さい。確認した結果、再入所している場合は「確認調整結果記入欄」に再入所日を記入して、「過誤しない」に○をつけて返送して下さい。

②確認した結果、記載誤りや請求誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送して下さい。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

「対象帳票」欄＝単独（縦覧区分＊04）
 「縦覧点検出力事由」欄
 特別診療費（医学情報提供（Ⅰ）又は医学情報提供（Ⅱ））を同時に算定しています

事業所番号	5070000001
事業所名	サービス事業所 0 1
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

令和 6 年 10 月 縦覧審査分

確認表記入者の氏名と電話番号を
記入して下さい。

以下は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。
 内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」「単独」の場合は、過誤を「する」・「しない」のいずれかに○を付けて令和〇年〇月〇日までにご返送ください。

□□県国民健康保険団体連合会

対応 番号	確認対象情報							関連情報						
	対象 帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス 提供年月	サービス		日数/ 回数	縦覧点検出力事由	サービス 提供年月	事業所番号	電話番号	サービス		日数/ 回数
1	単独	501001	0000000001	R6.8	55	6504	1	特別診療費（医学情報提供（Ⅰ） 又は医学情報提供（Ⅱ））を同 時に算定しています	R6.8	5070000001	99-9999-9999	55	@11	1
		保険者 0 1	カゴ 知		医療院退院 時情報提供 加算					サービス事業所 0 1		医学情報提 供（Ⅰ）		
	確認の 観点	容態悪化等により再入所した場合か			（確認調整結果記入欄） 請求誤りのため過誤				過誤 <input checked="" type="checkbox"/> する ・ <input type="checkbox"/> しない					

又は

（確認調整結果記入欄） 再入所日 ○月○日	過誤 する ・ <input checked="" type="checkbox"/> しない
--------------------------	--

再入所日を記入して下さい。

内容・・・退所時情報提供加算と特別診療費（医学情報提供（Ⅰ）又は医学情報提供（Ⅱ））を同時に算定しています

対象サービス・・・

サービスコード		サービス略称
55	6504	医療院退所時情報提供加算

報酬算定上の制限

・・・退所につき1回算定可能なサービスです。

原因・・・退所時情報提供加算と特別診療費（医学情報提供（Ⅰ）又は医学情報提供（Ⅱ））を同時に算定している場合に出力されます。
（「関連情報」欄には医学情報提供の実績が表示されます。）

対応・・・①容体悪化等により再入所した場合か確認して下さい。確認した結果、再入所している場合は「確認調整結果記入欄」に再入所日を記入して、「過誤しない」に○をつけて返送して下さい。
②確認した結果、記載誤りや請求誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送して下さい。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

平成 27 年 10 月縦覧審査分

「対象帳票」欄＝単独（縦覧区分＊08）
 ※令和6年3月サービスまで
 「縦覧点検出力事由」欄
 入院期間が1ヶ月以下の場合に請求している可能性
 があります

事業所番号	5070000001
事業所名	サービス事業所01
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

確認表記入者の氏名と電話番号を
記入して下さい。

以下は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。
 内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」「単独」の場合は、過誤を「する」「しない」のいずれかに○を付けて平成〇年〇月〇日までにご返送ください。

□□県国民健康保険団体連合会

対応 番号	確認対象情報							関連情報				
	対象 帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス 提供年月	サービス	日数/ 回数	縦覧点検出力事由	サービス 提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	日数/ 回数
1	単独	501001 保険者01	0000000001 カゴダウ	H27.4	53 療養型退院 時指導加算	2852 1	入院期間が1ヶ月以下の場合 に請求している可能性があり ます					
	上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右 に記入してください。 （確認調整結果記入欄） 請求誤りのため過誤							過誤 <input checked="" type="radio"/> する ・ <input type="radio"/> しない				
	確認の 観点	医療機関における入院と通算して1月を超えるか										

又は

（確認調整結果記入欄） 国保病院 〇月〇日～〇月〇日 40日間	過誤 する ・ <input checked="" type="radio"/> しない
---------------------------------------	---

医療機関名称・入院期間を
記入して下さい。

内容・・入院期間が1ヶ月以下の場合に請求している可能性があります

対象サービス

- ・・介護療養施設（退院時指導加算、退院時情報提供加算、退院前連携加算）

報酬算定上の制限

- ・・入所（院）期間が1ヶ月を超えている場合に、退所時に1回算定可能なサービスです。

原因・・請求明細書に記入されている入所年月日から退所年月日までの期間が1ヶ月を超えていない場合に出力されます。

（請求明細書に記入されている入所年月日は、「単独請求明細書における準受付審査チェック一覧表」に表示されます。）

- 対応・・①医療機関の入院期間と通算して1ヶ月を超えている場合か確認して下さい。確認した結果、1ヶ月を超える入院であることが判明した場合は、「確認調整結果記入欄」に医療機関名称・入院期間を記入して、「過誤しない」に○をつけて返送して下さい。
- ②確認した結果、入退所日等の記載誤りや請求内容の誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送して下さい。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

平成 27 年 10 月縦覧審査分

「対象帳票」欄＝単独（縦覧区分＊08）
 ※令和6年3月サービスまで
 「縦覧点検出力事由」欄
 特別療養費(医学情報提供)を同時に算定してい
 ます

平成□年□月□日

事業所番号	507000001
事業所名	サービス事業所01
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

確認表記入者の氏名と電話番号を
記入して下さい。

以下は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。
 内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」「単独」の場合は、過誤を「する」・「しない」のいずれかに○を付けて平成□年□月□日までにご返送ください。

□□県国民健康保険団体連合会

対応 番号	確認対象情報							関連情報						
	対象 帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス 提供年月	サービス		日数/ 回数	縦覧点検出力事由	サービス 提供年月	事業所番号	電話番号	サービス		日数/ 回数
1	単独	501001	000000001	H27.4	52	6504	1	特別療養費(医学情報提供)を 同時に算定しています	H27.4	507000001	99-9999-9999	52	@11	1
		保険者01	カゴ 知		保健施設退 所時情報提 供加算								サービス事業所01	
	確認の 観点	上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右 に記入してください。							(確認調整結果記入欄)		過誤			
	容態悪化等により再入所した場合か							請求誤りのため過誤		する ・ しない				

又は

(確認調整結果記入欄)		過誤
再入所日 ○月○日		する ・ しない

内容・・退所時情報提供加算と特別療養費（医学情報提供）を同時に算定しています

対象サービス

・・退所時情報提供加算

報酬算定上の制限

・・入所期間が1ヶ月を超えている場合に、退所時に1回算定可能なサービスです。

原因・・退所時情報提供加算と特別療養費（医学情報提供）を同時に算定している場合に出力されます。

対応・・①容態悪化等により再入所した場合か確認して下さい。確認した結果、再入所している場合は、「確認調整結果記入欄」に再入所日を記入して、「過誤しない」に○をつけて返送して下さい。

②確認した結果、記載誤りや請求内容の誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送して下さい。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

平成 30 年 10 月縦覧審査分

事業所番号	50B0000001
事業所名	医療院 O 1
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

確認表記入者の氏名と電話番号を記入して下さい。

「対象帳票」欄＝単独（縦覧区分＊08）
 ※令和6年3月サービスまで
 「縦覧点検出力事由」欄
 特別診療費（医学情報提供（Ⅰ）又は医学情報提供（Ⅱ））を同時に算定しています

平成〇年〇月〇日

以下は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」「単独」の場合は、過誤を「する」・「しない」のいずれかに〇を付けて平成〇年〇月〇日までにご返送ください。

〇〇県国民健康保険団体連合会

対応番号	確認対象情報							関連情報						
	対象帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス提供年月	サービス		日数/回数	縦覧点検出力事由	サービス提供年月	事業所番号	電話番号	サービス		日数/回数
1	単独	501001	0000000001	H30.4	55	6504	1	特別診療費（医学情報提供（Ⅰ）又は医学情報提供（Ⅱ））を同時に算定しています	H30.4	5070000001	99-9999-9999	55	@12	1
		保険者 O 1	カゴ 知		医療院退院 時情報提供 加算							医学情報提供（Ⅱ）		
	確認の観点	容態悪化等により再入所した場合か			（確認調整結果記入欄） 請求誤りのため過誤				過誤 <input checked="" type="checkbox"/> する ・ <input type="checkbox"/> しない					

又は

（確認調整結果記入欄） 再入院日 ○月○日	過誤 する ・ <input checked="" type="checkbox"/> しない
--------------------------	--

内容・・退所時情報提供加算と特別診療費（医学情報提供（Ⅰ）又は医学情報提供（Ⅱ））を同時に算定しています

対象サービス

- ・・介護医療院（退所時情報提供加算）

報酬算定上の制限

- ・・入所期間が1ヶ月を超えている場合に、退所時に1回算定可能なサービスです。

原因・・退所時情報提供加算と特別診療費（医学情報提供（Ⅰ）又は医学情報提供（Ⅱ））を同時に算定している場合に出力されます。

対応・・①容態悪化等により再入所した場合か確認して下さい。確認した結果、再入所している場合は、「確認調整結果記入欄」に再入所日を記入して、「過誤しない」に○をつけて返送して下さい。

②確認した結果、記載誤りや請求内容の誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送して下さい。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

平成 27 年 10 月縦覧審査分

確認表記入者の氏名と電話番号を
記入して下さい。

「対象帳票」欄＝単独（縦覧区分＊08）
 ※令和6年3月サービスまで
 「縦覧点検出力事由」欄
 特定診療費(医学情報提供(Ⅰ))又は医学情報提供(Ⅱ))を同時に算定しています

事業所番号	5070000001
事業所名	サービス事業所01
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

以下は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。
 内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」「単独」の場合は、過誤を「する」・「しない」のいずれかに○を付けて平成□年□月□日までにご返送ください。

□□県国民健康保険団体連合会

対応 番号	確認対象情報							関連情報						
	対象 帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス 提供年月	サービス		日数/ 回数	縦覧点検出力事由	サービス 提供年月	事業所番号	電話番号	サービス		日数/ 回数
1	単独	501001	0000000001	H27.4	53	2854	1	特定診療費(医学情報提供(Ⅰ)) 又は医学情報提供(Ⅱ))を同 時に算定しています	H27.4	5070000001	99-9999-9999	53	@12	1
		保険者01	カゴ 知		療養型退院 時情報提供 加算							医学情報提 供(Ⅱ)		
	確認の 観点	容態悪化等により再入院した場合か			(確認調整結果記入欄) 請求誤りのため過誤				過誤 する ・ しない					

又は

(確認調整結果記入欄) 再入院日 ○月○日	過誤 する ・ しない
------------------------------	--------------------------

内容・・退院時情報提供加算と特定診療費（医学情報提供（Ⅰ）又は医学情報提供（Ⅱ））を同時に算定しています

対象サービス

・・介護療養施設（退院時情報提供加算）

報酬算定上の制限

・・入院期間が1ヶ月を超えている場合に、退院時に1回算定可能なサービスです。

原因・・退院時情報提供加算と特定診療費（医学情報提供（Ⅰ）又は医学情報提供（Ⅱ））を同時に算定している場合に出力されます。

対応・・①容態悪化等により再入院した場合か確認して下さい。確認した結果、再入所している場合は、「確認調整結果記入欄」に再入院日を記入して、「過誤しない」に○をつけて返送して下さい。

②確認した結果、記載誤りや請求内容の誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送して下さい。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

事業所番号	5070000001
事業所名	サービス事業所 01
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

令和 6 年 10 月 縦覧審査分

確認表記入者の氏名と電話番号を
記入して下さい。

「対象帳票」欄＝単独（縦覧区分＊09）
 「縦覧点検出力事由」欄
 訪問入浴介護（介護予防訪問入浴介護）の回数が
 制限回数を超えています

□□県国民健康保険団体連合会

以下は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。
 内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」「単独」の場合は、過誤を「する」・「しない」のいずれかに○を付けて令和〇年〇月〇日までにご返送ください。

対応 番号	確認対象情報							関連情報						
	対象 帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス 提供年月	サービス		日数/ 回数	縦覧点検出力事由	サービス 提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	日数/ 回数	
1	単独	501001 保険者 01	0000000001 かこ 太郎	R6. 8	12 4113	2	訪問入浴介護（介護予防訪問入浴介護）の回数が制限回数を超えています							
	上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右に記入してください。							(確認調整結果記入欄)	過誤					
	確認の 観点	同一市町村内の別の居宅に転居した場合か		請求誤りのため過誤		する ・ しない								

又は

(確認調整結果記入欄)	過誤
転居日 〇月〇日	する ・ しない

同一市町村内の別の居宅に転居
した日を記入して下さい。

内容・・訪問入浴介護（介護予防訪問入浴介護）の回数が制限回数を超えています

対象サービス・・

サービスコード		サービス名称
12	4113	訪問入浴初回加算
62	4001	予防訪問入浴初回加算

報酬算定上の制限

・・1月につき1回算定可能なサービスです。

原因・・指定したサービス提供年月に対象サービスコードの請求があり、制限回数を超えている場合に出力されます。

対応・・①利用開始月と同一月に同一市町村内の別の居宅に転居した利用者に対し、転居後の居宅を訪問し、再度、（介護予防）訪問入浴介護の利用に関する調整を行った場合であるか確認して下さい。確認した結果、同一市町村内の別の居宅に転居しており、再度、（介護予防）訪問入浴介護の利用に関する調整を行っていることが判明した場合は、「確認調整結果記入欄」に転居日を記入して、「過誤しない」に○をつけて返送して下さい。

②確認した結果、請求内容の誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送して下さい。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

事業所番号	507000001
事業所名	サービス事業所 01
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

令和 6 年 10 月 縦覧審査分

「対象帳票」欄＝単独（縦覧区分＊10）
 「縦覧点検出力事由」欄
 入所日から3ヶ月超で請求している可能性があります。（入所日から指定サービス提供年月までが3ヶ月目）

確認表記入者の氏名と電話番号を
記入して下さい。

以下は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるもの内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」「単独」の場合は、過誤を「する」「しない」のいずれかに○を付けて令和〇年〇月〇日までにご返送ください。

□□県国民健康保険団体連合会

対応番号	確認対象情報							関連情報						
	対象帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス提供年月	サービス		日数/回数	縦覧点検出力事由	サービス提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	日数/回数	
1	単独	501001 保険者 01	000000001 かこ 知	R6.8	52 保健施設認 知症短期集 中リハ加算 II	6253	3	入所日から3ヶ月超で請求している可能性があります（入所日から指定サービス提供年月までが3ヶ月目）						
	上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右に記入してください。							(確認調整結果記入欄)	過誤					
	確認の観点	リハビリテーション実施日を確認 摘要欄の記載内容を確認						請求誤りのため過誤	<input checked="" type="checkbox"/> する ・ <input type="checkbox"/> しない					

又は

(確認調整結果記入欄)	過誤
入所日 〇月〇日	する
加算の算定日 4日、6日、8日	<input checked="" type="checkbox"/> しない

入所日と加算の算定日を
記入して下さい。

内容・入所日から3ヶ月超で請求している可能性があります（入所日から指定サービス提供年月までが3ヶ月目）

報酬算定上の制限

・入所日から算定して以下の期間内に算定可能なサービスです。

サービスコード		サービス略称	利用条件（算定可能な期間）
52	6255	保健施設短期集中リハ加算Ⅰ	入所日から3月以内
52	6252	保健施設短期集中リハ加算Ⅱ	入所日から3月以内
52	6256	保健施設認知症短期集中リハ加算Ⅰ	入所日から3月以内
52	6253	保健施設認知症短期集中リハ加算Ⅱ	入所日から3月以内

原因・「確認対象情報」のサービスコードが、算定可能な期間外に請求されている場合に、請求内容に疑義があるものとして出力されます。
入所日は「単独請求明細書における準受付審査チェック一覧表」の「入所（院）年月日」欄に表示されます。

対応・①リハビリテーション実施日が入所日から3ヶ月以内であるか確認して下さい。確認した結果、3ヶ月以内であることが判明した場合は、「確認調整結果記入欄」に、入所日と加算の算定日を記入し、「過誤しない」に○をつけて返送して下さい。
②確認した結果、記載誤りや請求誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送して下さい。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

事業所番号	507000001
事業所名	サービス事業所 01
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

令和 6 年 10 月 縦覧審査分

確認表記入者の氏名と電話番号を記入して下さい。

「対象帳票」欄＝単独（縦覧区分＊10）
 「縦覧点検出力事由」欄
 入所日から3ヶ月超で請求している可能性があります。（入所日から指定サービス提供年月までが3ヶ月超）

□□県国民健康保険団体連合会

以下は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」「単独」の場合は、過誤を「する」・「しない」のいずれかに○を付けて令和〇年〇月〇日までにご返送ください。

対応番号	確認対象情報							関連情報						
	対象帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス提供年月	サービス		日数/回数	縦覧点検出力事由	サービス提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	日数/回数	
1	単独	501001 保険者 01	000000001 かこ 太郎	R6.8	52 保健施設認 知症短期集 中リハ加算 II	6253	3	入所日から3ヶ月超で請求している可能性があります（入所日から指定サービス提供年月までが3ヶ月超）						
	上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右に記入してください。							(確認調整結果記入欄) 請求誤りのため過誤	過誤 する ・ しない					
	確認の観点	再入所しているか 摘要欄の記載内容を確認												

又は

(確認調整結果記入欄) 再入所日 ○月○日 加算の算定日 16日、18日、20日	過誤 する ・ しない
--	--------------------------

再入所日と加算の算定日を記入して下さい。

内容・・入所日から3ヶ月超で請求している可能性があります（入所日から指定サービス提供年月までが3ヶ月超）

報酬算定上の制限

・・入所日から算定して以下の期間内に算定可能なサービスです。

サービスコード	サービス略称	利用条件（算定可能な期間）	
52	6255	保健施設短期集中リハ加算Ⅰ	入所日から3月以内
52	6252	保健施設短期集中リハ加算Ⅱ	入所日から3月以内
52	6256	保健施設認知症短期集中リハ加算Ⅰ	入所日から3月以内
52	6253	保健施設認知症短期集中リハ加算Ⅱ	入所日から3月以内

原因・・「確認対象情報」のサービスコードが、算定可能な期間外に請求されている場合に、請求内容に疑義があるものとして出力されます。
入所日は「単独請求明細書における準受付審査チェック一覧表」の「入所（院）年月日」欄に表示されます。

対応・・①入退所を繰り返している場合は、再入所した日から3ヶ月以内であるか確認して下さい。確認した結果、再入所日から3ヶ月以内であることが判明した場合は、「確認調整結果記入欄」に、再入所日と加算の算定日を記入し、「過誤しない」に○をつけて返送して下さい。
②確認した結果、記載誤りや請求誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送して下さい。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

事業所番号	5070000001
事業所名	支援事業所 〇 1
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

令和 6 年 10 月 縦覧審査分

確認表記入者の氏名と電話番号を
記入して下さい。

「対象帳票」欄＝単独（縦覧区分＊12）
「縦覧点検出力事由」欄
初回加算を同時に算定しています

以下は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。
内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」「単独」の場合は、過誤を「する」・「しない」のいずれかに○を付けて令和〇年〇月〇日までにご返送ください。

□□県国民健康保険団体連合会

対応 番号	確認対象情報							関連情報						
	対象 帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス 提供年月	サービス		日数/ 回数	縦覧点検出力事由	サービス 提供年月	事業所番号	電話番号	サービス		日数/ 回数
1	単独	501001 保険者 〇 1	0000000001 カゴ 知	R6. 8	43 6132 居宅支援退 院退所加算 I 1	1	初回加算を同時に算定して います	R6. 8	5070000001 支援事業所 〇 1	99-9999-9999	43 4001 居宅支援初 回加算	1		
	上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右 に記入してください。							(確認調整結果記入欄) 請求誤りのため過誤	過誤 <input checked="" type="checkbox"/> する ・ <input type="checkbox"/> しない					
	確認の 観点	要介護状態区分が2区分以上変更された場合か						(確認調整結果記入欄) 要介護状態変更日 〇月〇日 国保病院 〇月〇日～〇月〇日 20日間	過誤 <input type="checkbox"/> する ・ <input checked="" type="checkbox"/> しない					

又は

(確認調整結果記入欄) 要介護状態変更日 〇月〇日 国保病院 〇月〇日～〇月〇日 20日間	過誤 <input type="checkbox"/> する ・ <input checked="" type="checkbox"/> しない
---	---

要介護状態区分の変更日、
医療機関名称・入院期間を
記入して下さい。

内容・・初回加算を同時に算定しています

対象サービス・・

サービスコード		サービス略称
43	6132	居宅支援退院退所加算Ⅰ 1
43	6143	居宅支援退院退所加算Ⅰ 2
43	6144	居宅支援退院退所加算Ⅱ 1
43	6145	居宅支援退院退所加算Ⅱ 2
43	6146	居宅支援退院退所加算Ⅲ

報酬算定上の制限

- ・・施設・医療機関からの退所（院）にあたって、施設・医療機関と連携して居宅サービス計画を新規に作成した月に算定できます。
ただし、居宅介護支援初回加算や介護老人福祉施設の在宅入所相互利用加算を算定している場合は算定できません。

原因・・居宅支援退院退所加算と居宅支援初回加算を同じサービス提供年月に算定している場合に出力されます。

（「関連情報」欄には居宅支援初回加算の実績が表示されます。）

対応・・①要介護状態区分が2区分以上変更された場合か確認して下さい。確認した結果、以下のaとbの両方を実施していることが判明した場合は、「確認調整結果記入欄」に要介護状態区分の変更日、医療機関名・入院期間を記入して、「過誤しない」に○をつけて返送して下さい。

a. 要介護状態区分が2区分以上変更され、居宅サービス計画を作成した。

b. 施設・医療機関からの退所（院）にあたって、施設・医療機関と連携して居宅サービス計画を作成した。

（aとbの両方を実施している例）

4月10日 介護保険施設を退所。施設と連携して居宅サービス計画を作成。

4月20日 要介護状態区分が要介護1→要介護3へ変更。変更後に居宅サービス計画を再作成。

②確認した結果、記載誤りや請求内容の誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送して下さい。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

令和6年10月縦覧審査分

事業所番号	507000001
事業所名	サービス事業所01
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

確認表記入者の氏名と電話番号を記入して下さい。

「対象帳票」欄＝単独（縦覧区分＊12）
 「縦覧点検出力事由」欄
 入所（院）中に算定可能な加算の回数が制限回数を
 を超えています

□□県国民健康保険団体連合会

以下は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものについて、内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」「単独」の場合は、過誤を「する」「しない」のいずれかに○を付けて令和〇年〇月〇日までにご返送ください。

対応 番号	確認対象情報							関連情報				
	対象 帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス 提供年月	サービス	日数/ 回数	縦覧点検出力事由	サービス 提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	日数/ 回数
1	単独	501001 保険者01	000000001 カゴクウ	R6.8	52 6401 保健施設入所 前後訪問指導 加算 I 1	2	入所（院）中に算定可能な加算 の回数が制限回数を 超えています					
	上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右 に記入してください。							(確認調整結果記入欄) 過誤 請求誤りのため過誤				
	確認の 観点	入退所（院）を繰り返している場合か						(確認調整結果記入欄) 過誤 する ・ しない				

又は

(確認調整結果記入欄) 再入所日 〇月〇日	過誤 する ・ しない
---	----------------------

再入所日を記入して下さい。

内容・・・入所（院）中に算定可能な加算の回数が制限回数を超えています

対象サービス

・・・

サービスコード	サービス名称	制限回数	有効期間	サービスコード	サービス名称	制限回数	有効期間
22	6001 老短総合医学管理加算	7	20210401-20240331	52	6401 保健施設入所前後訪問指導加算Ⅰ 1	1	20150401-
		10	20240401-	52	6402 保健施設入所前後訪問指導加算Ⅰ 2	1	20150401-
25	6001 予老短総合医学管理加算	7	20210401-20240331	52	6403 保健施設入所前後訪問指導加算Ⅱ 1	1	20150401-
		10	20240401-	52	6404 保健施設入所前後訪問指導加算Ⅱ 2	1	20150401-
27	9010 短期特定施設新興感染症等施設療養費	5	20240401-	52	6501 保健施設退所前訪問指導加算 1	1	20120401-20180331
28	9010 短期地域特定施設新興感染症等施設療養費	5	20240401-	52	6506 保健施設退所前訪問指導加算 2	2	20120401-20180331
32	9010 認知症対応型新興感染症等施設療養費	5	20240401-	52	9010 保健施設新興感染症等施設療養費	5	20240401-
33	9010 特定施設新興感染症等施設療養費	5	20240401-	53	2720 療養型安全対策体制加算	1	20210401-20240331
35	9010 予防特定施設新興感染症等施設療養費	5	20240401-	53	2851 療養型退院前訪問指導加算	2	20120401-20240331
36	9010 地域特定施設新興感染症等施設療養費	5	20240401-	53	3720 診療所型安全対策体制加算	1	20210401-20240331
37	9010 予認知症対応型新興感染症等施設療養費	5	20240401-	53	3851 診療所型退院前訪問指導加算	2	20120401-20240331
38	9010 短期共同生活新興感染症等施設療養費	5	20240401-	53	4720 認知症型安全対策体制加算	1	20210401-20240331
39	9010 予短期共同新興感染症等施設療養費	5	20240401-	53	4851 認知症型退院前訪問指導加算	2	20120401-20240331
51	6270 福祉施設安全対策体制加算	1	20210401-	54	6270 地福祉施設安全対策体制加算	1	20210401-
51	6501 福祉施設退所前訪問相談援助加算	2	20120401-	54	6501 地福祉施設退所前訪問相談援助加算	2	20120401-
51	9010 福祉施設新興感染症等施設療養費	5	20240401-	54	9010 地福祉施設新興感染症等施設療養費	5	20240401-
52	6135 保健施設認知症情報提供加算	1	20090401-20240331	55	6270 医療院安全対策体制加算	1	20210401-
52	6136 保健施設地域連携診療計画加算 1	1	20120401-20240331	55	6501 医療院退所前訪問指導加算	2	20180401-

サービスコード		サービス名称	制限回数	有効期間	サービスコード		サービス名称	制限回数	有効期間
52	6137	保健施設地域連携診療計画加算 2	1	20120401-20240331	55	9010	医療院新興感染症等施設療養費	5	20240401-
52	6270	保健施設安全対策体制加算	1	20210401-					

報酬算定上の制限

- ・入所（院）期間中に、1回（入所（院）後早期に退所前訪問相談援助または退所（院）前訪問指導の必要があると認められる入所（院）患者にあつては、2回）を制限回数の限度として算定可能なサービスです。

原因・入所（院）中につき算定可能な加算が制限回数を超えて請求されている場合に、請求内容に疑義があるものとして出力されます。

- 対応・
- ①入退所を繰り返している場合か確認して下さい。確認した結果、入退所を繰り返していることが判明した場合は、「確認調整結果記入欄」に、再入所日を記入し、「過誤しない」に○をつけて返送して下さい。
 - ②確認した結果、請求誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送して下さい。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

令和3年10月縦覧審査分

事業所番号	50700000
事業所名	福祉施設01
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

確認表記入者の氏名と電話番号を記入して下さい。

「対象帳票」欄＝単独（縦覧区分*26）
 ※平成30年4月サービス以降
 ※令和6年3月サービスまで
 「縦覧点検出力事由」欄
 1月につき2回以上排せつ支援加算を算定しています

以下は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」「単独」の場合は、過誤を「する」「しない」のいずれかに○を付けて平成□年□月□日

対応番号	確認対象情報							関連情報					
	対象帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス提供年月	サービス	日数/回数	縦覧点検出力事由	サービス提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	日数/回数	
1	単独	501001 保険者01	2600000001 カゴ`々々	R3.4	51 福祉施設排せつ支援加算IV	6357	1月につき2回以上排せつ支援加算を算定しています	R3.4	5070000001 福祉施設01	99-9999-9999	51 福祉施設せつ支援加算IV	6357	2
	確認の観点	再入所しているか		(確認調整結果記入欄) 過誤 請求誤りのため過誤 する ・ しない									
					又は (確認調整結果記入欄) 再入所日 ○月○日 加算の算定日 ○月○日 過誤 する ・ しない								

要介護状態区分の変更日、医療機関名称・入院期間を記入して下さい。

内容・・・算定可能な加算の合計制限回数を超えています。

対象サービス・・・

サービスコード	サービス略称
51	6357 福祉施設排せつ支援加算Ⅳ※1
52	6357 保健施設排せつ支援加算Ⅳ※1
53	2717 療養型排せつ支援加算※2
53	3717 診療所型排せつ支援加算※2
53	4717 認知症型排せつ支援加算※2
54	6357 地福祉施設排せつ支援加算Ⅳ※1
55	6357 医療院排せつ支援加算Ⅳ※1

※1 令和4年3月サービスまで

※2 令和6年3月サービスまで

報酬算定上の制限

・・・対象サービスは、1月につき1回算定可能。

原因・・・指定されたサービス提供年月に、確認対象サービスコードの請求があり、日数/回数が2回以上の場合、一覧に出力されます。

対応・・・①入退所を繰り返している場合は、再入所した日以降に2回目の加算が算定されているか確認して下さい。確認した結果、再入所した日以降に2回目の加算が算定されていることが判明した場合は、「確認調整結果記入欄」に、再入所日と加算の算定日を記入し、「過誤しない」に○をつけて返送して下さい。

②確認した結果、記載誤りや請求誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送して下さい。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

令和3年10月縦覧審査分

事業所番号	5070000015
事業所名	サービス事業所15
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

確認表記入者の氏名と電話番号を記入して下さい。

「対象帳票」欄＝単独（縦覧区分*27）
 ※平成30年4月サービス以降
 「縦覧点検出力事由」欄
 栄養改善加算と栄養アセスメント加算が同時に算定しています

以下は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」「単独」の場合は、過誤を「する」「しない」のいずれかに○を付けて平成○年○月○日

対応番号	確認対象情報							関連情報				
	対象帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス提供年月	サービス	日数/回数	縦覧点検出力事由	サービス提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	日数/回数
1	単独	501001 保険者01	2700000001 カゴ'々々	R3.4	15 6116 通所介護栄養アセスメント加算	2	栄養改善加算と栄養アセスメント加算が同時に算定しています	R3.4	5070000001	99-9999-9999	15 5605 通所介護栄養改善加算	2
	上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右に記入してください。							過誤				
	確認の観点	栄養改善が必要と判断された場合か						する ・ しない				

又は

(確認調整結果記入欄)	過誤
月初に栄養アセスメント加算に係るアセスメントで、低栄養状態のリスクが高いと判断されたケース	する ・ しない

要介護状態区分の変更日、医療機関名称・入院期間を記入して下さい。

内容・・・栄養改善加算と栄養アセスメント加算が同時に算定しています。

対象サービス組み合わせ一覧・・・

項番	サービスコード	サービス名称	項番	サービスコード	サービス名称
①	15 5605	通所介護栄養改善加算	⑤	74 5606	予認通所介護栄養改善加算
	15 6116	通所介護栄養アセスメント加算		74 6116	予認通所介護栄養アセスメント加算
②	16 5605	通所リハ栄養改善加算	⑥	77 5605	看護小規模栄養改善加算
	16 6116	通所リハ栄養アセスメント加算		77 6116	看護小規模栄養アセスメント加算
③	66 5003	予防通所リハ栄養改善加算	⑦	78 5605	地域通所介護栄養改善加算
	66 6116	予防通所リハ栄養アセスメント加算		78 6116	地域通所介護栄養アセスメント加算
④	72 5606	認知通所介護栄養改善加算			
	72 6116	認知通所介護栄養アセスメント加算			

報酬算定上の制限

・・・対象サービスは、同月中に同時算定できないサービスです。

原因・・・指定されたサービス提供年月に、同一事業所番号で<対象サービス組み合わせ一覧>のとおり、栄養改善加算と栄養アセスメント加算の請求が存在する場合、一覧に出力されます。

対応・・・①月初に栄養アセスメント加算に係るアセスメントで、低栄養状態のリスクが高いと判断された場合か確認して下さい。確認した結果、低栄養状態のリスクが高いと判断されたことが判明した場合は、「確認調整結果記入欄」にその旨記載し、「過誤しない」に○をつけて返送して下さい。

②確認した結果、記載誤りや請求内容の誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送して下さい。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

令和3年10月縦覧審査分

事業所番号	5070000001
事業所名	サービス事業所15
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

確認表記入者の氏名と電話番号を記入して下さい。

「対象帳票」欄＝単独（縦覧区分*27）
 ※平成30年4月サービス以降
 「縦覧点検出力事由」欄
 通所リハ短期集中個別リハ加算または通所リハ認知症短期集中リハ加算Ⅰが、通所リハ生活行為向上リハ加算と同時に算定されている可能性があります

以下は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」「単独」の場合は、過誤を「する」・「しない」のいずれかに○を付けて平成□年□月□日

対応番号	確認対象情報										サービス提供年月	事業所番号	電話番号	サービス		回数
	対象帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス提供年月	サービス		回数	縦覧点検出力事由	サービス提供年月	事業所番号				電話番号	サービス	
1	単独	501001 保険者01	5070000002 カゴタウ	R3.4	16	6257	1	通所リハ短期集中個別リハ加算または通所リハ認知症短期集中リハ加算Ⅰが、通所リハ生活行為向上リハ加算と同時に算定されている可能性があります	R3.4	5070000001	99-9999-9999	16	5613	1		
	上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右に記入してください。							（確認調整結果記入欄） 請求誤りのため過誤		過誤						
	確認の観点	リハビリテーション実施日を確認							する ・ しない							

又は

（確認調整結果記入欄） 通所リハ短期集中個別リハ加算（または通所リハ認知症短期集中リハ加算Ⅰ）の終了月 ○月	過誤
生活行為向上リハビリテーション実施加算の算定日 ○月○日	する ・ しない

要介護状態区分の変更日、医療機関名称・入院期間を記入して下さい。

内容・・通所リハ短期集中個別リハ加算または通所リハ認知症短期集中リハ加算Ⅰが、通所リハ生活行為向上リハ加算と同時に算定されている可能性があります

対象サービス組み合わせ一覧・・

項番	サービスコード	サービス名称	有効期間	項番	サービスコード	サービス名称	有効期間
①	16 6257	通所リハ生活行為向上リハ加算	20210401-	②	16 6257	通所リハ生活行為向上リハ加算	20210401-
	16 5613	通所リハ短期集中個別リハ加算	20210401-		16 6253	通所リハ認知症短期集中リハ加算Ⅰ	20210401-

報酬算定上の制限

- ・・施設・医療機関からの退所（院）にあたって、施設・医療機関と連携して居宅サービス計画を新規に作成した月に算定できます。ただし、居宅介護支援初回加算や介護老人福祉施設の在宅入所相互利用加算を算定している場合は算定できません。

原因・・指定されたサービス提供年月に、同一事業所番号で<対象サービス組み合わせ一覧>のとおり、通所リハ生活行為向上リハ加算と通所リハ短期集中個別リハ加算または通所リハ認知症短期集中リハ加算Ⅰの請求が存在する場合、一覧に出力されます。

- 対応・・①通所リハ短期集中個別リハ加算（または通所リハ認知症短期集中リハ加算Ⅰ）の終了月に、生活行為向上リハビリテーション実施加算を算定された場合か確認して下さい。確認した結果通所リハ短期集中個別リハ加算（または通所リハ認知症短期集中リハ加算Ⅰ）の終了月に、生活行為向上リハビリテーション実施加算を算定されていることが判明した場合は、「確認調整結果記入欄」に通所リハ短期集中個別リハ加算（または通所リハ認知症短期集中リハ加算Ⅰ）の終了月と生活行為向上リハビリテーション実施加算の算定日を記入し、「過誤しない」に○をつけて返送して下さい。
- ②確認した結果、記載誤りや請求内容の誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送して下さい。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

事業所番号	507000001
事業所名	支援事業所 01
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

令和 6 年 10 月 縦覧審査分

確認表記入者の氏名と電話番号を記入して下さい。

「対象帳票」欄＝単独（縦覧区分＊62）
 「縦覧点検出力事由」欄
 入所日から3ヶ月超で請求している可能性があります。（入所日から指定サービス提供年月までが3ヶ月目）

□□県国民健康保険団体連合会

以下は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」「単独」の場合は、過誤を「する」・「しない」のいずれかに○を付けて令和〇年〇月〇日までにご返送ください。

対応番号	確認対象情報							関連情報				
	対象帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス提供年月	サービス	回数/回数	縦覧点検出力事由	サービス提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	回数/回数
1	単独	501001 保険者 01	000000001 かこ 太郎	R6. 8	55 @52 短期集中リハビリ加算	1	入所日から3ヶ月超で請求している可能性があります（入所日から指定サービス提供年月までが3ヶ月目）					
	上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右に記入してください。							(確認調整結果記入欄) 請求誤りのため過誤	過誤 する ・ しない			
	確認の観点	リハビリテーション実施日を確認										

又は

(確認調整結果記入欄) 入所日 ○月○日 加算の算定日 4日	過誤 する ・ しない
--------------------------------------	----------------------

入所日と加算の算定日を記入して下さい。

内容・・・入所日から3ヶ月超で請求している可能性があります（入所日から指定サービス提供年月までが3ヶ月目）

報酬算定上の制限

- ・・・入所日から算定して以下の期間内に算定可能なサービスです。

区分	識別番号	特定診療費略称	サービス利用条件
特定診療費	5 2	短期集中リハビリ加算※	入院（所）日から3月以内（過去3月の入院（所）なし）
特定診療費	5 5	認知症短期集中リハビリ加算※	入院（所）日から3月以内（過去3月の算定なし）
特別診療費	5 2	短期集中リハビリ加算	入院（所）日から3月以内（過去3月の入院（所）なし）
特別診療費	5 5	認知症短期集中リハビリ加算	入院（所）日から3月以内（過去3月の算定なし）

※特定診療費については、令和6年3月サービスまで

原因・・・「確認対象情報」のサービスコードが、算定可能な期間外に請求されている場合に、請求内容に疑義があるものとして出力されます。
入所日は「単独請求明細書における準受付審査チェック一覧表」の「入所（院）年月日」欄に表示されます。

対応・・・①リハビリテーション実施日が入所日から3ヶ月以内であるか確認して下さい。確認した結果、3ヶ月以内であることが判明した場合は、「確認調整結果記入欄」に、入所日と加算の算定日を記入し、「過誤しない」に○をつけて返送して下さい。
②確認した結果、記載誤りや請求誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送して下さい。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

平成 27 年 10 月縦覧審査分

事業所番号	5070000001
事業所名	サービス事業所 0 1
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

「対象帳票」欄＝単独（縦覧区分＊62）
 「縦覧点検出力事由」欄
 入所日から3ヶ月超で請求している可能性があります。（入所日から指定サービス提供年月までが3ヶ月超）

□□県国民健康保険団体連合会

以下は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」「単独」の場合は、過誤を「する」・「しない」のいずれかに○を付けて平成□年□月□日までにご返送ください。

対応番号	確認対象情報							関連情報						
	対象帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス提供年月	サービス	日数/回数	縦覧点検出力事由	サービス提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	日数/回数		
1	単独	501001 保険者 0 1	0000000001 かこ 知	H27. 4	52 @52 短期集中リハビリ加算	1	入所日から3ヶ月超で請求している可能性があります（入所日から指定サービス提供年月までが3ヶ月超）							
	上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右に記入してください。							(確認調整結果記入欄) 過誤 請求誤りのため過誤						
	確認の観点	再入所しているか						<input checked="" type="radio"/> する ・ <input type="radio"/> しない						

又は

(確認調整結果記入欄)	過誤
再入所日 ○月○日 加算の算定日 20日	<input type="radio"/> する ・ <input checked="" type="radio"/> しない

再入所日と加算の算定日を記入して下さい。

内容・・入所日から3ヶ月超で請求している可能性があります（入所日から指定サービス提供年月までが3ヶ月超）

報酬算定上の制限

- ・・入所日から算定して以下の期間内に算定可能なサービスです。

区分	識別番号	特定診療費略称	サービス利用条件
特定診療費	5 2	短期集中リハビリ加算※	入院（所）日から3月以内（過去3月の入院（所）なし）
特定診療費	5 5	認知症短期集中リハビリ加算※	入院（所）日から3月以内（過去3月の算定なし）
特別診療費	5 2	短期集中リハビリ加算	入院（所）日から3月以内（過去3月の入院（所）なし）
特別診療費	5 5	認知症短期集中リハビリ加算	入院（所）日から3月以内（過去3月の算定なし）

※特定診療費については、令和6年3月サービスまで

原因・・「確認対象情報」のサービスコードが、算定可能な期間外に請求されている場合に、請求内容に疑義があるものとして出力されます。
入所日は「単独請求明細書における準受付審査チェック一覧表」の「入所（院）年月日」欄に表示されます。

対応・・①入退所を繰り返している場合は、再入所した日から3ヶ月以内であるか確認して下さい。確認した結果、再入所日から3ヶ月以内であることが判明した場合は、「確認調整結果記入欄」に、再入所日と加算の算定日を記入し、「過誤しない」に○をつけて返送して下さい。
②確認した結果、記載誤りや請求誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送して下さい。

サービス提供日／入所日確認表

対応 番号	対象 帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス 提供年月	サービス
	算定・重複 ・単独			年 月	

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
午前											
午後											
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
午前											
午後											
	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
午前											
午後											

サービス実日数		日	外泊日数		日
入所実日数					